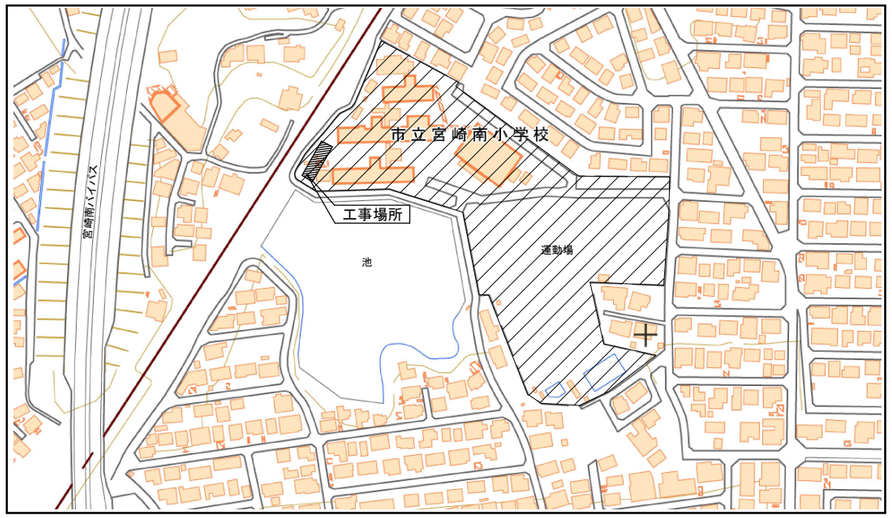
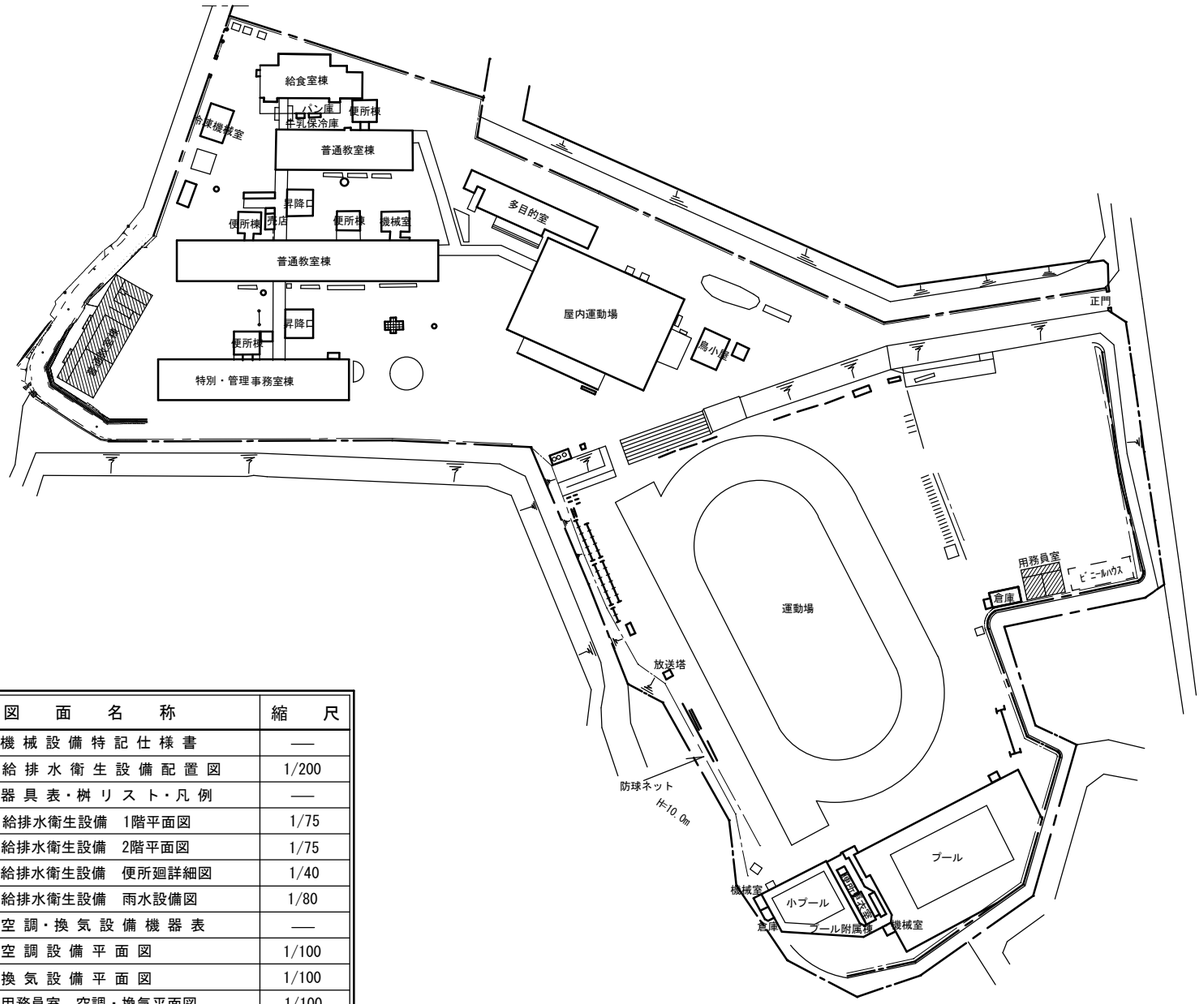
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ



工事場所；宮崎市源藤町池ノ内702番地

付近見取図



全体配置図　1/1,000

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙 図面目録 付近見取図 配置図	1/1000	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備特記仕様書	—
A-02	建築工事特記仕様書（その1）	—	E-02	電気設備配置図	1/700	M-02	給排水衛生設備配置図	1/200
A-03	建築工事特記仕様書（その2）	—	E-03	既設受変電設備結線図	—	M-03	器具表・桝リスト・凡例	—
A-04	建築工事特記仕様書（その3）	—	E-04	電灯・動力端子盤結線図	—	M-04	給排水衛生設備　1階平面図	1/75
A-05	建築工事特記仕様書（その4）	—	E-05	動力・コンセント設備 平面図	1/100	M-05	給排水衛生設備　2階平面図	1/75
A-06	工事概要書	—	E-06	照明器具姿図	—	M-06	給排水衛生設備　便所廻詳細図	1/40
A-07	配置計画図	1/200	E-07	電灯設備平面図	1/100	M-07	給排水衛生設備　雨水設備図	1/80
A-08	平面計画図	1/100	E-08	電話,情報,テレビ共聴,非常放送設備系統図	—	M-08	空調・換気設備機器表	—
A-09	立面計画図	1/100	E-09	電話,情報,テレビ共聴,電波時計設備平面図	1/100	M-09	空調設備平面図	1/100
A-10	断面計画図	1/100	E-10	非常放送設備平面図	1/100	M-10	換気設備平面図	1/100
A-11	建具表	1/50	E-11	自動火災報知,誘導標識設備平面図	1/100	M-11	用務員室　空調・換気平面図	1/100
A-12	用務員室計画図	1/100	E-12	用務員室棟 電灯・コンセント設備平面図	1/50			

記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
〔有〕石川設計監理
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	製図
2023・04		

工事名称：宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ

図面名称：表紙　図面目録　付近見取図　配置図

縮尺：1/1,000

図面番号：A-01

宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ
工事設計図

令和　　年　　月（金　　枚）

仕 様 書

Ⅰ　工事概要　　プレハブ校舎(普通教室2階建)新築工事

1. 工事場所　　宮崎市源藤町池ノ上702番地

2. 敷地面積

3. 工事種目
- 建築工事
- 電気設備工事
- 給排水衛生設備工事
- 空調・換気設備工事

4. 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち 建築工事 の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	同　上
4 地業工事	同　上
5 鉄筋工事	同　上
6 コンクリート工事	同　上
7 鉄骨工事	同　上
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	――
9 防水工事	工事範囲全て
10 石工事	――
11 タイル工事	――
12 木工事	工事範囲全て
13 屋根及びとい工事	同　上
14 金属工事	同　上
15 左官工事	同　上
16 建具工事	同　上
17 カーテンウォール工事	――
18 塗装工事	工事範囲全て
19 内装工事	同　上
20 ユニット及びその他の工事	同　上
21 排水工事	同　上
22 舗装工事	――
23 植栽及び屋上緑化工事	――

令和5年3月改訂

Ⅱ　建築工事仕様

1. 共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修（以下全て最新版）の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下、「標仕」という。）による。及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築工事監理指針」（上下巻）や国土交通大臣官房営繕部監修の「建築改修工事監理指針」（上下巻）による。

2. 特記仕様
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　○　印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○　印と ◎　印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。
（7）（別）は標準仕様書の参考資料6を示す。

3. 優先順位
（1）すべての設計図書は相互に補完するものとし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は次の①から⑤までの順番とする。
　①　質疑回答書
　②　現場説明書
　③　特記仕様書
　④　別冊の図面
　⑤　標準仕様書

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	① 適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ・工事写真の撮り方　建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　最新版） ・ ・
	2 工事実績情報の登録（CORINS）	※適用する　(1.1.4)
	3 品質計画(品質管理)	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※風速（Vo=　　）　(1.3.6) ※地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪区分　建告示第1455号　別表（　） ・
	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) ・要　　・不要
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による　・特別管理産業廃棄物　　○ 構外搬出適切処理　(1.3.11) （種類　　処理方法　　）
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。　(1.4.2)
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｃ規格品
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事 ／ ・鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事 ／ ・型枠施工 ・コンクリート圧送施工 鉄骨工事 ／ ・とび ブロック・ALCパネル工事 ／ ・ブロック建築　・ALCパネル施工 防水工事 ／ ・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業 石工事 ／ ・石材施工（石張り施工） タイル工事 ／ ・タイル張り 木工事 ／ ・建築大工 屋根及びとい工事 ／ ・建築板金（内外装板金作業）・スレート施工 金属工事 ／ ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・建築板金 左官工事 ／ ・左官 建具工事 ／ ・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事 ／ ・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事 ／ ・塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業） 植栽工事 ／ ・造園
	給排水設備図に依る ① 技能資格者	・溶接技能資格者　○鉄骨超音波探傷試験技能資格者　・鉄筋ガス圧接技能資格者 ・
	⑫ 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・
	給排水設備図に依る	報告の様式等については、現場説明書による。
	⑬ 完成図等	下記のものを監督員に提出する。なお、部数・規格等は監督員と協議すること。（1.7.1～3）（表1.7.1） ※作成する　・作成しない ※完成図　提出部数　※　部　・　部（CD-R等） ※施工計画書　提出部数　※　部　・　部 ※施工図　提出部数　※　部　・　部（CD-R等） ※保全に関する資料　提出部数　※　部　・　部
	⑭ 完成写真	下記のものを監督員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ（mm） ○カラー ※キャビネ版 ※べた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出） 外部（　）内部（　） ※2　・6 ※100×125以上 ・ ※カラー半切木製パネル 324×400（mm） 外部（　）内部（　） ※ 2 ※ 2 ・電子データ 外部（　）内部（　） ※ 2 ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-R等にて提出とする。 撮影業者　※監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑮ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	⑯ 設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ　※必ず監督員の承諾を受けること。
	⑰ 工事写真	・「営繕工事電子納品要領（最新版）」による。
② 仮設工事	① 監督員事務所	※ 設けない　(2.3.1) ・ 設ける 規模　・（　　）㎡程度 仕上げ　監督員の指示による
	② 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土　G
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による　・構外搬出適切処理　(3.2.5) ・構内指示の場所にたい積　○ 構内指示の場所に敷き均し ・構外指示の場所に搬出 受け入れる場所（　　）
④ 地業工事	① 適用	・ 構造特記仕様書による。
	2 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.1～2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 ・ 杭径（mm）／ 杭長（m）及び種別 ／ 継手数 ／ セット数 ／ 備考 試験杭 本　杭 先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.3) 継手　・アーク溶接継手　・機械式接継手　(4.3.6) 杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.8) 施工法　(4.3.4～5) ・セメントミルク工法 杭の水平方向の位置ずれの精度（ ・ 図示 ． ・　　） ・特定埋込み杭工法 工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀拡大根固め工法 ・プレボーリング最終打撃工法 H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 杭周固定液　・使用する 杭の水平方向の位置ずれの精度（ ・ 図示 ． ・　　） セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
	3 鋼杭地業	鋼杭の材料　図示による　(4.4.3) 継手　・アーク溶接継手　・機械式接継手　(4.4.5)
	4 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.1)（表4.5.1） （　　）種かつ（　　）N/mm²以上 鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.4) 堀削工法　・アースドリル工法（ ・ 安定液使用　・ 無水堀削）　(4.5.5) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法（孔内の水張　・ 行う　・ 行わない） ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.6) ・ 拡底杭工法（※安定液使用　・　　） 孔壁測定　・ 行う（　　）　・ 行わない セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
	⑤ 砂利地業	※再生クラッシャラン G　・ 切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.2) 厚さ　図示による　(4.6.3)
	⑥ 床下防湿層	施工位置　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　(4.6.5) 材料　○ポリエチレンフィルム厚さ　0.15mm以上　(4.6.2) ・
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1)（表5.2.1） 種類の記号 ／ 呼び名（mm） ・ SD295A ／ ※D16以下　・ ・ SD345 ／ ※D19以上　・
	2 溶接金網	(5.2.2) 種類 ／ 網目の形状、寸法、鉄線の経(mm) ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子
	③ 鉄筋の継手・定着	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・ 重ね継手　(5.3.4) 継手位置（ ○ 図示 ． ・　　）　(5.3.4) 柱に取付ける梁の引張り鉄筋定着長さ（ ※40ｄ　・ 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ50d　・［　　ｄ ］）　(5.3.4) （表5.3.4）
	④ 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 ／ 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ○ 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ／ ※10　・
	5 既製コンクリート杭の杭頭補強	・ Ａ形　・ Ｂ形　※図示　(別1.1)
	6 最上階柱頭補強	※行う　・ 行わない　(別2.1)
	7 帯筋	※Ｈ形（口は除く）　(別2.2)
	8 壁開口部の補強	一般壁　・ Ａ形　※Ｂ形　・ 図示　(別4.2)（別表4.3～4) 耐震壁　※図示
	⑨ 梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ ＭＨ形　・ Ｍ形　(別7.1)（別表7.1～3)
	10 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・ 引張試験　(5.4.10)
⑥ コンクリート工事	① 適用	○ 構造特記仕様書による。
	② 設計基準強度	設計基準強度Ｆｃ（N/mm²） ／ 施工箇所 ※21 ／ 建物躯体（建物内土間コンクリートを含む） ○ 18 ／ 捨てｺﾝ
	③ レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.2.1)（6.4.1～2）（表6.2.1)
	④ ワーカビリティーおよびスランプ	スランプ　15又は18cm　(6.2.4)（表6.2.2)
	⑤ セメントの種類	(6.3.1)（6.13.1）（6.15.1）（表6.3.1) ※普通ポルトランドセメント・高炉セメントＡ種・シリカセメントＡ種・フライアッシュセメントＡ種 エコセメント ・ 高炉セメントＢ種 G　（・　　） ・ フライアッシュセメントＢ種　（・　　） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
	⑥ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.1)（6.5.4) ※Ａ ・ Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒt=3.0kg/m³以下）
	⑦ 混和材料	※混和剤　・ AE剤　○AE減水剤　・高性能AE減水剤　(6.3.1～2) (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
	8 目地ひび割れ誘発	目地寸法　※標仕9.7.3による　・図示による（　　） 間隔、位置、形状　※図示による（　　）
	9 無筋コンクリート	設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.1) (6.8.3)
	⑩ 型枠	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 ・ コンクリートの増打ち厚さ　20mm ※施工範囲は図示による。
	11 断熱材兼用型枠	適用及び適用個所について 標仕19章内装工事14断熱材による。

MIYAZAKI CITY　宮崎市教育委員会学校施設課

工事名称	課　長	補　佐	係　長	製　図	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ					A-02
図面名称　建築工事特記仕様書（その１）　令和4年版　／　縮　尺					

① 鉄骨工事

① 適用
・ 構造特記仕様書による。

② 鉄骨の製作工場
製作工場の加工能力 (7.1.3)
・ 監督職員の承諾する製作工場
⊙ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた
（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」
に定める「（ M ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力
のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示 ・

3 施工管理技術者
適用する (7.1.4)

④ 鋼材
鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) （表7.2.1）

種類の記号	使用箇所	規格等
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

5 スカラップ
改良型スカラップ

6 エンドタブ
鋼製エンドタブ
切断する箇所（ ）

⑦ 高力ボルト
※トルシア形高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1～7.4.9)
・ JIS形高力ボルト セットの種類 ※２類(F10T))
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 ※１類(F8T)
(7.2.4)

⑧ アンカーボルト
構造用アンカーボルトの種類 ⊙図示による ・その他（ ）
建方用アンカーボルトの種類 ・図示による ・その他（ ）

⑨ 溶接部の試験
AOQL ※4.0% ・ 2.5% (7.6.12)
検査水準 ※第6水準 ・ 図示 (7.6.12) （表7.6.2～4）

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11（イ）による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

10 耐火被覆 (7.9.2～9)

種 別	所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り	
・耐火材吹付け	
・耐火板張り	
・耐火材巻付け	
・耐火塗料	

⑪ アンカーボルト等の設置
構造用アンカーボルト及びアンカーフレーム形状及び寸法 (7.10.3) （表7.10.1）
種別 ⊙図示による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別 ・Ａ種 ※Ｂ種

⑫ 柱底均しモルタル工法
※Ａ種 ・ Ｂ種 (7.2.9) (7.10.3) （表7.10.2）

無収縮モルタル	
混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法	
コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内
無収縮性	材齢7日 収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日 25.0N/mm²以上 材齢28日 ³ 45.0N/mm 以上
付着強度	材齢28日 3.0N/mm 以上
塩化物量	0.30kg/m 以下
試験方法	１）ＮＥＸＣＯ試験方法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験による。 ２）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

⑬ 溶融亜鉛めっき
(7.12.4) （表14.2.2）

亜鉛めっきの種別	材 料	適用部位
A種	板厚6.0mm以上	
B種	板厚3.2mm以上	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 板厚1.6mm以上	

⑭ 溶解亜鉛めっき高力ボルト
摩擦面の処理 (7.12.5)
※ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又はリン酸処理
・すべり係数試験
試験方法 ・「高力ボルト接合設計施工ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ(日本建築学会)」による

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造
※空洞ブロックＣ（１６） ・ 防水性ブロック（ ）ーW (8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
※標仕表8.3.1及び下表による (8.3.2～8)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁		・
・塀	高さ ２m以下	・120
	高さ ２mを超える	・150

3 ＡＬＣパネル
(8.4.2～7) （表8.4.3～4）

種 類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	耐火性能	取付け工法種別
・外壁パネル	・1180 ・1960	※100 ・	・	・Ａ種 ・Ｂ種
・間仕切壁パネル		※100 ・	・	・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種
・屋根パネル	・980	※100 ・	・	・Ｆ種
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	・	

・床パネルの耐火性能（・1時間 ・2時間）

4 押出成形セメント板（ECP）
(8.5.2～5) （表8.5.1～2）

種 類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別	耐火性能
・外壁パネル	※フラットパネル			・Ａ種 ・Ｂ種	・
	・デザインパネル(図示)				
	・タイルベースパネル				
・間仕切パネル	※フラットパネル			・Ｂ種 ・Ｃ種	・
	・デザインパネル(図示)				
	・タイルベースパネル				

耐火性能 ・有り（ ）
・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水
(9.2.3) （表9.2.3～9）

種 別	施工箇所
・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ ＡＩ-1 ・ AI-2 ・ ＡＩ-3	※ 図示 ・
・ B-1 ・ B-2 ・ ＢＩ-1 ・ BI-2	※ 図示 ・
・ D-1 ・ D-2 ・ ＤＩ-1 ・ ＤＩ-2	※ 図示 ・
・ E-1 ・ E-2	※ 図示 ・

アスファルト ※３種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材 厚さ（mm） ※25 ・ (9.2.2)
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材 ※材料製造所の仕様による。 (9.2.5)

② 改質アスファルトシート防水
(9.3.2～4) （表9.3.1～3）

種 別	施工箇所
・ AS-TI ・ AS-T2 ・ AS-T3 ・ AST-4 ・ ASＪ-1	※ 図示 ・
・ ASＩ-TI ・ ASＩ-Ｊ1	※ 図示 ・

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(9.4.2～4) （表9.4.1～3）

種 別	施工箇所
・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2	※ 図示 ・
・ SＩ-FI ・ SＩ-F2 ・ SＩ-M1 ・ SＩ-M2	※ 図示 ・
・ S-C1	※ 図示 ・

4 塗膜防水
(9.5.2～4) （表9.5.1～2）

種 別	施工箇所
・ X-1 ・ X-2	※ 図示 ・
・ Y-1 ・ Y-2	※ 図示 ・

脱気装置
・設ける 材質（ ） 設置数量（ m²当たり１箇所）

5 ケイ酸質系塗布防水
(9.6.2～4) （表9.6.1～2）

種 別	施工箇所
・ C-SUI ・ C-SUP	※ 図示 ・

⑥ シーリング
下表以外は、標仕表9.7.1による (9.7.2) （表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
⊙ 水切り部分	・ SR-1 ⊙ MS-2 ・ PU-2 ・ PS-2
⊙ 建具廻り	・ SR-1 ⊙ MS-2 ・ PU-2 ・ PS-2
・	・ SR-1 ・ MS-2 ・ PU-2 ・ PS-2
・	・ SR-1 ・ MS-2 ・ PU-2 ・ PS-2

※使用箇所に応じて、ＮＢやＬＭとすること。
接着性試験 ・行う ・行わない
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

10 石工事

1 天然石張り
石の種類・表面仕上げ (10.2.1) （表10.2.1～2）

施工箇所	種 類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類
・				
・				
・				
・				
・				

2 テラゾ張り
種石の種類 ※大理石 ・ (10.2.1)
表面仕上げ ※本磨き ・
形状・寸法 ※図示

3 壁の石張り工法
外壁石張り (10.3.2～3) (10.4.2～3) (10.5.2～3)
工法
・外壁湿式工法(※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横流し工法)
・乾式工法
石裏面処理 ・ 行う（ ・ 小口共）
裏打ち処理 ・ 行う
ドレインパイプ ※ステンレスSUS304 ・

内壁石張り (10.4.2～3) (10.5.2～3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
裏打ち処理 ・ 行う

4 床及び階段の石張り
床石張りの裏面処理 ・ 行う

5 目地
(10.3.3) (10.4.3) (10.5.3) (10.6.2) (10.7.2)
・伸縮調整目地 位置 ・図示による ・その他（ ）
シーリング材の目地寸法
・図示による ・その他（ ）

⑪ タイル工事

① セメントモルタルによるタイル張り
タイルの種類 (11.2.2)

施工箇所	形状寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	うわぐすり 無ゆう	あり	なし	役物 標準	特注	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考
床	50角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
壁	100角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
床(汚垂石)	600角	・	・	・	・	⊙	・	・	⊙	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ）

2 張り付け用材料
既成調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（ kg/l ）	接着強さ（N/mm²） 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (11.2.3)

3 内装タイル、外装タイル及び磁器質タイルの施工法
内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・ 積上げ張り (11.3.2) （表11.3.1～2）

外装タイル ※密着張り ・ マスク張り
躯体表面の処理 ・行わない ※行う（施工範囲 ※図示 ・ ）
躯体表面の処理方法 ＭＣＲ工法又は目荒し工法（６章コンクリート工事）
下地モルタル塗り ※標仕15.2.2～15.2.5
タイルの試験張り ※行わない ・ 行う（※外壁タイル ・ ）

4 有機系接着剤によるタイル張り
給排水設備図に依る
(11.3.2～4)

種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・ 小口タイル	※標仕6.9.3［材料］(b) (2) 又は
・ 目地樹工法	・ 二丁掛タイル	金属製タイル先付け用パネル
・ 桟木法	・ 大型タイル	・

⑫ 木工事

① 木材の品質
※標仕12.2.1 ⊙市販品 (12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（ ）

② 樹種
※標仕表12.2.3による ⊙ 図示 (12.2.1) （表12.2.3）
・ 代用樹種を適用しない箇所（ ）

③ 集成材等 G
(12.2.2)

品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	・１種 ※２種 ・３種	・	
・造作用集成材	※１等 ・２等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１等 ・２等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

4 接着剤
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

5 防腐・防蟻処理
行う箇所（ ）
防腐処理 ※行う（※図示 ・ ） (12.3.1)
防蟻処理 ・行う（※図示 ・ ）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督員の承諾するものとする。

6 床板張り
フローリング及び縁甲板張り床 (12.6.1) （表12.6.1）

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.3による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	・縁甲板		※ひのき ・

7 木構造
軸組構造（壁構造・軸構造系）、枠組壁工法及び丸太組工法においては公共建築木造工事標準仕様書を適用する。

⑬ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺
(13.2.2～3) （表13.2.1）

屋根葺形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	板厚（mm）
・ 切り妻	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3322）		・ ・

② 折板葺
(13.3.2～3) （表13.2.1）

形 式	※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形
形状（mm）	山高（ 166 ） 山ピッチ（ ） 板厚※0.6 ⊙0.8
材 料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（JIS G 3322） ・
軒先面戸板	※有り ・無し
断 熱 材	※有り（種別： ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 厚さ： 100 mm） ・無し
耐火性能	※30分耐火 ・無し

3 粘土瓦葺
(13.4.2)
種類（ ） 大きさ（ ）
産地等（ ）
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による ・その他

④ とい
材 種 ・配管用鋼管 ⊙硬質塩化ポリビニル管 (13.5.2) （表13.5.1）
※排水用リサイクル硬質塩化ビニル管削除
鋼管製といの防露 ※標仕表13.5.4による
防露材のホルムアルデヒド放散量 (13.5.3) （表13.5.4）
※規制対象外 ・第三種

⑭ 金属工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
(14.2.1) （表14.2.1）

種 別	施工箇所
・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種	・
・ BA-1種 ・ BA-2種 ・ BB-1種 ・ BB-2種	・
・ BC-1種 ・ BC-2種	・
・ C種	・

2 鉄鋼の亜鉛めっき
(14.2.2) （表14.2.2）

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・ Ａ種	・
	・ Ｂ種	・
	・ Ｃ種	・
電気亜鉛めっき	・ Ｄ種	・
	・ Ｅ種	・
	・ Ｆ種	・

(14.4.2～4) （表14.4.1）

③ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類
屋外（ ※25形 ・19形 ） 屋内（ ※19形 ・25形 ）
屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ⊙900程度 ・（ ）
周辺部の端からの間隔 ⊙150以内 ・（ ）
野縁の間隔 ・300程度 ・360程度 ⊙225程度以下
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法
※図示 ・その他（ ）
天井ふところが３ｍを超える場合の補強方法 ※図示 ・その他（ ）
(14.5.3) （表14.5.1）

④ 軽量鉄骨壁下地
スタッドの高さが５ｍを超える場合のスタッド、ライナーの種類

5 金属成形板張り
(14.6.2) （表14.2.1）

形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・ ・ ・
・パネル形	・プレス ・				

伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける（施工箇所は図示）

⑥ アルミニウム製笠木
(14.7.2) （表14.2.1）（表14.7.1）

種 類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備 考
⊙250形	1.6以上	・AB-1・AB-2 ・AC-1・AC-2 ・BA-1・BA-2 ・BB-1・BB-2 ・BC-1・BC-2・C	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

⑮ 左官工事

① モルタル塗り材料
吸水調整材 (15.2.2) （表15.3.2）

全固形分（%）	吸水量（ g ）	接着強度（N/mm ）	界面破断率（%）
表示値±1.0以内	30分間で1ｇ以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

② 床コンクリートの直均し仕上げ
下表以外は標仕表6.2.5による (15.4.1～4) （表6.2.5）

施工箇所	平たんさ（mm）	備 考
・壁の巾木回り	3mにつき3以下	
・a種(ｺﾝｸﾘｰﾄ見え掛り)	3mにつき7以下	
⊙b種(仕上げ厚さ7mm未満の場合)	3mにつき10以下	
・C種(仕上げ厚さ7mm以上の場合)	1mにつき10以下	

3 仕上塗材仕上げ
(15.6.2) （表15.6.1）

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｓｉ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
	・ 可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
	・ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状
	・ 可とう形外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状
	・ 防水形外装薄塗材Ｅ	・ ゆず肌状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状
	・ 外装薄塗材Ｓ	・ 砂壁状
	・ 内装薄塗材Ｃ ・ 内装薄塗材Ｌ	・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
	・ 内装薄塗材Ｓｉ ・ 内装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状
	・ 内装薄塗材Ｗ	・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
	・ 可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性 ※3種 ・
	・ 複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・ 複層塗材Ｅ	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・ 複層塗材ＲＥ	樹脂 ・アクリル系・ウレタン系・シリコン系 ・ふっ素系
	・ 防水形複層塗材ＣＥ	外観 ※つやあり ・つやなし
	・ 防水形複層塗材Ｅ	・メタリック
	・ 防水形複層塗材ＲＥ	防水形の増塗材 ※行う
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	砂壁状
	・ こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

MIYAZAKI CITY
宮崎市教育委員会学校施設課

工事名称	課 長	補 佐	係 長	製 図	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ					A-03
図面名称 建築工事特記仕様書（その２） 令和4年版 / 縮 尺					

⑯ 建具工事

① 防火戸　⊙建具表による　(16.1.3)
・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について連動させる装置等
・建具表による

2 見本の製作等　・特殊な建具の仮組（建具符号：　　）

3 防犯建物部品　・建具表による　(16.1.6)

④ アルミニウム製建具　外部に面する建具(A～C：ｺﾝｸﾘｰﾄ下地・鉄骨下地　D・E：木下地)　(16.2.2)（表16.2.1～2.2）

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4	・A－3	・W－4	・70	※図示　・
⊙B種	S－5	・	・	・	※図示　・
・C種	S－6	A－4	W－5	・	※図示　・
・D種	S－2	A－3	W－3	・	※図示　・
・E種	S－3	A－3	W－3	・	※図示　・

・外部建具表面処理：　(表14.2.1)
・内部建具表面処理：

5 網戸　防虫網　(16.2.3)
網の種別　※ 合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

6 樹脂製建具　各性能等級の適用は建具表による　(16.3.1～5)（表16.3.1～3.2）

7 鋼製建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.4.1～6)（表16.4.1）
各性能等級の適用は建具表による

⑧ 鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.5.1～6)
各性能等級の適用は建具表による

9 ステンレス製建具　種類　（・SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・［　　］）　(16.6.4)
各性能等級の適用は建具表による　(16.6.5)
表面仕上げ　※ＨＬ程度　・鏡面仕上げ　・
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）

10 自動ドア開閉装置　戸の開閉方式　・図示による　(16.9.1～4)（表16.9.1～6）

開閉方法	センサーの種類
・引き戸	・光線（反射）センサー　・熱線センサー
・多機能トイレ出入口に設置される引き戸	・音波センサー　・光電センサー　・電波センサー ・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

11 自閉式上吊り引戸装置　品質規格　※標仕表16.10.1による　(16.10.3)
・製造所標準仕様による

12 木製建具　含水率　・A種　・B種　(16.7.2)
かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）
フラッシュ戸

表面材の種類	品質	備考

・表面材の材料のホルムアルデヒド放散量　・図示
ふすまの上張り　(表16.7.3)
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.7.2)
※規制対象外　・第三種

⑬ 建具用金物　マスターキー　※　製作する　・　製作しない　本数（　　本）　(16.8.4)

⑭ ガラス　※建具表による　(16.14.1)
・ガラスブロック　標仕16.14.5による　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形	・	・ ○	※クリア	※無し
・長方形				・有り

⑮ ガラス留め材及び溝　ガラス留め材　(16.14.2)（表9.7.1）

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　・建具の製造所の仕様による　(16.14.3)

16 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D 1
・			

品質　JIS A 5759による　(16.11.1)

17 重量シャッター

シャッターの種類	
・管理用シャッター	耐風圧強度（　　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)（表16.11.1）

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・急降下制動装置　・急降下停止装置
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)

18 軽量シャッター　開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.12.1)（表16.12.1）
耐風圧強度　（　　）N／m²
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板　(16.12.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(16.12.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　(表16.12.2)

19 オーバーヘッドドア　(16.13.1～5)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧強度　（　　）N/m²

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール　設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.7.1による　(9.7.2)（17.2.2）（表9.7.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※ 適用しない　(17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示　　）
断熱材　※ 適用しない　(17.2.2)
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工個所※図示　）
製品の寸法許容差　※ 標仕表17.2.1による　(17.2.3)（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理　(17.2.3)（表14.2.1）

種　別	色彩等
・AB-1種・AC-1種・BA-1・BB-1・BC-1	無着色
・AB-2種・AC-2種・BA-2・BB-2・BC-2	※ブラウン系　・ブラック　・テンカラー　・
・着色塗装	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して
安全であること。
・正圧　N/㎡ 以上及び負圧　N/㎡ 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※± (1/150) ×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kｈ）　※1.0　・
垂直方向（Kｖ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上 ・	

水密性　・W－4　・W－5　・　(17.1.3)
気密性　・A－3　・A－4　・　(17.1.3)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール　設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｃ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　(14.2.3)（表14.2.2）

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.7.1による　(9.7.2)（17.3.2）（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　(17.3.3)（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）
耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して
安全であること。
・正圧　N/㎡ 以上及び負圧　N/㎡ 以上に対して安全であること。
耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（Kｈ）　※1.0　・
垂直方向（Kｖ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上 ・	

⑱ 塗装工事

① 材料　・屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする　(18.1.3)
・建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

2 素地ごしらえ　亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別　(18.2.4)（表18.2.3）（表18.3.4）

種　別	施工部位及び塗料種別
Ａ種	・亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り ・（　　）
Ｂ種	鋼製建具（工種３は化成皮膜処理） ・（　　）

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　(18.2.7)（表18.2.7）
種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

3 床用塗料塗り　材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

4 防塵用塗料塗り　材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。
給排水設備図に依る　(18.3.2～3)

⑤ 錆止め塗料塗り　鉄鋼面　※Ａ種　JIS K 5674　※ＥＰ－Ｇの場合　・Ａ種　※Ｂ種（・JASS 18 M-111　・JIS K 5674）
亜鉛めっき鋼面　※Ａ種　JPMS 28　・Ｂ種　JASS 18 M-109　※ＥＰ－Ｇの場合　Ｃ種　JASS 18 M-111

⑲ 内装工事

① 接着剤　(19.2.2)（19.3.3）
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② 絨毯水溶接剤は張る　(19.2.2)

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※ＦＳ　・	※無地　・マーブル柄	※ 2．0　・
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	・
・			・

特殊機能　・帯電防止　・耐動荷重性　・防滑性
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）　(19.2.3)
下地の工法　ﾓﾙﾀﾙ塗り下地、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材下地及び木下地以外の下地の工法
※図示による　・その他（　　）

3 ビニル床タイル張り　(19.2.2)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル	ＫＴ	・2.0	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	
・		・	

特殊機能　・帯電防止　・防滑性　・視覚障害者用
下地の工法　ﾓﾙﾀﾙ塗り下地、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材下地及び木下地以外の下地の工法
※図示による　・その他（　　）

4 帯電防止床タイル張り　(19.2.2)

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10^{7} Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

⑤ ビニル幅木　高さ（mm）　※60　・75　・　厚さ（mm）　※1.5　(19.2.2)
材料の種類　・軟質　・硬質

6 カーペット敷き
・織じゅうたん　(19.3.2～3)（表19.3.1～2）

種　別	パイル形状	色柄等	備　考
・Ａ種	・カットパイル	※無地	
・Ｂ種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　(19.3.2～3)（表19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4～6　・		
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　(19.3.3)（表19.3.2）

パイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

7 合成樹脂塗床　(19.4.2～4)（表19.4.1～8）

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・薄膜型塗床（平滑仕上げ）

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　(19.4.2)
※規制対象外　・第三種

8 フローリング張り　(19.5.1～7)（表19.5.1～5）

種　別	樹　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（・A・B・C種）	※塗装品	
・	・ひのき	・接着工法(・A・B・C種)	・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.5.2)

9 畳敷き　(19.6.2)（表19.6.1）
畳の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材　畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

⑪ せっこうボードその他のボード張り　(19.7.2)（表19.7.1）

規格名称	種　類	厚さ（mm）、規格等
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	・15　・20　・25　・
	・中質木毛セメント板	・15　・20　・25　・
	・普通木毛セメント板	・15　・20　・25　・
	・硬質木片セメント板	・12　・15　・18　・21　・
	・普通木片セメント板	・30　・
繊維強化セメント板	・けい酸カルシウム板	タイプ２（無石綿）　・6　8
火山性ガラス質複層板（VSボード）	・火山性ガラス質複層板	・　・
繊維板	・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・3　・7　・9　・12　・
	・ハードボード（素地）	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・2.5　・3.5　・5　・7
	・ハードボード（化粧）	・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
	・インシュレーションボード	Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ　・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10　・12
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ（・9（不燃）・12（不燃）・　） ・凹凸タイプ（・9（不燃）・12（不燃）・　）
	・ロックウール吸音ボード１号	・25　・
	・グラスウール吸音ボード32K	・25（ガラスクロス包）　・
せっこうボード製品	・せっこうボード	・12.5（不燃）　・15（不燃）　・
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無（下地張り用）　・化粧有（トラバーチン模様） ・9.5（不燃）
	・シージングせっこうボード	・12.5（不燃）　・
	⊙強化せっこうボード	・12.5（不燃）　・15（不燃）
	⊙せっこうボード	・9.5　・12.5
	・化粧せっこうボード（木目）	模様（・荒目　・板目） 専用下地材有　・12.5（不燃）　幅440mm程度
	⊙化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	⊙ 9.5（準不燃）

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　・適用しない

12 吸音材　(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	ＧＷ－Ｂ	※25　・

⑬ 壁紙張り　(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質		
壁	・	・	⊙	・	・	⊙不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(表18.2.4～5)（表18.2.7）
モルタル、プラスター面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）　(19.8.3)
せっこうボード面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）
※シーラー全面塗布

壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.8.2)

⑭ 断熱材
・断熱材打込み工法　(19.9.2～3)

種　類		厚さ（mm）	施工箇所
断熱材名	種類（記号）		
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱（スキン層なし）		・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・	
・フェノールフォーム断熱材		・	

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種
(19.9.4)
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※A種1又はA種1H
厚さ（mm）　※図示
施工箇所　※図示

15 浴室天井材　市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※ 焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※ 200 ・ 100	回り縁は縁付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※ 塗装品 ・木目調		※ 300 ・ 100	

MIYAZAKI CITY

宮崎市教育委員会学校施設課

工事名称	課　長	補　佐	係　長	製　図	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ					A-04
図面名称　建築工事特記仕様書（その３）　令和4年版　縮　尺					

⑳ ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高（mm）	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・支柱固定 ・支柱非固定		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・支柱固定 ・支柱非固定		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・支柱固定 ・支柱非固定		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの施所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式(内張) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

パネル内に取付ける建具　・あり（寸法及び形状　・図示　・　）
・なし

3 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ （36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する
あと施工アンカー　・使用する　種類：　材質：　寸法：
・使用しない

④ トイレブース　表面仕上げ材 (20.2.5)
※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
脚部の形状　※幅木型　・足金物型
ドアエッジの形状　※製造所の仕様による　・

5 手すり　材料の種類　・ (20.2.6)
仕上げ　・

⑥ 階段滑止め　材　種　ステンレスSUS304 (20.2.7)
形　状　ビルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑦ 黒板及び ホワイトボード (20.2.9)

種類		寸法（mm）	色彩	備考	
・黒板	※焼付け		※緑　・黒 ※緑　・黒	※平面　Ⓢ 曲面　・スクリーン付引分	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分	

8 鏡　寸法（mm）　・図示　・ (20.2.10)
厚さ（mm）　※5　・

9 表示標識　衝突防止表示 (20.2.11)
※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　）
（・両面　・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10 タラップ　材料の種類　※ステンレス製 (20.2.12)
仕上げ　※研磨等の仕上げを行わない

11 煙突用成形ライニング　・煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
最高使用温度　※650℃　・400℃
・キャスタブル耐火材
工　法　※こて押さえ
最高使用温度　※400℃

12 ブラインド (20.2.14)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※ 横型	※ ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ※ ２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

13 ロールスクリーン　防炎性能　※有り (20.2.15)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	備考
	・	・	
	・	・	

14 カーテン (20.2.16)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

⑮ カーテンレール　材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製 (20.2.16)
形　式　Ⓢ 片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス　・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

17 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

18 止水板　形　状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸　法
製造所

⑲ 天井点検口　材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

20 床点検口　材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

21 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※１種　・２種　・３種

22 かご箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

23 くつふきマット
市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

24 流し台ユニット

種類	寸法（L＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード ※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製 ※１段式	※市販品

㉕ 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

26 洗面カウンター　材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

27 防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※ 網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
・ 線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

28 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）　ブロックパターンはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※ 塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※ レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

29 旗竿　材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

30 旗竿受金物　材　種　ステンレス製SUS304

31 フェンス　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス

32 屋外掲示板　照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

33 車止め支柱　※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径114.3mm　t＝2.5mm　H＝GL＋700mm
※スプリング付　・スプリング無し
・

㉞ 収納家具　材質　ポリ合板フラッシュ
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

35 エキスパンション・ジョイント金物　材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・
耐火性能　・有り（　）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

36 建築物緑化　屋上緑化システム Ⓖ
・管理方法による区分　・省管理型
質量の上限値　（　）kg/㎡
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240ｌ/㎡・ｈ以上
耐荷重性能
省管理型：3×10⁴N/m² 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

㉑ 排水工事

① 排水管
給排水設備図に依る

排水管用材料 (21.2.1)（表21.2.1）

材種	管の種類	管形状（接合方法）	呼び径
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管	Ｂ形（ゴム接合）	・図示
・硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ		・図示
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・ＲＳ－ＶＵ		・図示

(21.3.1)（21.3.2）

② 排水桝及びふた
給排水設備図に依る

鋳鉄製マンホールふた (21.2.1)

種類	適用荷重
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）　・中ふた付密閉形	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用

グレーチングふた (21.2.1)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ボルト固定 ※ 無し ・ 図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	※細目 ※ 普通目 ・ ・ 細目	※凹凸形 ※ 平形 ・ ・ 凹凸形

埋戻し土　・Ｂ種

3 街きょ、縁石及び側溝　形状及び寸法　・図示 (21.2.1)（表3.2.1）
地業の厚さ　mm　・100mm

22 舗装工事

1 盛り土に用いる材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)（表3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料　・フィルター層（透水性舗装時）　・ (22.1.3)（22.2.2～3）
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示

3 路床安定処理　※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)（表22.2.2）
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメント　・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　kg/m³（目標ＣＢＲ　※5以上　・　）

4 路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

5 路床締固め度の試験　※行う (22.2.5)

6 現場CBR試験　・行う　・行わない (22.2.5)

7 路盤材料Ⓖ　※再生クラッシャラン（RC-40） (22.1.3)（22.3.3）（表22.3.1）
・クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8 アスファルト舗装 (22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※ アスファルト舗装	※無し　・有り	※ 顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト Ⓖ　・ストレートアスファルト (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)（表22.4.4～5）

区分		
表層	※一般地域 ・密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　） (22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)
舗装の平たん性 (22.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

9 コンクリート舗装　早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)（表22.5.2）

溶接金網　※有り　・無し (22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.7.6) **(22.5.6)**

10 透水性舗装　アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

11 ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※ 普通平板（N）　・カラー平板（C） ・透水平板（P）　・保水性平板（M）	※300角 ・	※60	※ 砂 ・ モルタル

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)

種類	厚さ（mm）		色彩及び表面加工等
※ 普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車道部 歩道部	※80　・ ※60　・	※ 標準品 ・

・誘導、注意喚起用ブロック　誘導、注意喚起用は黄色系とする

インターロッキングブロック

項目		品質・性能		
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213クライアッシュセメントの、白色ポルトランドセメントとする。		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。		
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		
寸法許容差（mm）		長さ	幅	厚さ
普通タイプ		±3	±3	±3
透水性タイプ		±3	±3	+5～−1
植生用タイプ		±3	±3	±3
曲げ強度（N/mm²）		普通タイプ		5.0以上
		透水性タイプ		3.0以上
		植生用タイプ		4.0以上
透水係数（cm/sec）		透水性タイプ		1×10^{-2} 以上
圧縮強度（N/mm²）		普通タイプ		32.0以上
		透水性タイプ		17.0以上

・舗石舗装 (22.8.2～3)

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※ 小舗石（花こう岩）	※ 80～100　・	※ うろこ張り	※ コンクリート舗装
・	・	・	・ アスファルト舗装

12 路面標示用塗料　JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・１種Ⓖ	常温	液状	※ 白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して5%以下
・１種Ⓖ	加熱		・	・	・	
・３種１号	溶融	粉体状				

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等　土壌の水素イオン濃度指標（ｐＨ）試験 (23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　・行う　・行わない

2 樹木の植栽基盤整備
芝及び地被類 (23.2.1～4)（表23.2.1～2）

適用	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※ 20	※ Ｂ 種	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.1～4)（表23.2.1～2）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・ 12以上	※100　・120　・150	※ Ａ種	・ 業張りの範囲
・ 7以上～12未満	※80　・100	・ Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・ 3以上～7未満	※60　・80	・ Ｃ種	・ 図示
・ 3未満	※50　・60	・ Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3 植込み用土　※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

4 土壌改良材 Ⓖ　※適用する (23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

5 支柱材　※杉の焼丸太（間伐材） Ⓖ　・真竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

7 芝張り　種類　※コウライシバ　・ノシバ (23.4.2)

8 屋上緑化　土壌層の厚さ　・図示による (23.5.2～3)
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）
・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人口軽量土

樹木、芝及び地被類 (23.5.3)
樹種、寸法、株立数　・図示による
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）
・適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23.5.3)
・図示による　・

MIYAZAKI CITY
宮崎市教育委員会学校施設課

工事名称	課長	補佐	係長	製図	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ					
図面名称　建築工事特記仕様書（その４）　令和4年版　縮尺					A-05

工　事　概　要

一般事項	工事名称	宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ		建築種別	新築　（確認申請上増築）
	建築場所	宮崎市源藤町池ノ内702番地		用　　途	小学校
	地域指定	用途指定	第一種住居 / 第一種低層住居専用	その他指定	宮崎市景観条例他
		防火指定	法22条区域		
建物概要	規　　模	階　　数	２階建	最高高サ	（基本）8.0 m　基準軒高
		建築面積	（基本面積）　266.40㎡	延床面積	（基本面積）　532.80㎡
構造概要	耐火仕様	準耐火建築物［ロ－２］		地耐力	
	基礎形式	鉄筋コンクリート造布基礎		基準風速	
	主架構	鉄骨造（ブレース構造）		積雪	
	内部仕様	１階床	土間コンクリート t=120（金ゴテ押エ）	外周内壁	軽鉄下地
			鉄筋配筋		断熱材：グラスウール t=50（24kg）
			押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=25		
			防湿シート t=0.15	間仕切壁	軽鉄下地
			砕石 t=100		トイレ部分：グラスウール t=50（24kg）
		２階床	コンクリート t=60（山上）	天　井	軽鉄下地
			ワイヤーメッシュ 3.2φ×150×150		断熱材：1階、2階天井裏
			デッキプレート t=1.6（山高50）		断熱材：グラスウール t=100（24kg）敷込
外部仕上	屋根	二重折板葺（ハゼ式、H=166）		庇	各出入り口：アルミ既製品（D=950）
		上弦材:カラーガルバリウム鋼板 t=0.8			
		グラスウール t=100（10kg）敷込		塗装	鉄部：一般錆止 JIS K 5674（1種）
		下弦材:ガルバリウム鋼板（素地）t=0.6 断熱材t=4貼り			2回塗り（工場塗装）
	鼻隠シ	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5　H=300（水下のみ）			
	外壁	窯業系化粧サイディングt=16張り（塗装品）			
		通気工法：金具留メ工法			
		透湿防水シート			
	樋	軒樋：塩ビ製軒樋120角（吊金物@900 SUS）			
		竪樋：塩ビ製丸樋75φ（VU）（受金物@1100 SUS）			
	板金金物	笠木：アルミ笠木			
		パラペット裏立上り・水切：硬質木片セメント版 t=15			
		下地の上、カラーガルバリウム鋼板 t=0.6			
		基礎水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.35			
雑工事	犬走・ポーチ：土間コンクリート t=120（金ゴテ押エ）、配筋　砕石 t=100				
	小屋裏換気口100φ：外壁側は各教室小屋裏2箇所ずつ、廊下・トイレに計2箇所設ける				
	小屋裏換気口は延焼ライン抵触部設置の場合は防火ダンパー付きとする				

内　部　仕　上　表

階	室　名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
1階	普通教室	ﾒﾗﾐﾝﾀｲﾙt=3	木製巾木	壁：ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	化粧石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ	2,700	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、防炎ｶｰﾃﾝ
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		腰壁：不燃腰壁ｼｰﾄ t=0.5　H=1,000	t=9.5		生徒用ﾛｯｶｰW360×H300/人　15人用3台
		同時金ｺﾃ押え		外壁側：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地			清掃用具入、室名札　固定式曲面黒板
				防火上主要な間仕切り壁：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=15+9.5下地			掲示板W1800×H900（2セット）
							掲示用ｸﾛｽ（教室廊下間1間壁）
	廊　下	ﾒﾗﾐﾝﾀｲﾙt=3	同　上	同　上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	手洗いSUSｼﾝｸ　W3,300*480　2台
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ					
		同時金ｺﾃ押え		ﾗｲﾆﾝｸﾞ（水飲場）：化粧ｹｲｶﾙ板 t=6　ﾗｲﾆﾝｸﾞ天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ			
	男子トイレ 女子トイレ	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り t=2.0	ｿﾌﾄ巾木	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	同　上	2,400	化粧鏡
		（抗菌仕様）	H=60	外壁側・一般間仕切り壁：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地			掃除用具入れ（PS）
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		防火上主要な間仕切り壁：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=15+9.5下地			ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		同時金ｺﾃ押え		ﾗｲﾆﾝｸﾞ：化粧ｹｲｶﾙ板 t=6　ﾗｲﾆﾝｸﾞ天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ			
		※小便器前は汚垂石					
	倉　庫	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り t=2.0	ｿﾌﾄ巾木	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5　素地	鉄骨表し		
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	H=60				
		同時金ｺﾃ押え					
2階	普通教室	ﾒﾗﾐﾝﾀｲﾙt=3	木製巾木	壁：ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	化粧石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ	2,700	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、防炎ｶｰﾃﾝ
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	H=60	腰壁：不燃腰壁ｼｰﾄ t=0.5　H=1,000	t=9.5		生徒用ﾛｯｶｰW360×H300/人　15人用3台
		同時金ｺﾃ押え		外壁側：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地（延焼ﾗｲﾝ部分：小屋裏ﾏﾃﾞ）			清掃用具入、室名札　固定式曲面黒板
				防火上主要な間仕切り壁：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=15+9.5下地			掲示板W1800×H900（2セット）
							掲示用ｸﾛｽ（教室廊下間1間壁）
	廊　下	ﾒﾗﾐﾝﾀｲﾙt=3	同　上	同　上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	手洗いSUSｼﾝｸ　W3,300*480　2台
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ					
		同時金ｺﾃ押え		ﾗｲﾆﾝｸﾞ（水飲場）：化粧ｹｲｶﾙ板 t=6　ﾗｲﾆﾝｸﾞ天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ			
	男子トイレ 女子トイレ	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り t=2.0	ｿﾌﾄ巾木	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	同　上	2,400	化粧鏡
		（抗菌仕様）	H=60	外壁側：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地（延焼ﾗｲﾝ部分：小屋裏ﾏﾃﾞ）			掃除用具入れ（PS）
		下地：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		一般間仕切り壁：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地			ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		同時金ｺﾃ押え		防火上主要な間仕切り壁：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=15+9.5下地			
		※小便器前は汚垂石		ﾗｲﾆﾝｸﾞ：化粧ｹｲｶﾙ板 t=6　ﾗｲﾆﾝｸﾞ天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ			
共通	階 段 室	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り	ｻｻﾗSOP塗	壁：ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	同　上		手摺（樹脂製）両側共
		t=2.0		腰壁：不燃腰壁ｼｰﾄ t=0.5　H=1,000			SUSノンスリップ
		下地：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え		外壁側：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地（延焼ﾗｲﾝ部分：小屋裏ﾏﾃﾞ）			
				防火上主要な間仕切り壁：強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=15+9.5下地			

・延焼のおそれのある部分は内壁石膏ボードt=12.5を床裏・小屋裏まで立ち上げる。　←　ビスピッチ　[周辺部]@100以下[中間部]@150以下
・防火上主要な間仕切壁は、45分準耐火構造とし、床裏・小屋裏まで達せしめる。　←　ビスピッチ　[周辺部]@100以下[中間部]@150以下

※使用する材料は全て新品とする。

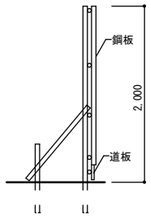
工事受注者業務内容	
・実施設計業務　（建築・電気・給排水衛生・空調）	
・地盤調査業務	
・確認申請業務	
・景観条例	
・緑化条例	
・福祉のまちつくり条例	
・他 確認申請関連必要業務	
・中間,工事完了申請業務	
・建設工事（地盤改良工事含む）	
・JR近接工事申請業務	
・現場説明書記載事項	

記事	課　長	補　佐	係　長	係　員

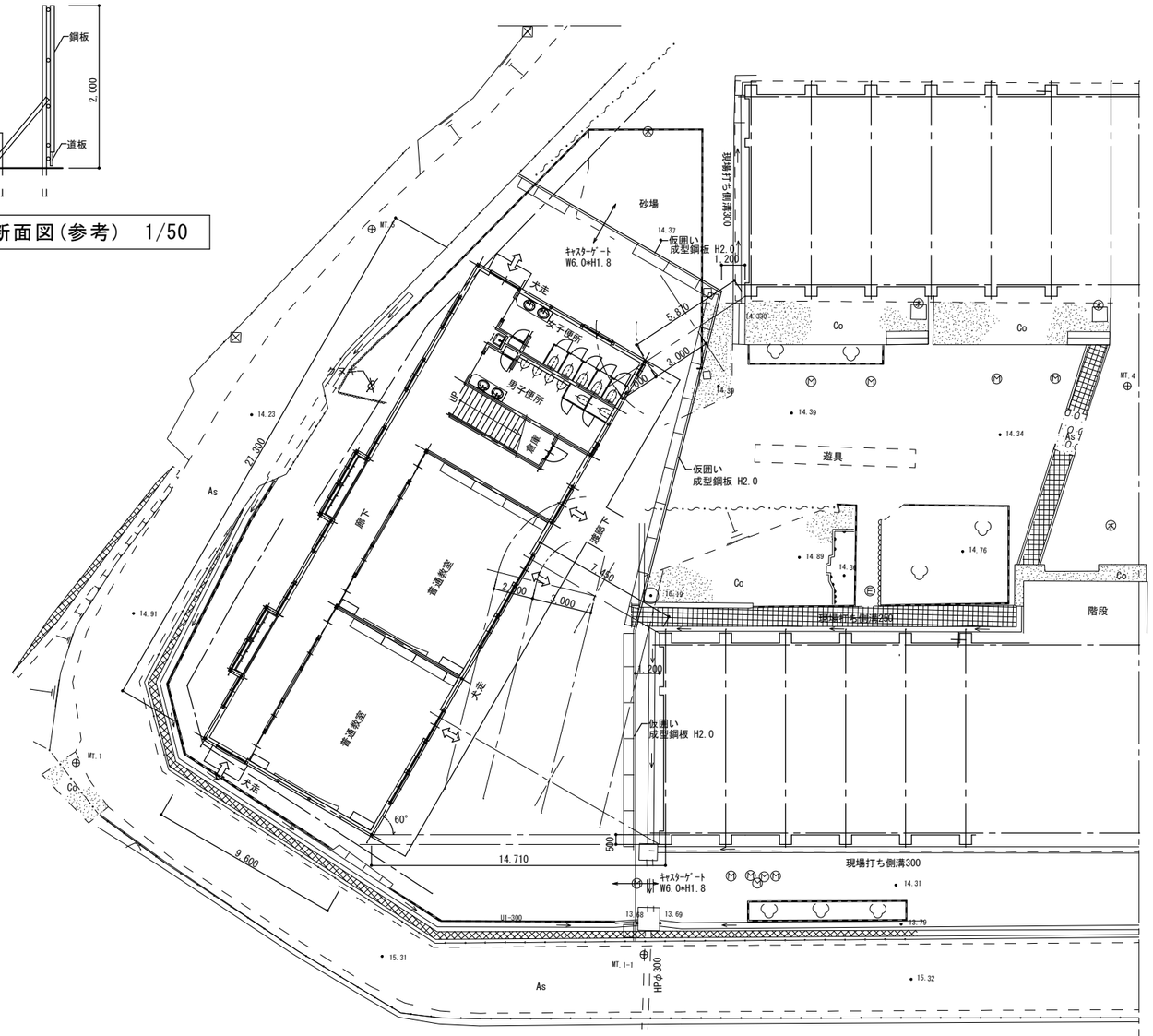
一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設 計	製 図
2023・04		

工事名称：宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ
図面名称：工　事　概　要　書
縮尺：
図面番号：A-06

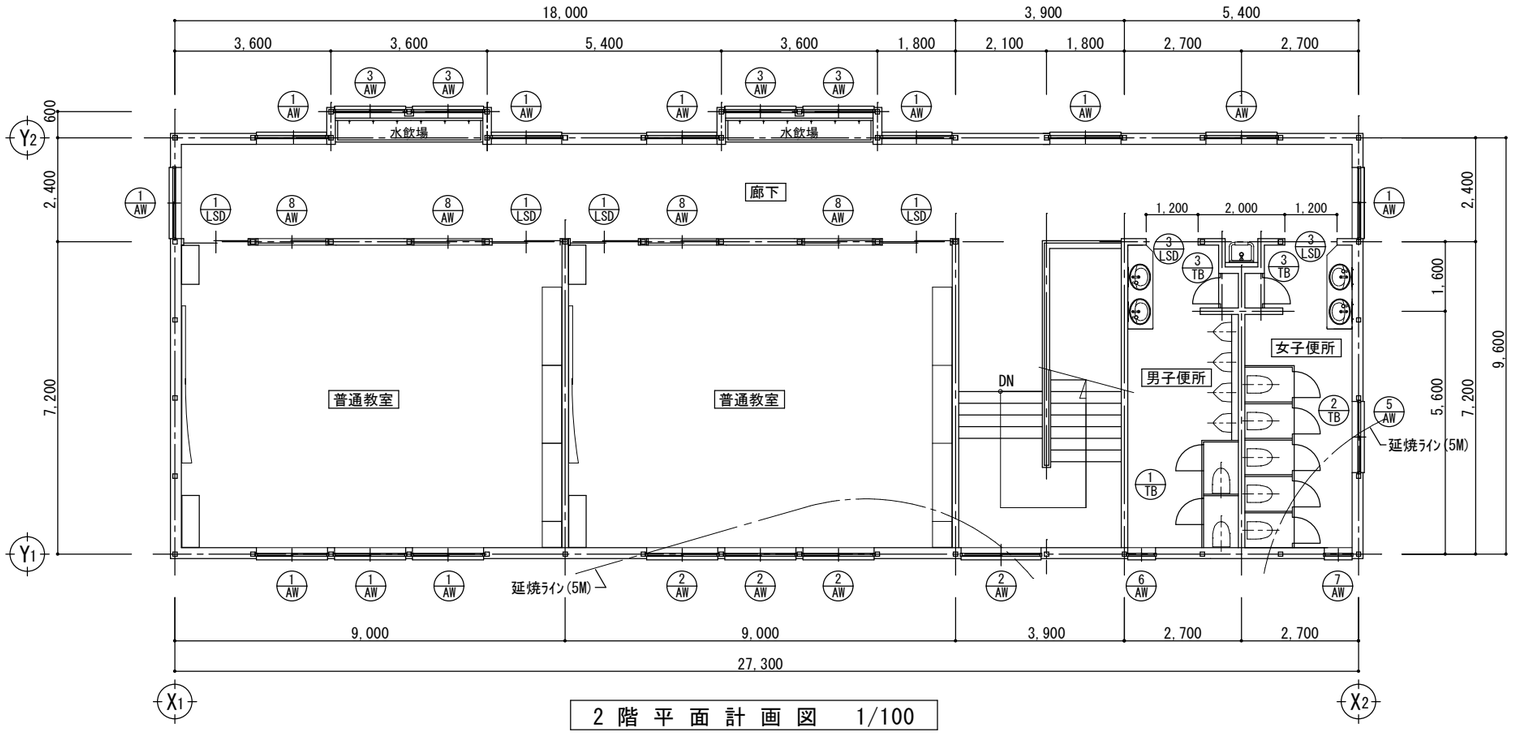


仮囲い断面図(参考)　1/50

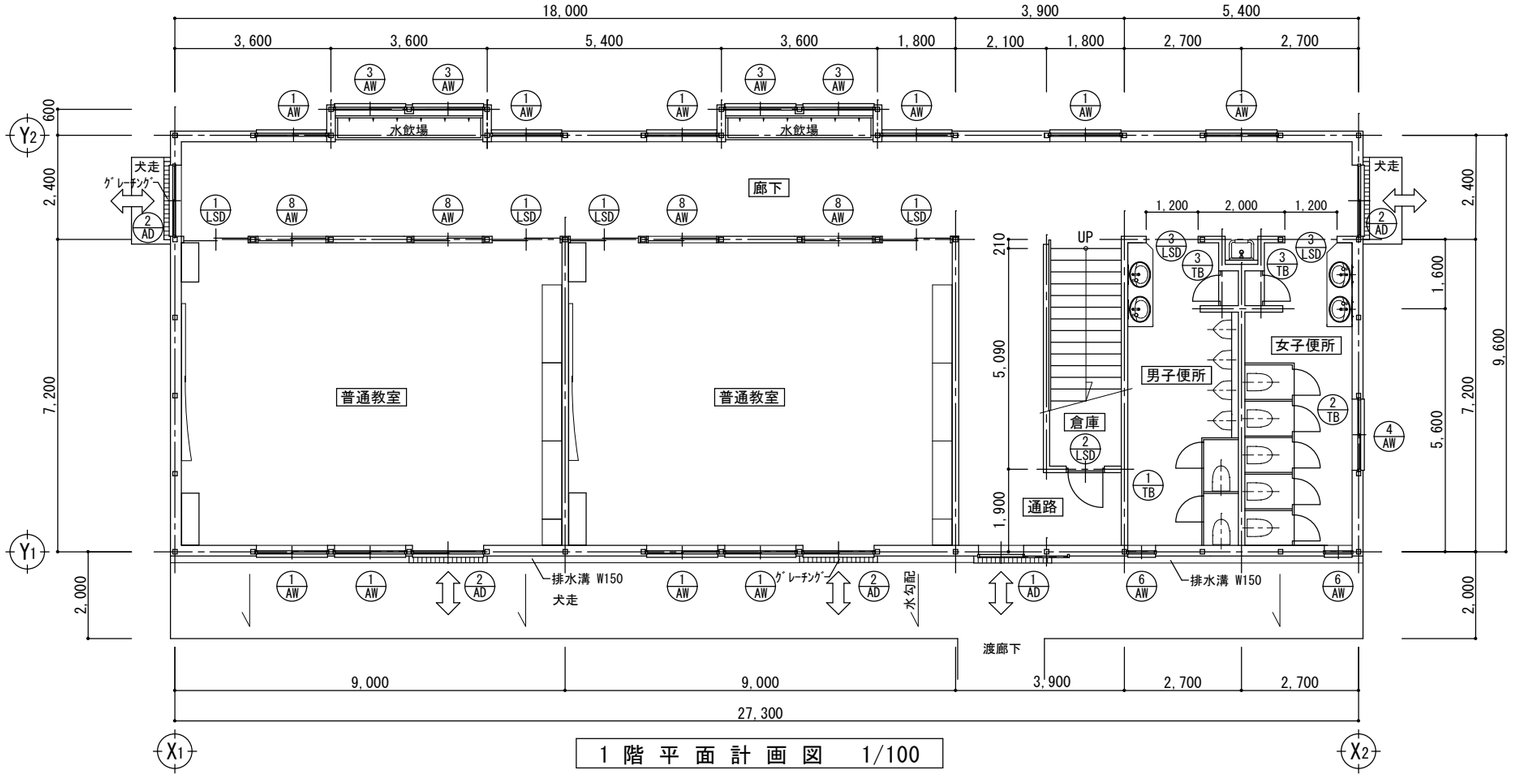


配置計画図(A)　1/200

記事			課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 〔有〕石川設計監理 TEL 0985 - 32 - 7561 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 製図		工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ 図面名称 配置計画図	縮尺 1/200	図面番号 A-07



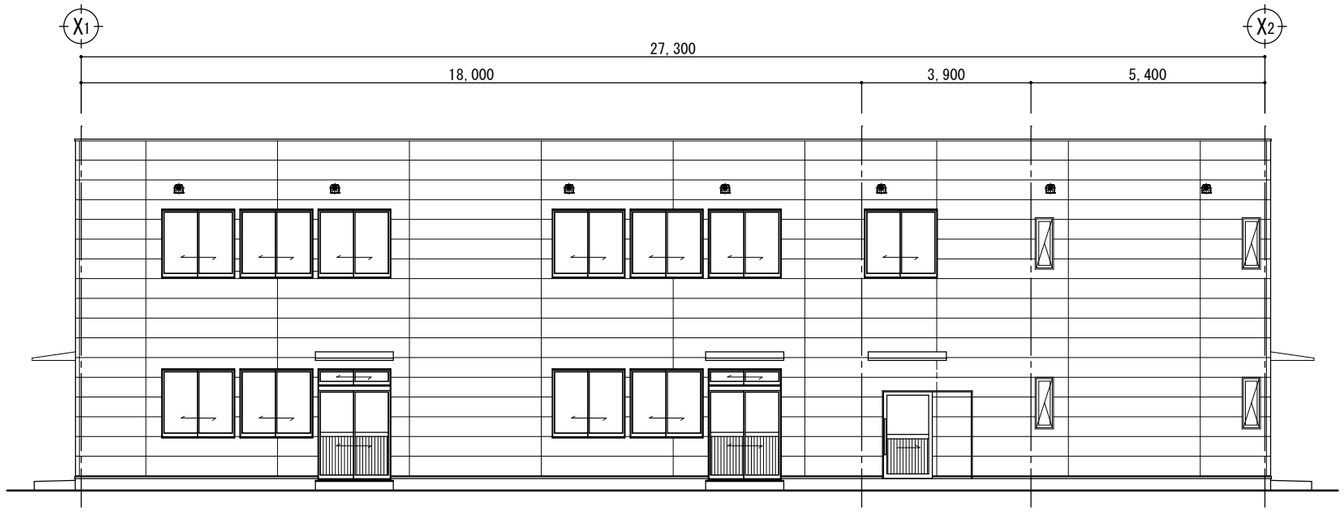
2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

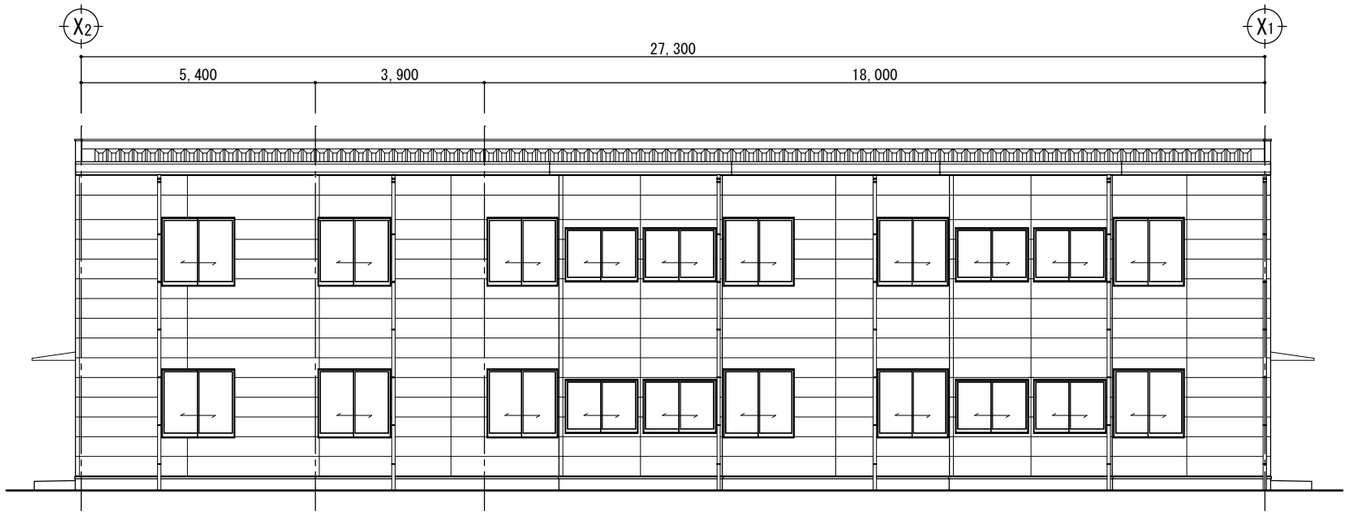
1階床面積；266.40 ㎡
2階床面積；266.40 ㎡
延床面積；532.80 ㎡

記事	課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 / 製図	工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号 A-08
								図面名称 平面計画図	縮尺 1/100

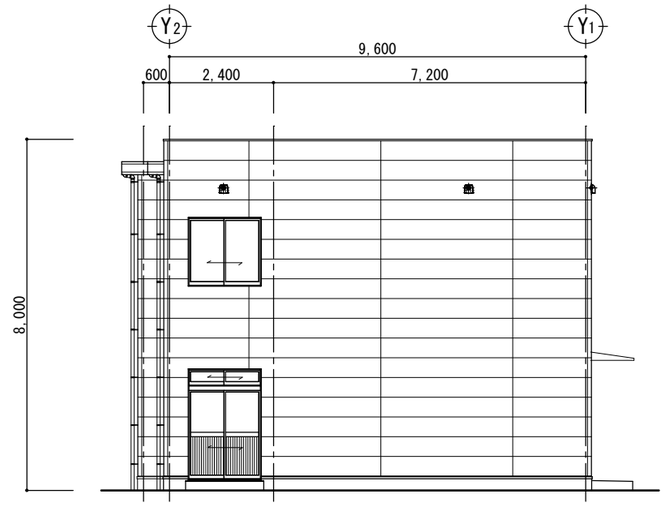


Y1 通り立面図　1/100

X2 通り立面図　1/100

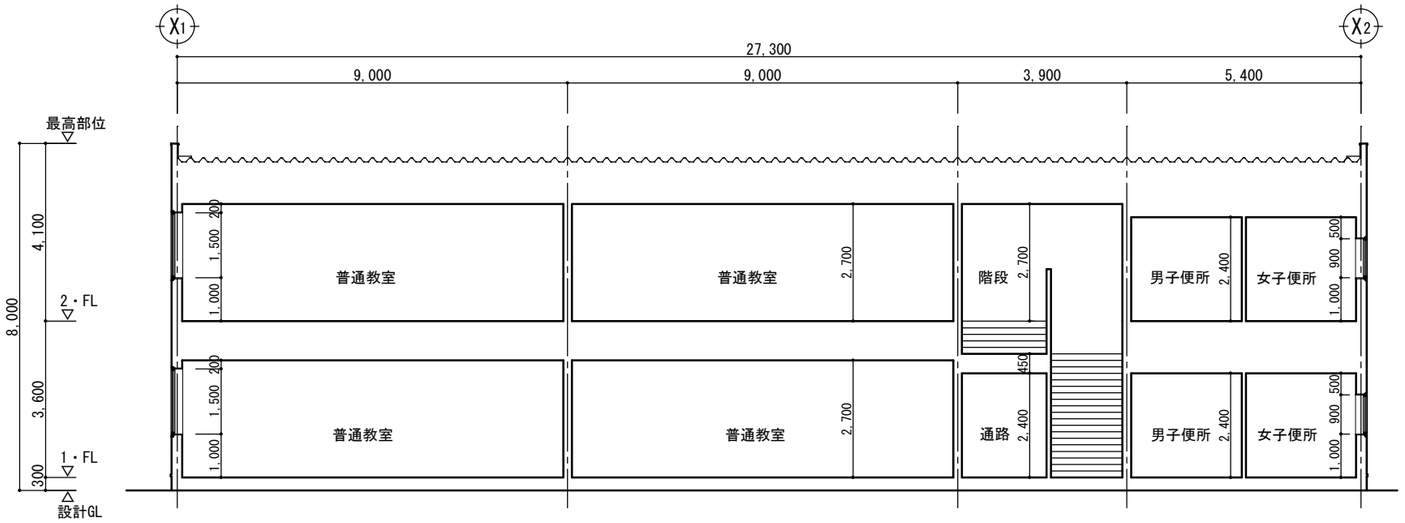


Y2 通り立面図　1/100

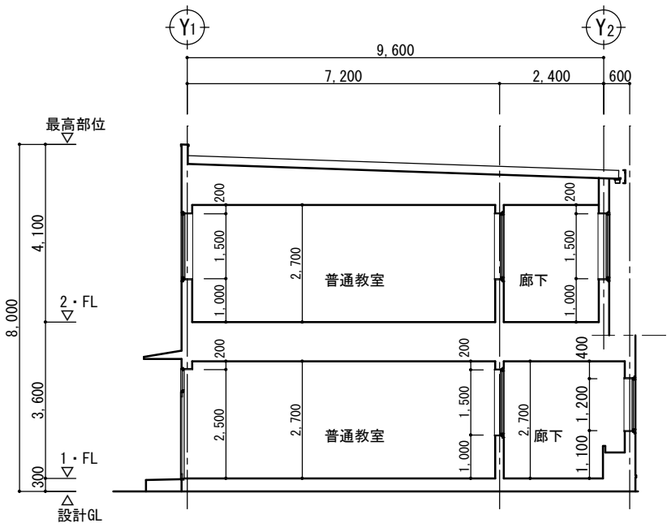


X1 通り立面図　1/100

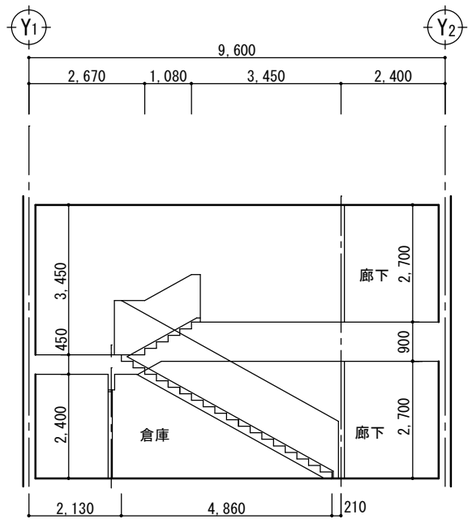
記事			課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 / 製図	工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号 A-09
										図面名称 立面計画図 / 縮尺 1/100	



Ⓨ方向断面図　1/100

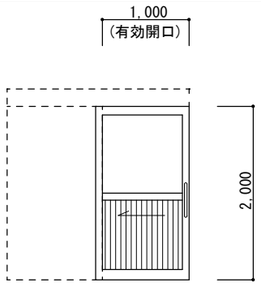
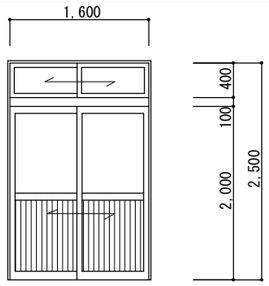
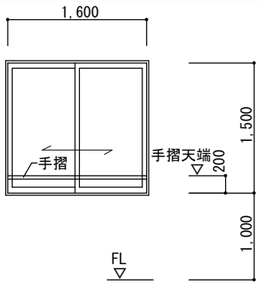
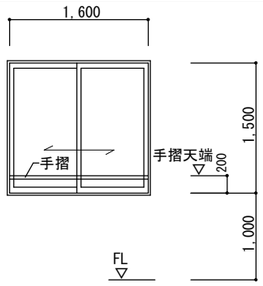
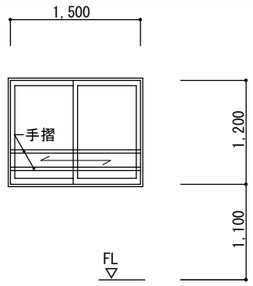
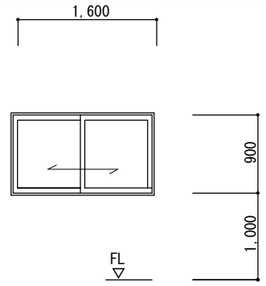


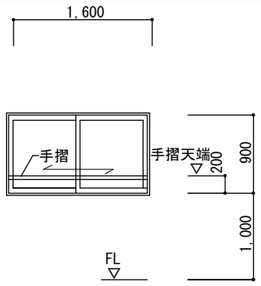
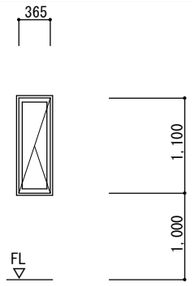
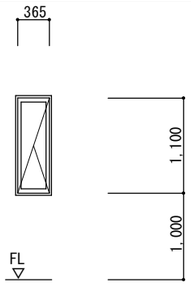
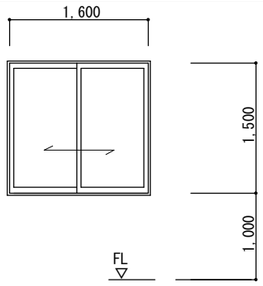
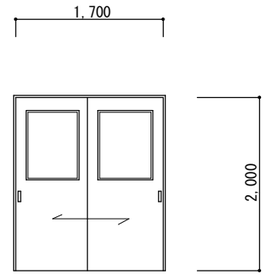
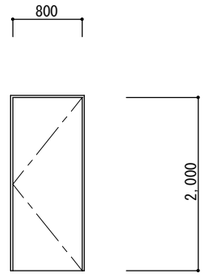
Ⓧ方向断面図　1/100

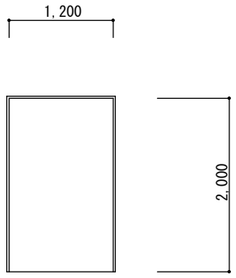
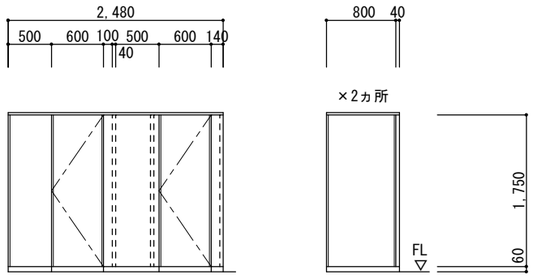
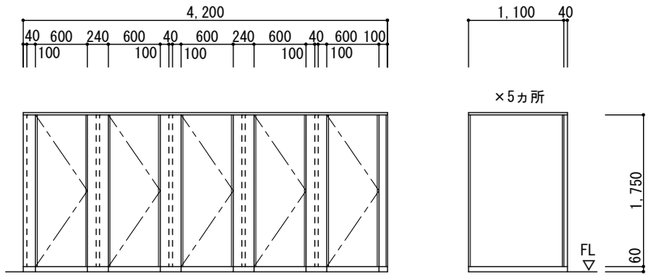
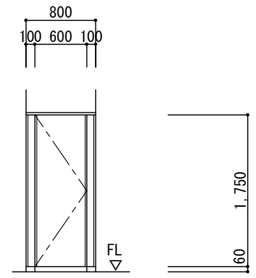


階段部分断面図　1/100

記事			課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 / 製図	工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号 A-10
										図面名称 断面計画図 / 縮尺 1/100	

符号・数量	1/AD 通　路	1	2/AD 廊　下	4	1/AW 普通教室　廊下	21	2/AW 普通教室　廊下	4	3/AW 廊下　(水飲場)	8	4/AW 1階女子便所	1
形状・寸法												
仕　様	ハンガー引戸（自閉式）		引　違　戸		引　違　窓		引　違　窓　(防火設備)		引　違　窓		引　違　窓	
硝子・見込	強化透明t=4	70	同　左	70	強化透明t=4+中空層t=10+強化透明t=4	70	網入透明t=6.8+中空層t=7+強化透明t=4	70	強化透明t=4+中空層t=10+強化透明t=4	70	強化型板t=4+中空層t=10+強化透明t=4	70
金　物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ鎌錠	付属金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	付属金物	ｸﾚｾﾝﾄ、戸車	付属金物	同　左		同　左		同　左	
備　考	腰;ｱﾙﾐ複合板 t=3　ﾚｰﾙ;SUS		同　左		転落防止手摺(木製)2階のみ		同　左		転落防止手摺(木製)2階のみ			

符号・数量	5/AW 2階女子便所	1	6/AW 男子便所　1階女子便所	3	7/AW 2階女子便所	1	8/AW 普通教室	8	1/LSD 普通教室	8	2/LSD 階段下倉庫	1
形状・寸法												
仕　様	引　違　窓　(防火設備)		竪　辷　出　窓		竪　辷　出　窓　(防火設備)		引　違　窓		軽量ｽﾁｰﾙ引違戸　(化粧鋼板ﾌﾗｯｼｭt=30)		軽量ｽﾁｰﾙ片開戸　(化粧鋼板ﾌﾗｯｼｭt=30)	
硝子・見込	網入型板t=6.8+中空層t=7+強化透明t=4	70	強化型板t=4+中空層t=10+強化透明t=4	70	網入型板t=6.8+中空層t=7+強化透明t=4	70	強化透明t=4	70	強化透明t=4	80		80
金　物	ｸﾚｾﾝﾄ、戸車	付属金物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠	付属金物	同　左		ｸﾚｾﾝﾄ、戸車	付属金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠　戸車　大型引手	付属金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(握玉)　DC	付属金物
備　考	転落防止手摺(木製)						木製額縁(MDF)両面		下枠;SUS製　枠;焼付塗装、指詰防止ｺﾞﾑ		同　左	

符号・数量	3/LSD 男子便所・女子便所	4	1/TB 男子便所ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	2	2/TB 女子便所ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	2	3/TB 男女便所掃除用具入	4
形状・寸法								
仕　様	軽量ｽﾁｰﾙ三方枠		ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ		同　左		同　左	
硝子・見込		80		40		40		40
金　物			ｱﾙﾐｱｰﾙｴｯｼﾞ　丁番型ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ　表示錠　外開用ｽﾄｯﾊﾟｰ　巾木;SUS製		同　左		ｱﾙﾐｱｰﾙｴｯｼﾞ　丁番型ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ　戸当　巾木;SUS製	
備　考	枠;焼付塗装							

特記 事項

記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
(有)石川設計室
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

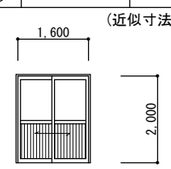
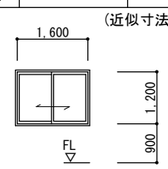
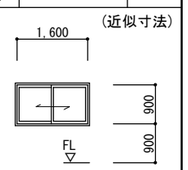
設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	A-11
	製図	図面名称 建具表	縮尺 1/50

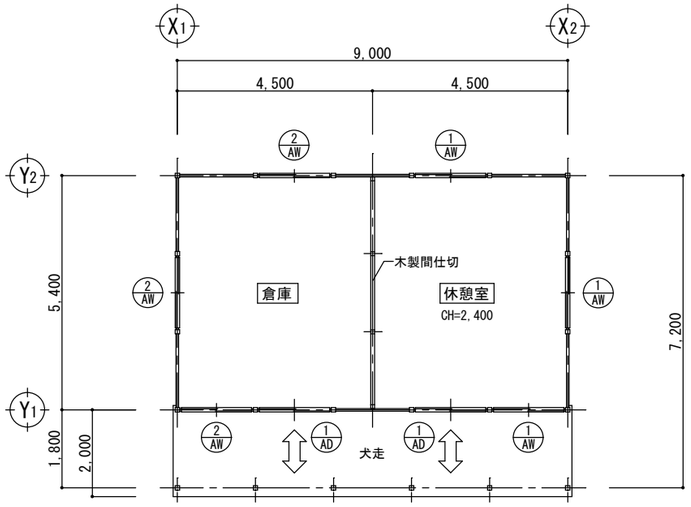
外部仕上表

屋根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5 H=88 折板葺(ﾎﾞﾙﾄ式) 裏面断熱材t=4貼り 破風・鼻隠し；ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5 H=300
外壁	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35 ﾊﾟﾈﾙ張り 内部；断熱材充填
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修
犬走	土間；ｺﾝｸﾘｰﾄ同時金ｺﾃ押え 屋根；ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5 H=88 折板葺(ﾎﾞﾙﾄ式)
建具・樋	建具；ｱﾙﾐ製ｼﾙﾊﾞｰ 軒樋：塩ﾋﾞ角樋 120型 竪樋：塩ﾋﾞ製 75φ 吊・掴金物；SUS製

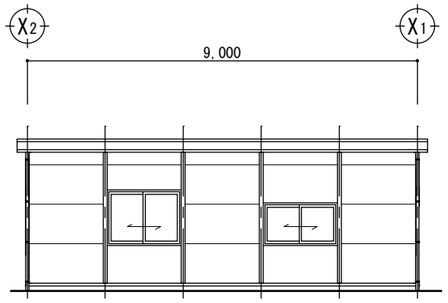
内部仕上表

室名	床	壁	天井	天井高	備考
休憩室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ同時金ｺﾞﾃ押え	構造用合板 t=12 SOP塗装	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5張り	2,400	
倉庫	同上	同上（間仕切部） 外壁部；ﾊﾟﾈﾙ現わし	折板現わし	—	

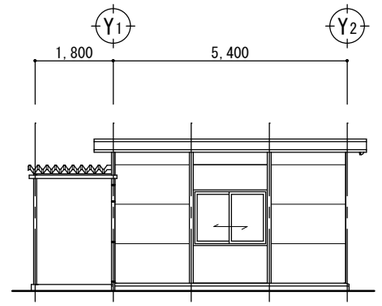
符号・数量	(1/AD) 通路	2	(1/AW) 休憩室	3	(2/AW) 倉庫	3
形状・寸法						
仕様	引違戸		引違窓		同左	
硝子・見込	強化透明t=4	60	同左	60	同左	60
金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		ｸﾚｼｪﾝﾄ 戸車 付属金物		付属金物	
備考	腰;ｱﾙﾐ複合板 t=3					



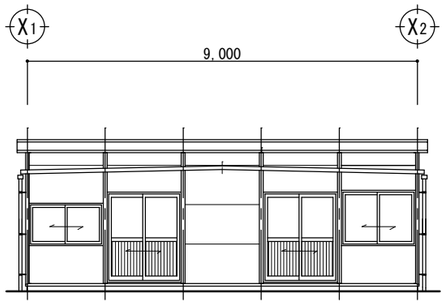
平面図 1/100



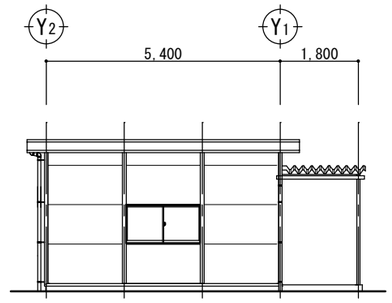
Y2通り立面図 1/100



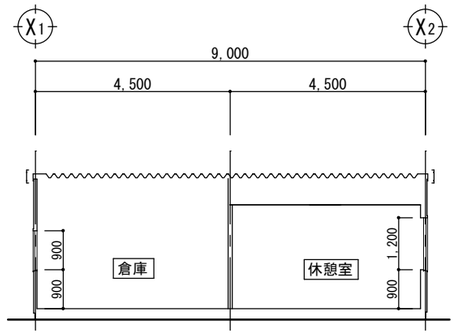
X2通り立面図 1/100



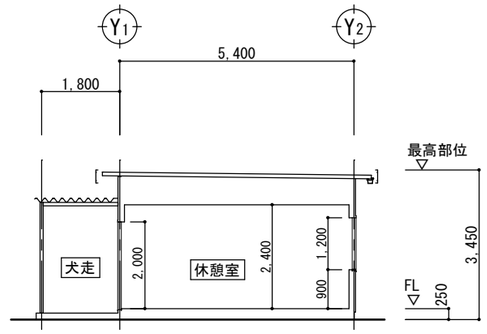
Y1通り立面図 1/100



X1通り立面図 1/100



Y通り断面図 1/100



X通り断面図 1/100

記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
(有)石川設計監理 TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	A-12
	製図	図面名称 用務員室計画図 / 縮尺 1/100	

電気設備工事　特記仕様書

Ⅰ　工 事 概 要

1．工事名称　宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ

2．工事場所　宮崎市源藤町池ノ内702番地

3．工事期間　自 令和　　年　　月　　日　至 令和　　年　　月　　日

4．建物概要

建物名称	構　造	階　数	建築面積（㎡）	延面積（㎡）	消防法区分	備　考
プレハブ校舎	S造	地上2階				
倉庫棟	S造	地上1階				

5．工事種目　（○印のついたものを適用する）

工 事 種 目	建物別及び屋外			
	プレハブ校舎	倉庫棟		屋外
受変電設備（改修）				○
幹線設備	○	○		○
動力設備	○	○		
電灯・コンセント設備	○	○		
照明器具及び取付	○	○		
自動火災報知設備	○			
電話設備	○			
情報通信設備	○			
テレビ共聴設備	○			
時計設備	○			
インターホン設備				
中央監視制御設備				
放送設備	○			
防犯設備				
撤去工事				

Ⅱ　工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）本工事は、電気事業法・電気設備技術基準・内線規程及び建築基準法・消防法・関係法に基づく。

（2）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）並びに電気設備工事管理指針（最新版）による。

（3）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書、特記事項を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

項　目	特　記　事　項

① 工事実績情報の登録（工事カルテ）
⊙適用する　　・適用しない

② 施工調査
⊙本工事施工にあたっては、事前に現場を十分に調査し着工のこと。また、電気、給水及びガス等の供給停止、粉じん、ほこり、騒音、振動等が発生するおそれのある場合は、事前に監督員及び当該施設管理者と十分に打合せのうえ施工のこと。
⊙実施工程表及び施工計画書作成のための施工計画調査及び施工に先立った事前調査を監督員に報告する。なお、調査項目、調査範囲及び調査方法は、監督員と協議する。

③ 建設リサイクル法
⊙対象工事　　・対象外工事　　・請負代金の額による

	対象建設工事の種類	規模の基準
対象建築工事	建築物の解体	床面積の合計　８０㎡以上
	建築物の新築・増築	床面積の合計　５００㎡以上
	建築物の修繕・模様替	請負代金の額　　１億円以上
	建築物以外のものの解体・新築等	請負代金の額　５００万円以上

④ 機材等
⊙本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。
但し、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受けること。
⊙ＪＩＳマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
（1）機材等が所要の品質・性能を確保し、試験データが整備されていること。
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
（3）安定的な供給が可能であること。
（4）法令等で定める許可、認可、認定及び免許等を取得していること。
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。

⑤ 工事用電力、水、その他
⊙本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続き等の費用は、全て受注者の負担とする。
⊙本工事の受注者は、官公署その他への手続きは速やかに行い、工事竣工と同時に使用できるよう一切の手続きを代行する。その費用は全て受注者の負担とする。

⑥ 工事写真
⊙国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（最新版）・同解説／工事写真の撮り方（建築設備編）」及び宮崎市建築住宅課「工事写真撮影心得」による。
⊙工事写真の小黒板情報電子化については、現場説明書による。

⑦ 提出図書等
⊙工事着手前に提出する図書は下記による。
設計図　－　製本（　1　）部
（工事名称、工事期間、受注者名、電話番号を記入）
その他監督員の指示するもの

⑧ 完成図書
⊙完成図及び保全に関する説明書の提出は下記による。（部数については指示）
完成図及びＣＡＤデータ（内容については別途指示）
上記縮小版製本　－　２部
機器製作図、試験成績表、現地測定表、取扱説明書及び保守指導案内書　－　２部
保証書、予備品等　－　１部
その他監督員の指示するもの
⊙最終提出書類は、書類保管箱（プラスチックケース等）に納め提出すること。
⊙建設副産物実態調査の提出は、現場説明書による。

⑨ 施工図の取扱い
⊙施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

⑩ 施工従事者
⊙本工事の施工従事者は、関係法令で定める有資格者とし、資格証の写しを提出し承諾を受けること。
・契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

⑪ 耐震施工
⊙設備機器等の固定は、独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（最新版）」により耐震強度計算書等を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

⑫ あと施工アンカー
⊙施工後確認試験（特記なき場合、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」による。）

⑬ 風圧力に対する性能
⊙建築基準法施行令第８７条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討計算書を監督員に提出すること。なお、検討範囲にはそれぞれの取付部分を含めるものとする。

⑭ 工事用仮設物（現場事務所等）
・構内につくることが（　・できる　　・できない　　・施設管理者との協議による　）
その費用は全て受注者負担とする。

⑮ 仮設足場等
⊙別契約の関係受注者定着したものは、無償で使用できる。
⊙本工事で設置する
（足場を設ける場合には、関係法令によるものとし十分に安全対策を行うこと）

⑯ 発生材の処理
⊙発生材等（建設副産物）の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設副産物適正処理推進要綱」その他関係法令を遵守して行うこと。
⊙元請業者が収集運搬及び処分を委託する場合は、元請業者と収集運搬業者との間の契約及び元請業者と処分業者との２者間契約を締結し、事前に許可証の写しを監督員に提出すること。
⊙その他、特記なき事項は下記による。
（1）引渡しを要するもの
⊙有　（　リース品：電話主装置・多機能電話機　　）
（2）引渡しを要するもの以外
⊙構外搬出とし、搬出及び処理費は（　⊙本工事　　・別途工事　）とする。
（3）特別管理産業廃棄物
・有　（　　）
（ＰＣＢ使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す）
（4）再利用又は再資源化を図るもの
・有　（　　）

⑰ 残土処理
⊙構内指示の場所に敷きならし
・構内指示の場所にたい積
・構外搬出、適切処理

⑱ 電線・ケーブル類
⊙原則として、ＥＭ電線、ＥＭケーブルを使用する。
⊙ビニル電線を使用する旨の記載があるものは、ＥＭケーブルの規格に読替え、使用する。
⊙ＥＭケーブルの電線色別は、原則として標準仕様書による。
但し、ケーブルの一芯を接地線として使用する場合は、緑色の芯線とする。

⑲ 電線管類
⊙原則として、屋外露出配管は、厚鋼電線管、ＨＩＶＥ管、ＳＵＳ管のいずれかとする。
⊙金属管を使用する場合は、必要に応じボンディングを行い、電気的に接続すること。
⊙外壁貫通の配管は、薄鋼又は厚鋼電線管とする。
⊙屋外で金属製可とう電線管を使用する場合は、ビニル被覆有りとする。
⊙ＣＤ管の使用は認めない。

20．予備配管
・分電盤の予備配線用遮断器数に応じ、次のように予備配管を設ける。
天井スラブの場合　－　ジョイントボックス取付
二重天井の場合　－　天井面まで仕上げ、ジョイントボックス取付
但し、点検口がある場合は監督員の指示による。
配管　－　予備の配線用遮断器　４個以下　…（２５）×２
５個以上　…（２５）×３以上

㉑ 呼び線
⊙長さ１ｍ以上の空配管には、１．６ｍｍピニル被覆鉄線を入線し用途名称札をつけること。

㉒ プレート類
⊙樹脂製（カラープレートを含む）
・ステンレス製、新金属製
・刻印の○印の直径は１０ｍｍ、刻印文字は黒色とし、下記による。

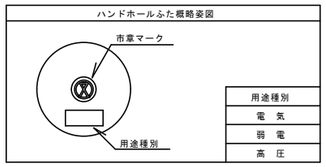
電灯	－ 灯	動力	－ 動	電話	－ Ｔ		
電気時計	－ 時	表示・電鈴	－ IS	インターホン	－ Ｉ		
ﾃﾚﾋﾞ共聴	－ TV	防災	－ 災	防犯	－ 犯		
拡声	－ 放	自火報	－ 火	ＬＡＮ	－ LAN		

㉓ 屋外の支持金物及びプルボックスその他の盤
⊙屋外の支持金物、ボルト・ナット等は、溶融亜鉛メッキ仕上げ又はステンレス製とする。
⊙プルボックス及び盤の材質は、特に指示しない場合は、下記による。
屋内　－　ボンデ鋼板製　、　屋外　－　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）

㉔ 塗色
⊙プルボックス、盤類、電線管その他の塗装色は、特に指示しない場合は、マンセル値２．５Ｙ９／１とする。

㉕ その他表示
⊙盤内の外部配線、プルボックス内、その他の要所の電線には、合成樹脂製、ファイバ製等の表示札等を取付け、回路の種別、行先等を表示する。
⊙スイッチ、コンセントで用途の判別がし難いもの及び３連以上のスイッチは、表示する。
⊙埋設管路の標識は、（ ⊙ 埋設シート　　・標識杭　　・標識プレート　）とする。
・ハンドホール内では、ケーブル呼び線に用途名称札を付け、その名称札は刻印とする。
・ハンドホール、マンホールのふたは、下図による。用途種別を刻印すること。

ハンドホールふた概略姿図



用途種別
電　気
弱　電
高　圧

※用途種別の記載については監督員の指示による。

㉖ 接地極
⊙接地極材料は、特に指示しない場合は下表による。
（接地極の上端をＧＬ－７５０以上の深さに埋設する）

接地種別	接　地　極
Ａ種	ＥＰ（アースプレート 900*900*1.5t鋼板）
Ｂ種	ＥＰ（アースプレート 600*600*1.5t鋼板）
Ｃ．Ｄ種	ＥＢ（アースブロック D=14,L=1,500、リード線22mm2*300mm 銅製接地棒）※接地線太さ30mm2以上は、ＥＢ２本使用

⊙接地極埋設標は、刻印とする。

㉗ 機器取付高
⊙設計図に特記のない、壁付、壁掛型の機器等の取付高は、施工図作成のうえ、監督員に承諾を受けること。

㉘ 環境への配慮
⊙国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努めること。
⊙屋内で使用する材料の選定にあたっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
⊙当市の「公共工事における環境配慮指針」に協力し、工事に伴う環境負荷の軽減に努めるとともに、省資源・省エネルギーについて配慮した施工を行うこと。

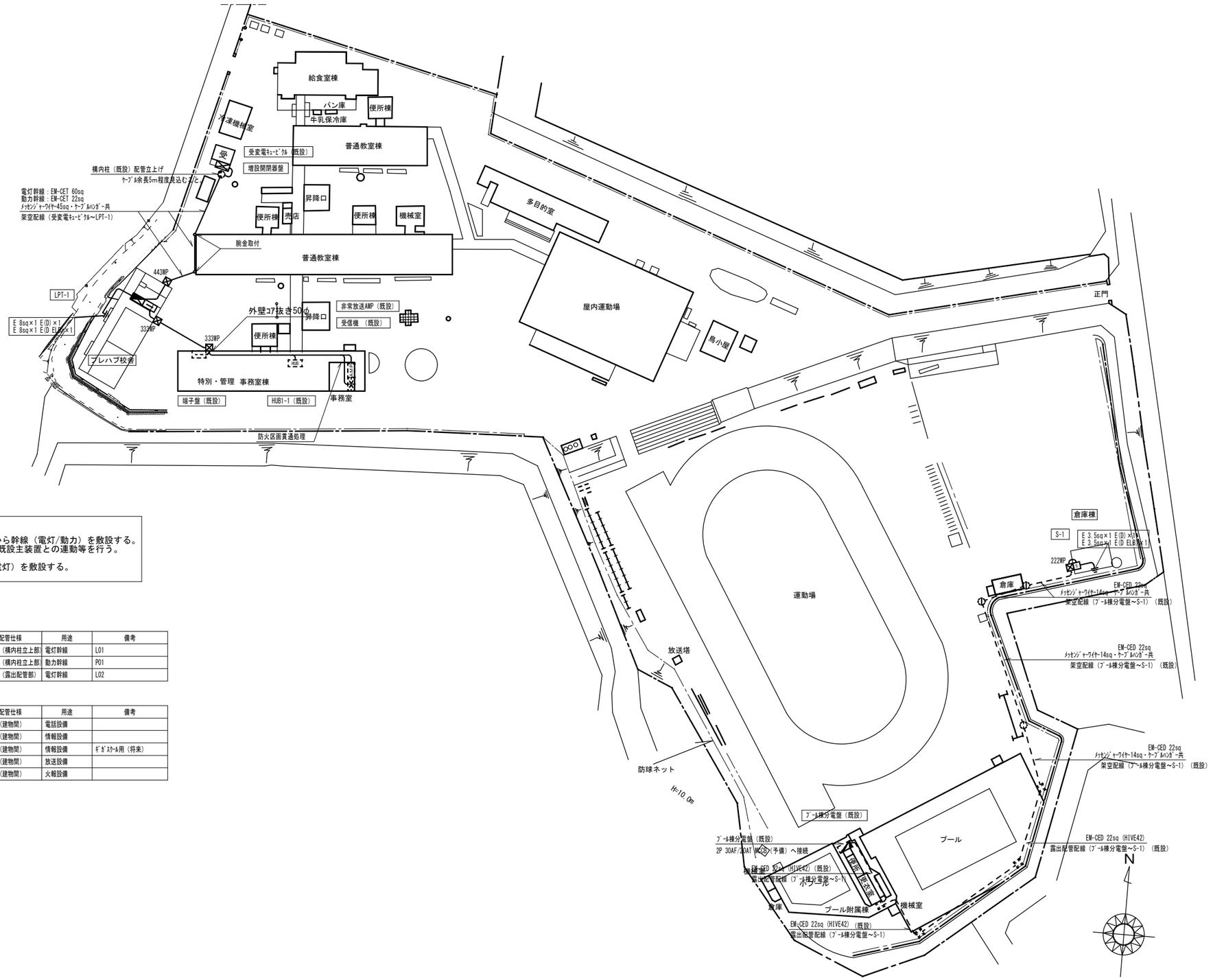
Ⅲ　他工事との取り合い

工 事 内 容				本工事（電気工事）	建築工事	機械工事	その他工事
機器の基礎	電気関係	受変電・分電盤基礎	屋内				
			屋外				
			屋上				
		自家用発電機基礎					
		防油提・タンク基礎					
		テレビアンテナ基礎					
		避雷針基礎					
	架台、アンカーボルト						
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ						
	防火戸レリーズ						
	電極棒						
	既製間仕切壁（パネル工法）の配管及び埋込ボックス						
	配線ピット及び蓋						
	機器などへの接続（一次側）						
	機器付属制御盤以降の配管配線（接地共）						
	機器付属制御盤への電源供給配管配線（接地共）						
	天吊型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配管						
	天吊型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの渡り配線（接地共）						
	天吊型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチ						
	天吊型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチボックス						
	個別パッケージの室内機・室外機の渡り配線（接地共）						
	煙感知器から連動操作盤を経て防煙ダンパに至る配線配管						
	小便器用節水装置の制御盤以降の２次側の配線配管						
ガス漏れ検知器							
電気錠	電気錠及び通電金具						
	ＴＥＮキー及び制御盤						

訂正			課　長	補　佐	係　長	係　員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設　計		工事名称	宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号
2023・04	製　図		図面名称	電気設備工事　特記仕様書　縮尺 N.S	E-01



全体配置図　1/700

工事場所；宮崎市源藤町池ノ内702番地

【概要】
・プレハブ校舎増築に伴い、既設受変電キュービクルから幹線（電灯/動力）を敷設する。
・各弱電設備において、【特別・管理 事務室棟】の各既設主装置との連動等を行う。
　詳細は各弱電設備 系統図を参照のこと。
・倉庫棟増築に伴い、既設プール棟分電盤から幹線（電灯）を敷設する。

■ 構内配電線路

起点	終点	配線仕様	配管仕様	用途	備考
受変電（既設）	LPT-1	EM-CET60sq	HIVE70（構内柱立上部）	電灯幹線	L01
		EM-CET22sq	HIVE42（構内柱立上部）	動力幹線	P01
プール棟分電盤（既設）	S-1	EM-CED22sq	HIVE42（露出配管部）	電灯幹線	L02

■ 構内通信線路

起点	終点	配線仕様	配管仕様	用途	備考
LPT-1	端子盤（既設）	EM-TKEE 0.5-10P	HIVE22(建物間)	電話設備	
	HUB1-1（既設）	EM-UTP Cat6A	HIVE16(建物間)	情報設備	
	P.B（事務室棟）	—●—	HIVE22(建物間)	情報設備	ｷﾞｶﾞｽｶｰﾙ用（将来）
	非常放送AMP（既設）	EM-HP 1.2-5P	HIVE16(建物間)	放送設備	
	受信機（既設）	EM-HP 1.2-10P	HIVE28(建物間)	火報設備	

⊠ 222WP　プルボックス　200 x 200 x 200　SUS製　防水

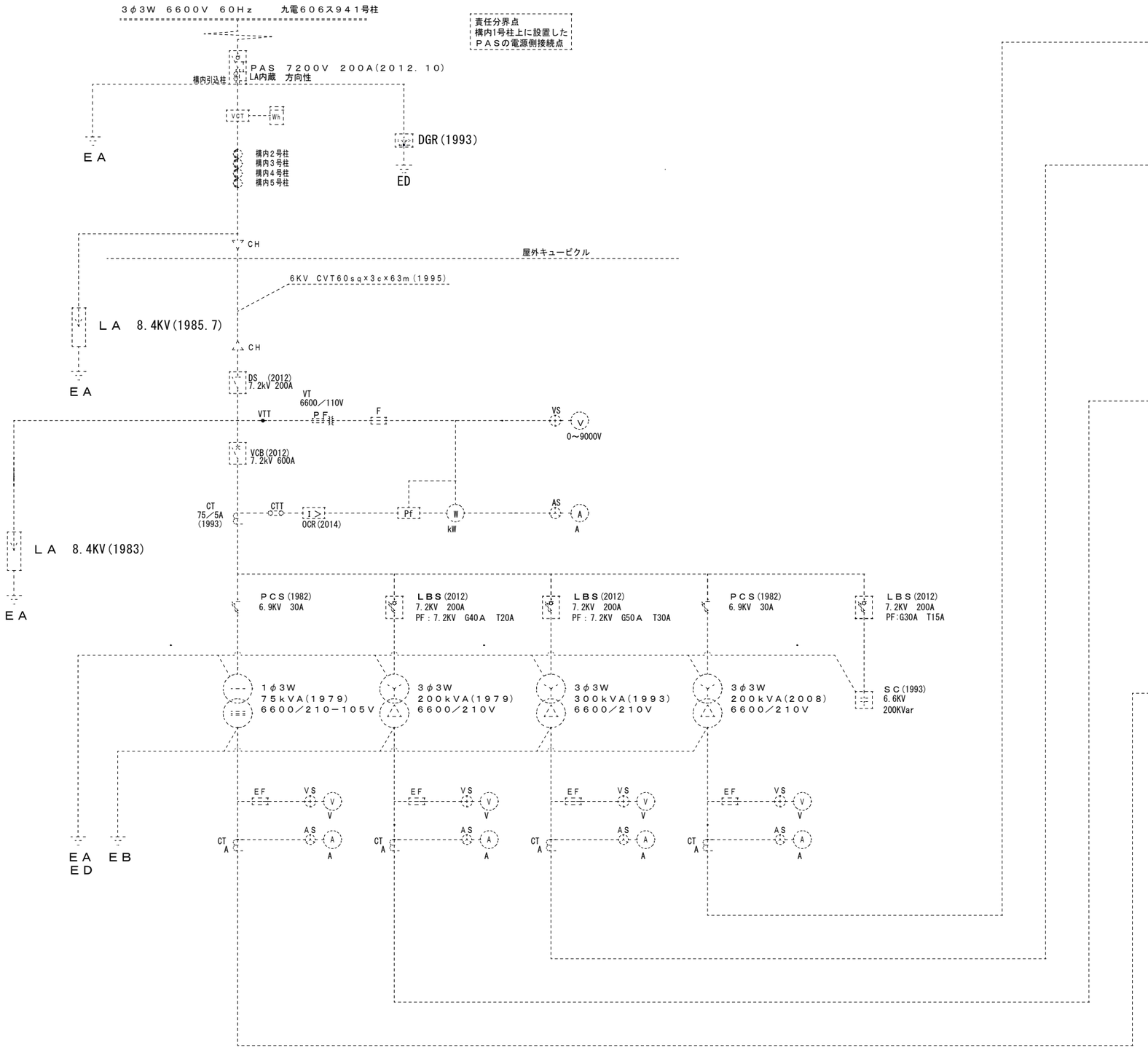
⊠ 333WP　プルボックス　300 x 300 x 300　SUS製　防水

⊠ 443WP　プルボックス　400 x 400 x 300　SUS製　防水

訂正			課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-02
	製図	図面名称：電気設備配置図	縮尺 1/700



負荷名称	MCCB P	AF	AT	kA	備考
PE	3		150		

負荷名称	MCCB P	AF	AT	kA	備考
P－K	3		150		
P－1	3		500		
P－1	3		500		

負荷名称	MCCB P	AF	AT	kA	備考
機械室P－D	3		100		
P－A	3		175		
給食室動力	3		150		
プール	3		225		
P－C	3		100		
P－B	3		100		
P－2	3		75		
グランド散水ポンプ室	3		75		
P－1	3		150		
P－E	3		150		
児童クーラー	3		75		
消火ポンプ	3		75		
体育館	3		150		

負荷名称	MCCB P	AF	AT	kA	備考
コンピュータ教室	3		50		
L－A	3		150		
体育館	3		150		
L－B	3		125		
SP	3		50		
L－C	3		100		
給食電灯	3		50		
GR電源	2		20		
盤内照明	2		20		

LPT－1（電灯）	3	225	125		LPT-1へ
LPT－1（動力）	3	100	100		LPT-1へ

増設開閉器盤 SUS製（キュービクル側面取付）

※ 受変電設備改修工事は休日作業とする。

訂正		課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
[有] 石川設計室
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	製図
2023・04		

工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	既設受変電設備 結線図	N.S	E-03

動力負荷リスト

盤名称 幹線番号	主遮断器	負荷記号 NO	負荷記号 設備NO	負荷名称	負荷容量 (kW)	電流 (A)	最大電流 (A)	遮断器 MCB	遮断器 ELB	遮断器 MB	遮断器 P・AF/AT	結線記号 主回路	結線記号 制御回路	監視盤 操作	監視盤 状態	監視盤 故障	監視盤 警報	動力2次側 配管配線サイズ	備考
LPT-1 3φ3W 210V (屋内自立鋼板製) 設置場所：廊下 上部ｶﾞﾗﾄ付 (CH=2,700) CET22sq P01	MCCB 3P 100AF /100AT	A	PAC-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3.8	11.5	24.6	○		3P 50/30	D1							CV 8sq-4C	
		B	PAC-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3.8	11.5	24.6	○		3P 50/30	D1							CV 8sq-4C	
		C	PAC-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3.8	11.5	24.6	○		3P 50/30	D1							CV 5.5sq-4C	
		D	PAC-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3.8	11.5	24.6	○		3P 50/30	D1							CV 5.5sq-4C	
				計	15.2														

電灯負荷リスト

盤名称・電源種別 幹線記号・主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V) 200	電圧(V) 100	分岐開閉器 MCB	分岐開閉器 ELB	分岐開閉器 P・AF・AT	容量 (VA)	リモコンリレー	名称
LPT-1 1φ3W 105/210V 屋内自立鋼板製 設置場所：廊下 上部ｶﾞﾗﾄ付 (CH=2,700) CET60sq L01 MCCB 3P 225AF /125AT 中性線 欠相保護 TM 1L・年間式 COS1		101		○	○		2・30・20	828		照明換気 1F普通教室
		102		○	○		2・30・20	642		照明換気 廊下・ﾄｲﾚ
		103		○	○		2・30・20	828		照明換気 2F普通教室
		104		○	○		2・30・20	644		照明換気 2F廊下・ﾄｲﾚ
		105		○		○	2・30・20	33		外灯
		106		○	○		2・30・20			予備
							計	2,975		
合計 23,075 VA										
		301		○	○		2・30・20	600		ｺﾝｾﾝﾄ 1F普通教室
		302		○	○		2・30・20	600		ｺﾝｾﾝﾄ 1F普通教室
		303		○	○		2・30・20	300		ｺﾝｾﾝﾄ 1F廊下
		304		○		○	2・30・20	300		ｺﾝｾﾝﾄ 屋外
		305		○	○		2・30・20	100		ｺﾝｾﾝﾄ 盤内
		306		○	○		2・30・20	600		ｺﾝｾﾝﾄ 2F普通教室
		307		○	○		2・30・20	600		ｺﾝｾﾝﾄ 2F普通教室
		308		○	○		2・30・20	200		ｺﾝｾﾝﾄ 2F廊下
		309		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F男子便所
		310		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F男子便所
		311		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F女子便所
		312		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F女子便所
		313		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F女子便所
		314		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 1F女子便所
		315		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F男子便所
		316		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F男子便所
		317		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		318		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		319		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		320		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		321		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		322		○		○	2・30・20	1,200		暖房便座 2F女子便所
		323		○	○		2・30・20			予備
		324		○	○		2・30・20			予備
							計	20,100		
○ Ed ○ Ed(EL形)										※暖房便座は将来対応
S-1 1φ3W 105/210V 屋内壁掛鋼板製 設置場所：用務員室 CED22sq L02		101		○	○		2・30・20	1,000		照明・換気・空調・ｺﾝｾﾝﾄ
							計	1,000		
合計 1,000 VA ○ Ed ○ Ed(EL形)										

弱電　端子盤リスト

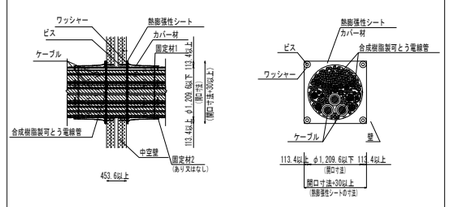
LPT-1

屋内自立鋼板製

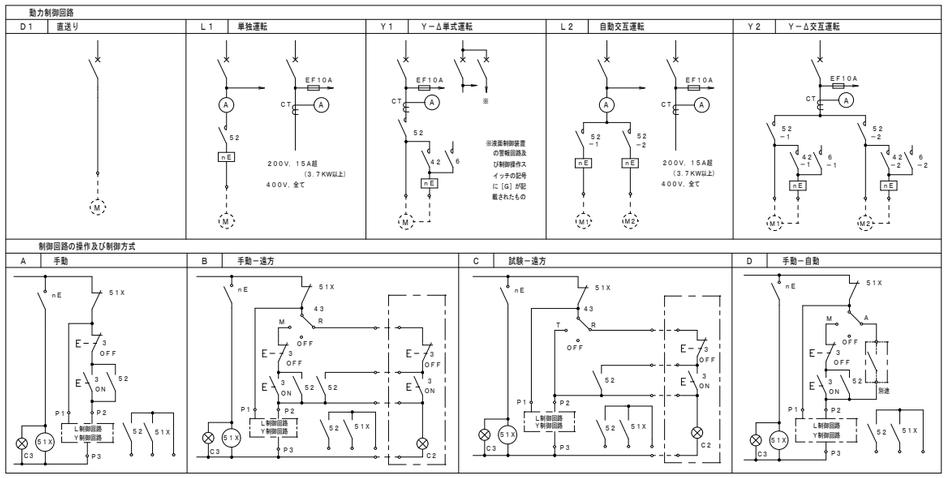
電話　：　端子台１０Ｐ
情報　：　スイッチングＨＵＢ ８ポート（実装）
　　スイッチングＨＵＢ ４ポート（スペース）（ギガスクール用）
ＴＶ　：　ＵＨＦ増幅器×１、２分配器×１
放送　：　端子台５Ｐ
火報　：　端子台１０Ｐ
予備　：　端子台１０Ｐ
その他：　２口露出コンセント×２、強電/弱電セパレータ

防火区画貫通処理　参考図

F91．PF管・ケーブル貫通（壁）　　認定番号(PS060WL-1171)



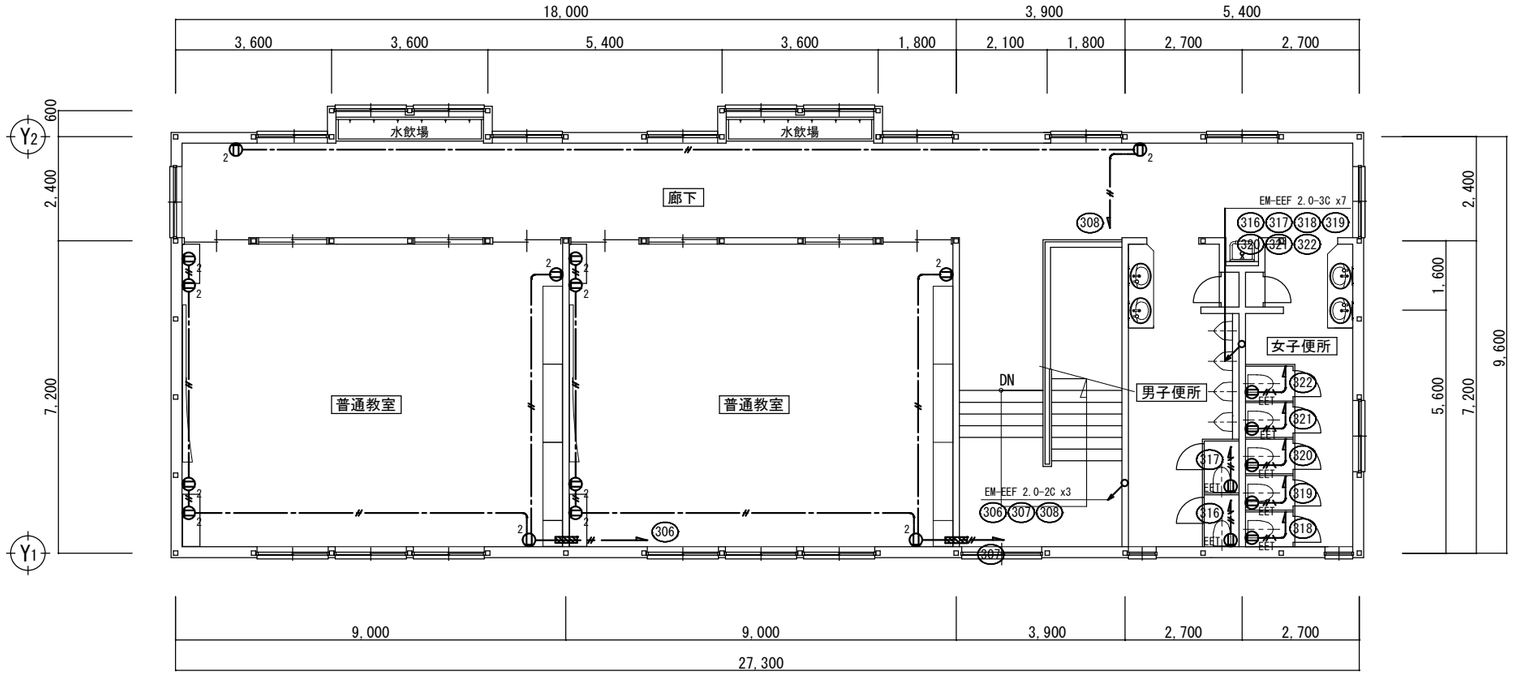
構造:中空壁60mm以上



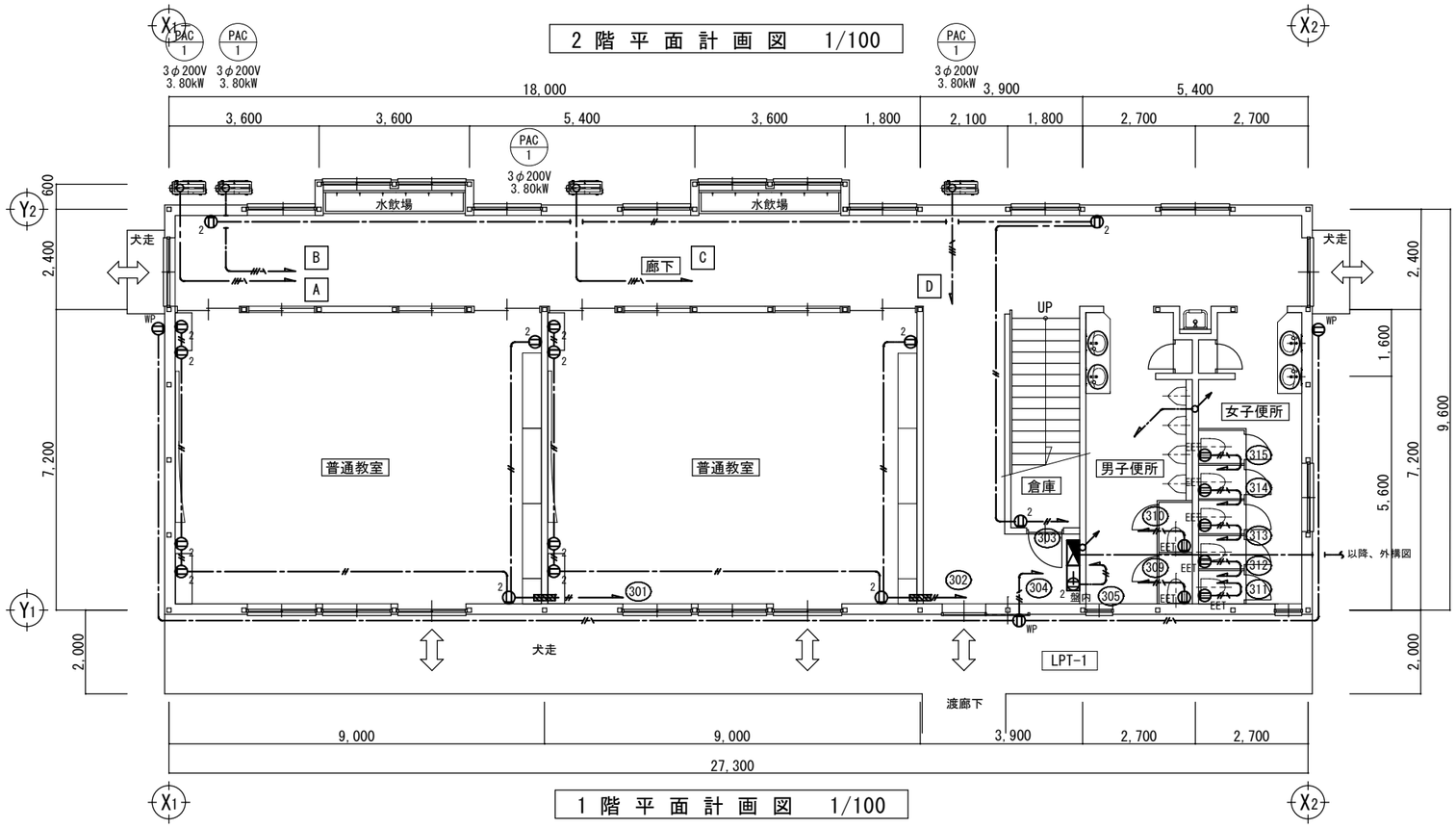
訂正			課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸
〔有〕石川設計監理

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04	製図	宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-04
		図面名称 電灯動力端子盤　結線図	縮尺 N.S



2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

凡例

	電灯動力端子盤
2	壁付ｺﾝｾﾝﾄ　2P15Ax2
EET	壁付ｺﾝｾﾝﾄ　2P15Ax1 E･ET付
WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ　2P15Ax2 E付　ｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ共(参考型番：WTF7873K)
	防火区画貫通処理

注記

(1)特記なき配管配線は下記による。
動力分岐は電灯動力制御盤 結線図による。
EM-EEF 2.0-2C
EM-EEF 2.0-3C(1C:E)
天井ころがし配線

(2)二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ立下げ部分は適合する電線管(PF)にて保護のこと。

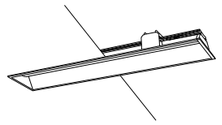
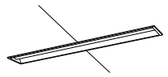
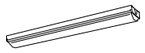
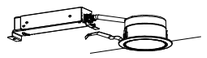
(3)防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を施すこと。

訂正		課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
(有)石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸

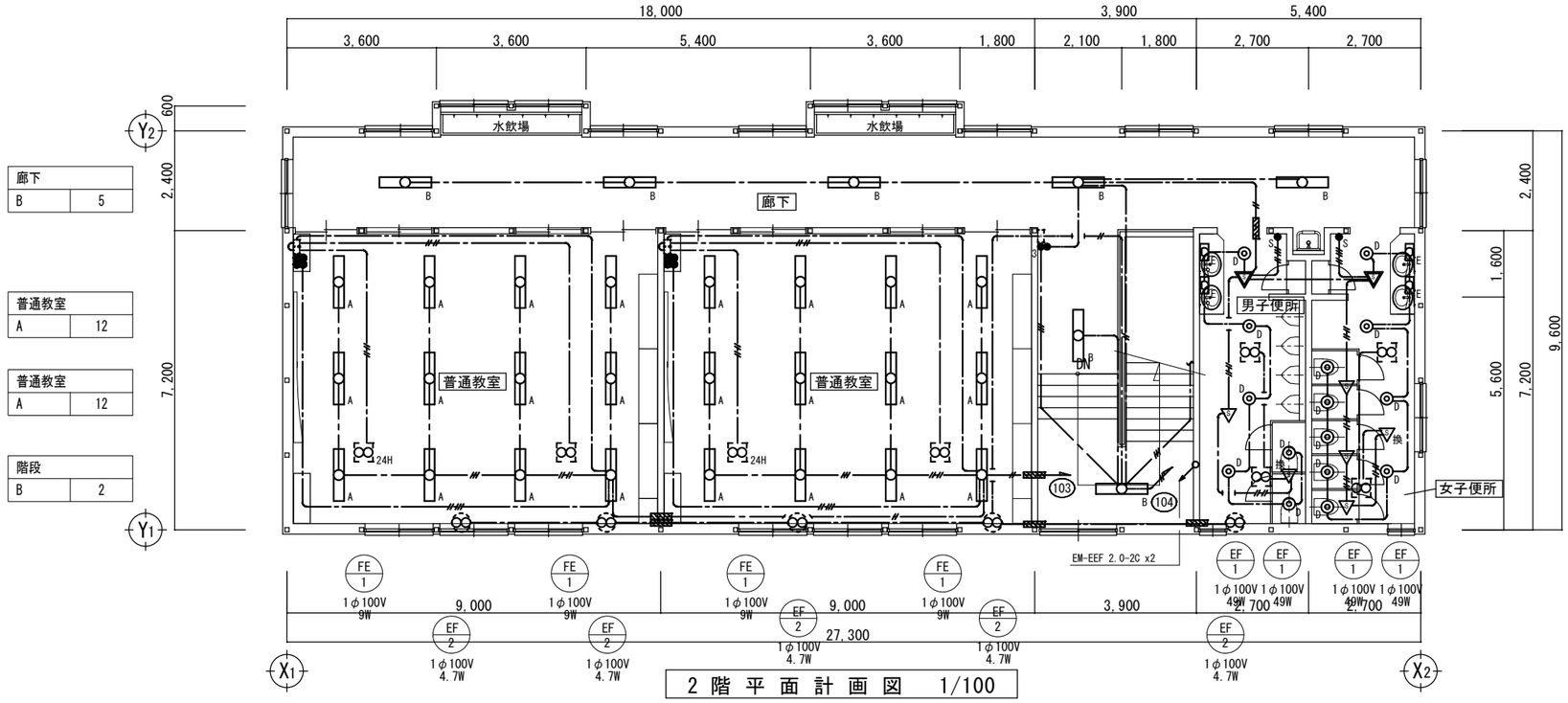
設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-05
	製図	図面名称 動力・コンセント設備　平面図	縮尺 1/100

注）メーカー、品番及び姿図は参考とし、同等品以上とする。

A	LED埋込型ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	B	LED埋込型ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	C	LED直付型ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	D	LED埋込型ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	E	LEDﾐﾗｰﾗｲﾄ	F	LEDｳｫｰﾙﾗｲﾄ
	5200lm 31.9W		5200lm 31.9W		3200lm 21.8W		1035lm 7.0W		1420lm 11.2W		990lm 10.0W
	昼白色（5000K）ｽｸｰﾙｺﾝﾌｫｰﾄﾀｲﾌﾟ		昼白色（5000K）		昼白色（5000K）適合ｶﾞｰﾄﾞ共		昼白色（5000K）		昼白色（5000K）Ra93		昼白色（5000K）防湿・防雨型
	 公共施設型番：LRS3SA20-4-47		 公共施設型番：LRS6-4-48		 公共施設型番：LSS1-2-30		 パナソニック　XND1039WN LE9　相当品		パナソニック　NNN12010 LE1　相当品		公共施設型番：LBF3MP/RP-2-06
G	LED直付型ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	H	LED直付型ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ								
	3200lm 20.6W		2500lm 16.3W								
	昼白色（5000K）		昼白色（5000K）適合ｶﾞｰﾄﾞ共								
	公共施設型番：LSS9-4-30		公共施設型番：LSS9-4-23								

※照明器具の消費電力はJIS C 8105-3による。

訂正			課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計	製図	工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面名称 照明器具姿図	縮尺 N.S	図面番号 E-06



2 階 平 面 計 画 図　1/100

廊下	
B	5

普通教室	
A	12

普通教室	
A	12

階段	
B	2

男子便所	
D	6
E	2

女子便所	
D	9
E	2

凡例

- 電灯動力端子盤
- ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ　親機
- ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ　子機
- ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ　子機　換気遅れOFF機能付
- 切替ｽｲｯﾁ　2回路　切-自動-連続
- 天井扇ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ（機械設備）
- 小屋裏換気用温度ｽｲｯﾁ（機械設備）
- 防火区画貫通処理

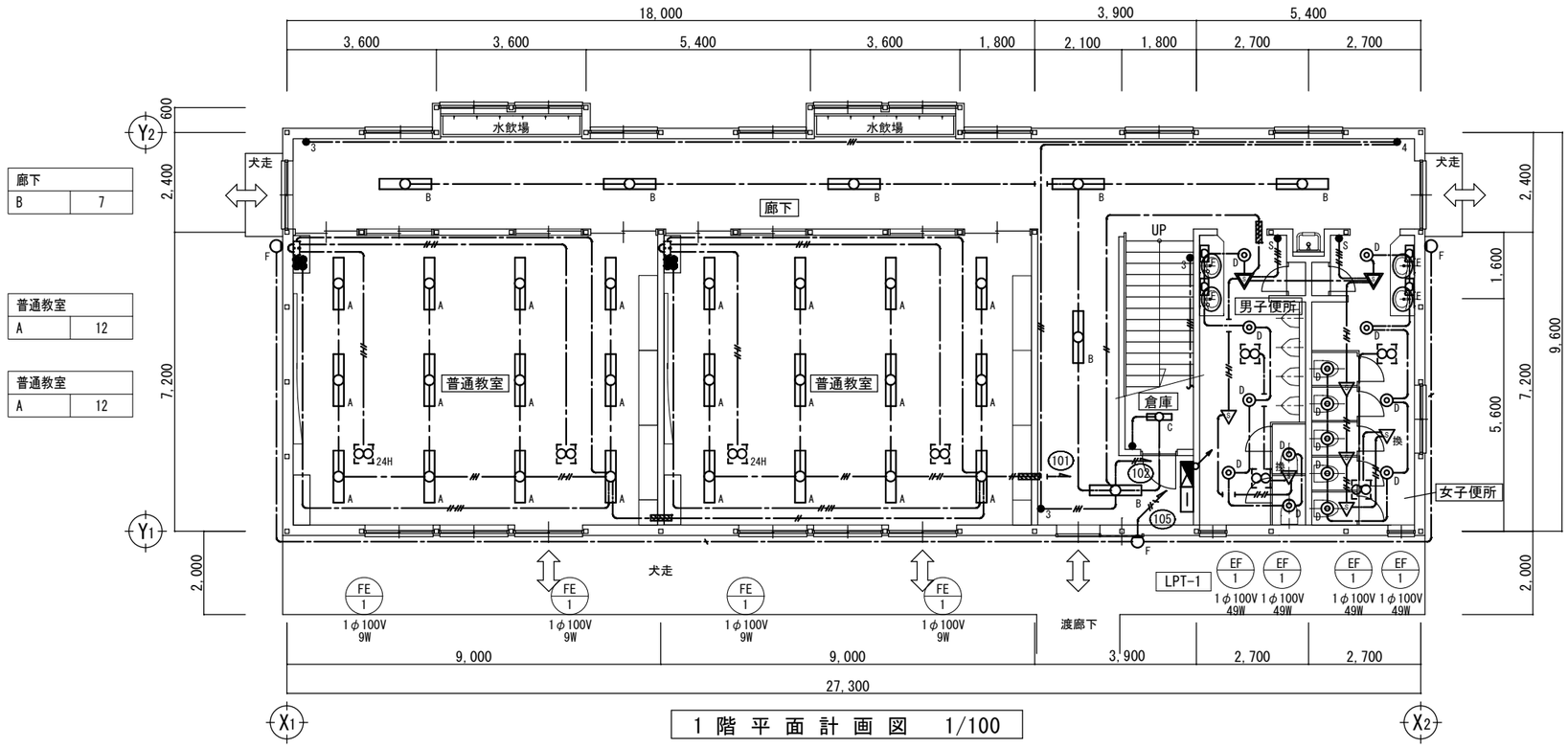
注記

(1)特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-2C
- EM-EEF 1.6-3C
- EM-EEF 1.6-3C(1C:E)
- EM-EEF 1.6-2C+2C
- EM-EEF 1.6-2C+3C
- EM-EEF 2.0-2C
- EM-EEF 2.0-3C(1C:E)
- 天井ころがし配線

(2)二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ立下げ部分は適合する電線管(PF)にて保護のこと。

(3)防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を施すこと。



1 階 平 面 計 画 図　1/100

廊下	
B	7

普通教室	
A	12

普通教室	
A	12

屋外	
F	3

男子便所	
D	6
E	2

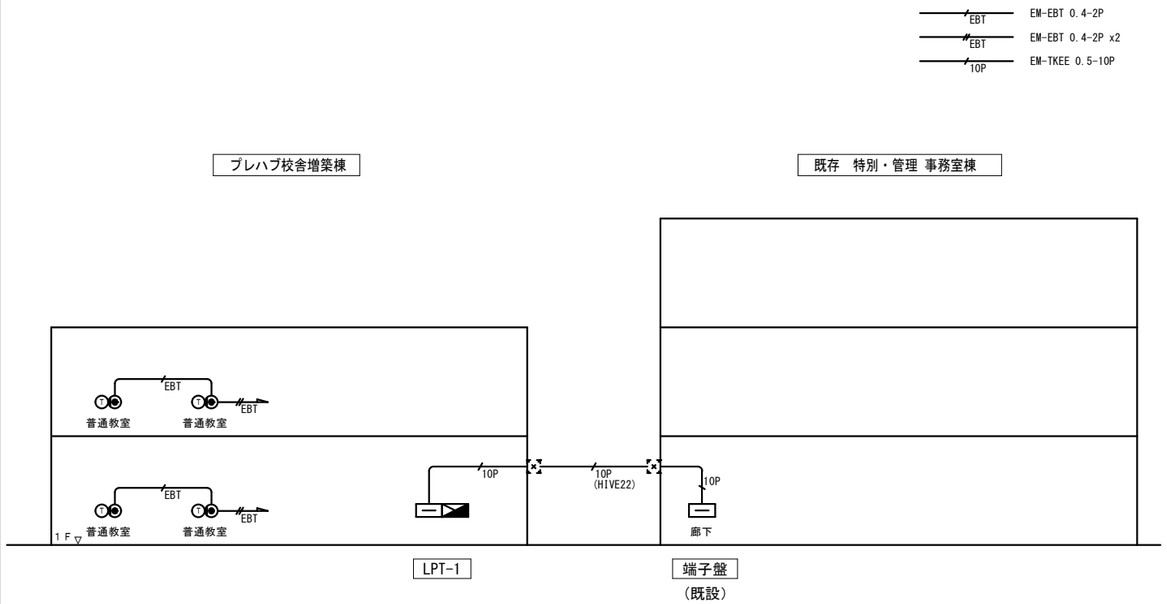
女子便所	
D	9
E	2

倉庫	
C	1

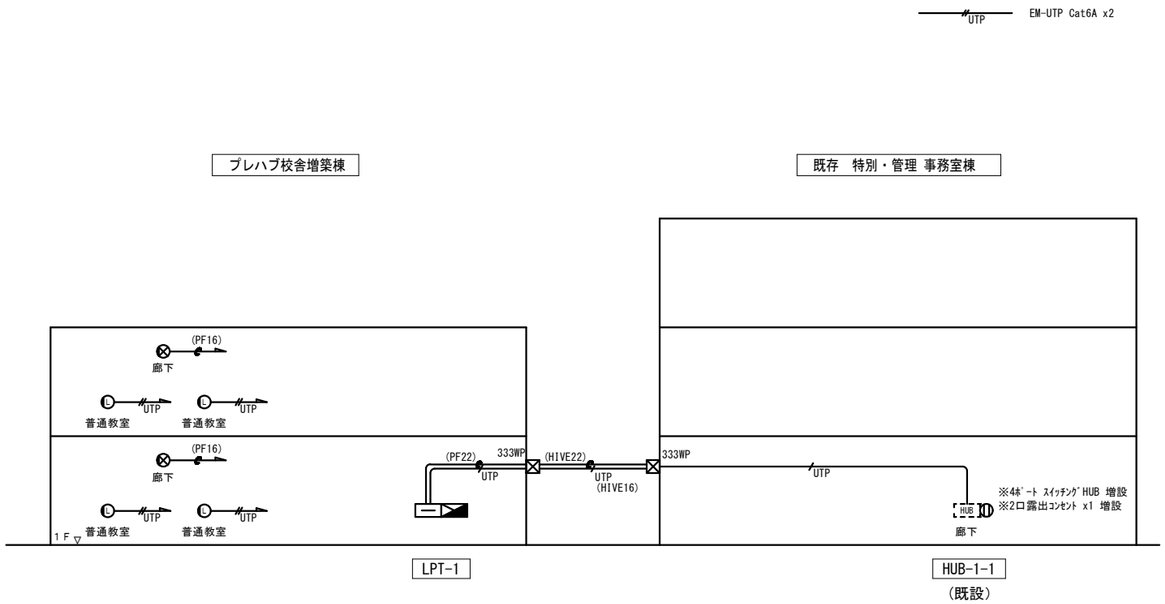
改正		課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理 TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

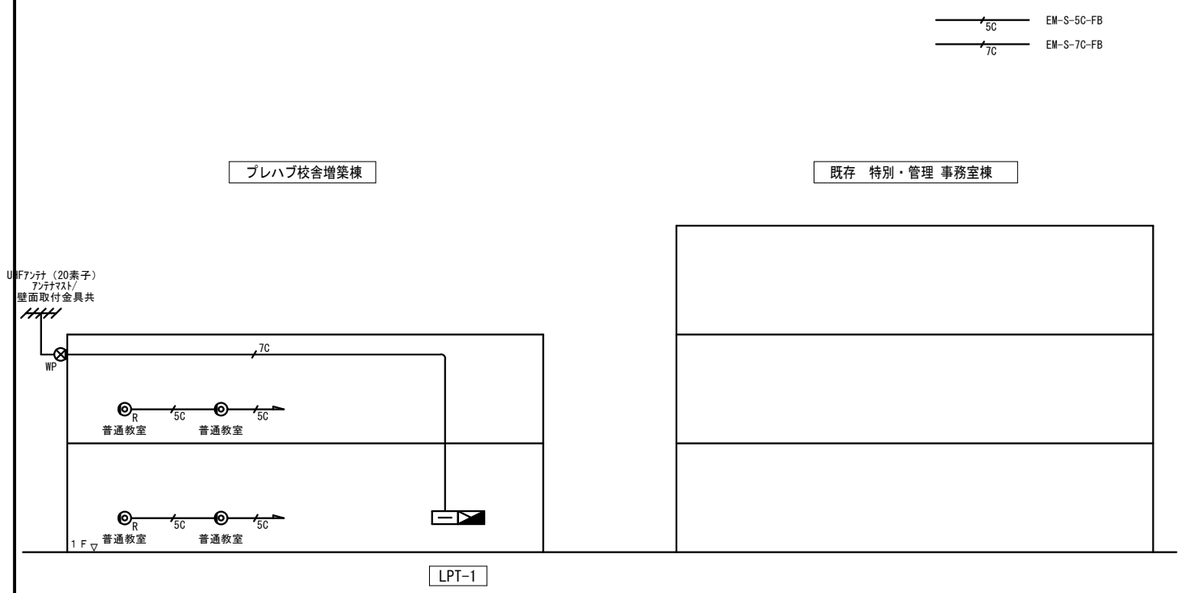
設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-07
	製図	図面名称 電灯設備　平面図	縮尺 1/100



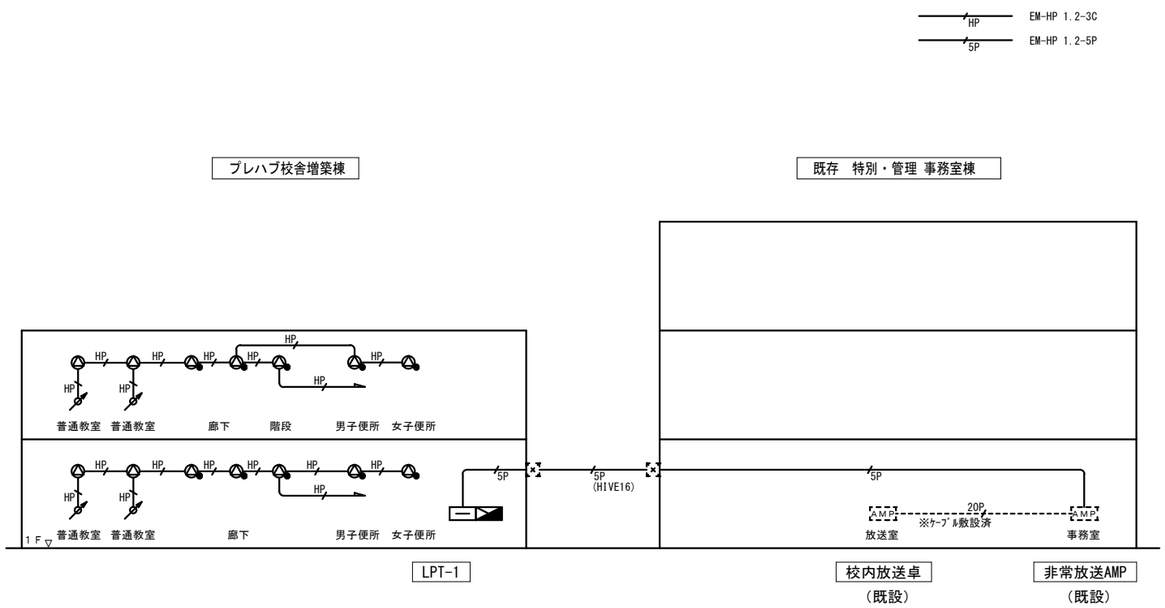
電話設備　系統図



情報設備　系統図



テレビ共聴設備　系統図



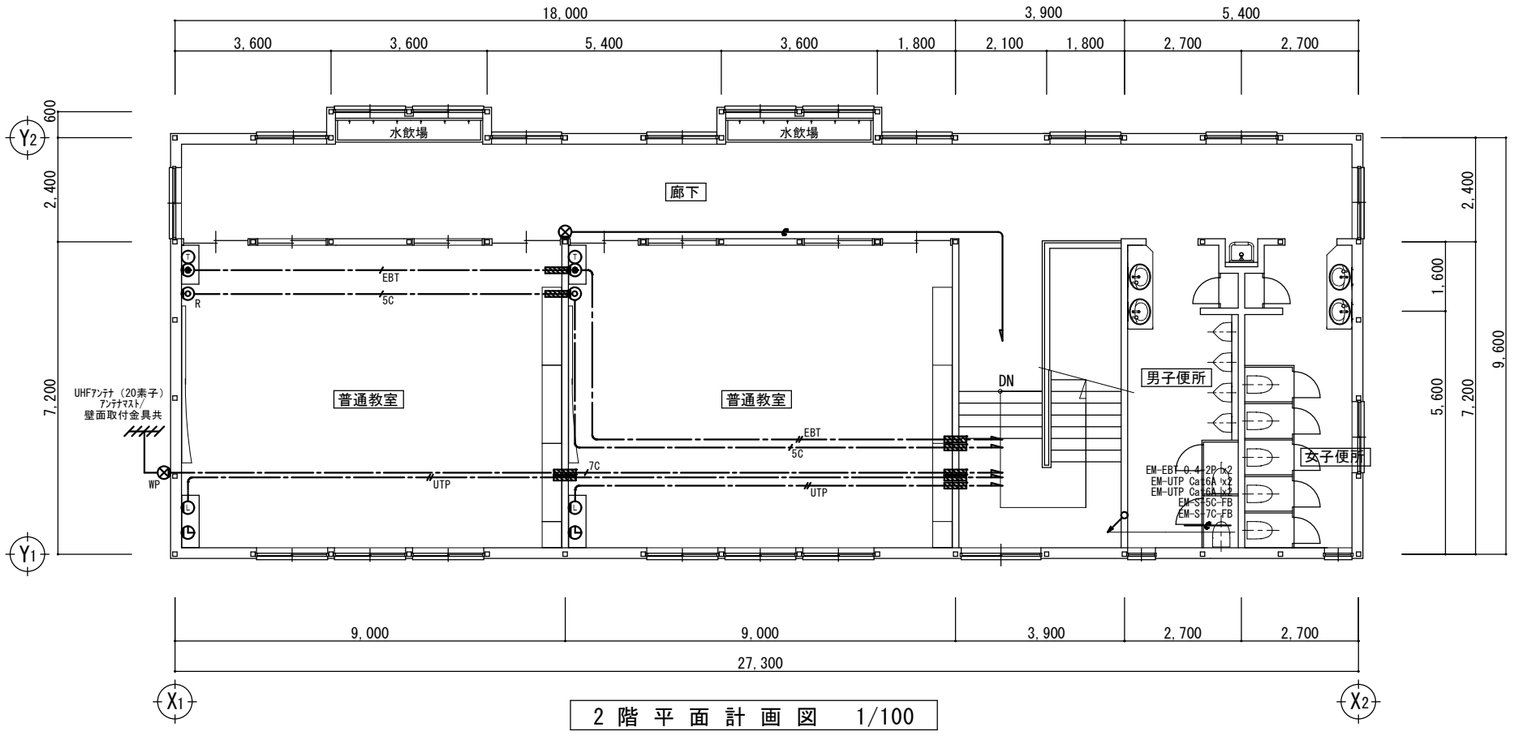
非常放送設備　系統図

※放送設備は事務室・放送室の双方からプレハブ校舎増築棟への放送が可能な様、
放送室 構内放送卓の試験調整も合わせて行うこと。

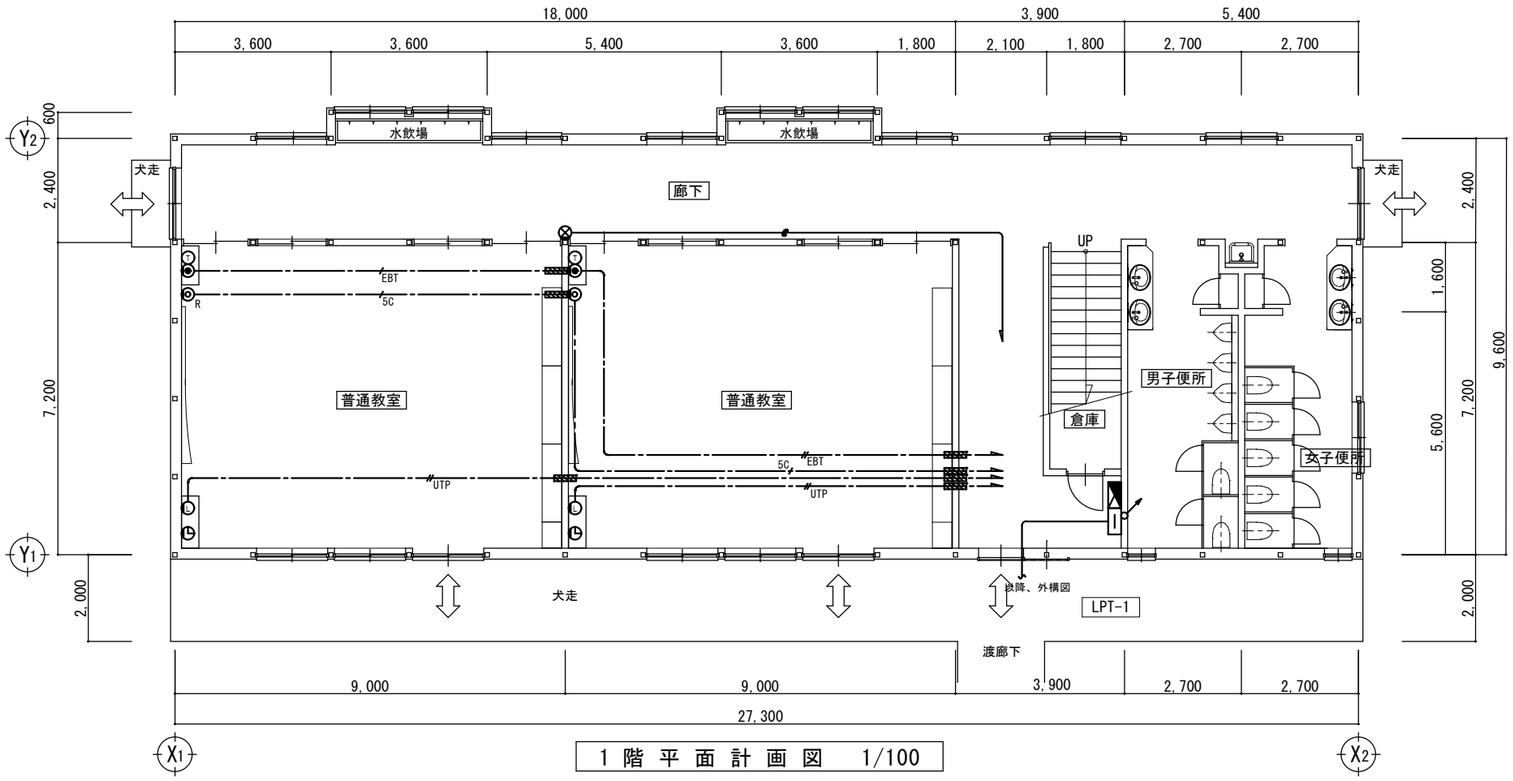
訂正			課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
(有)石川設計監理
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-08
	製図	図面名称 電話・情報・テレビ共聴・非常放送設備　系統図	縮尺 N.S



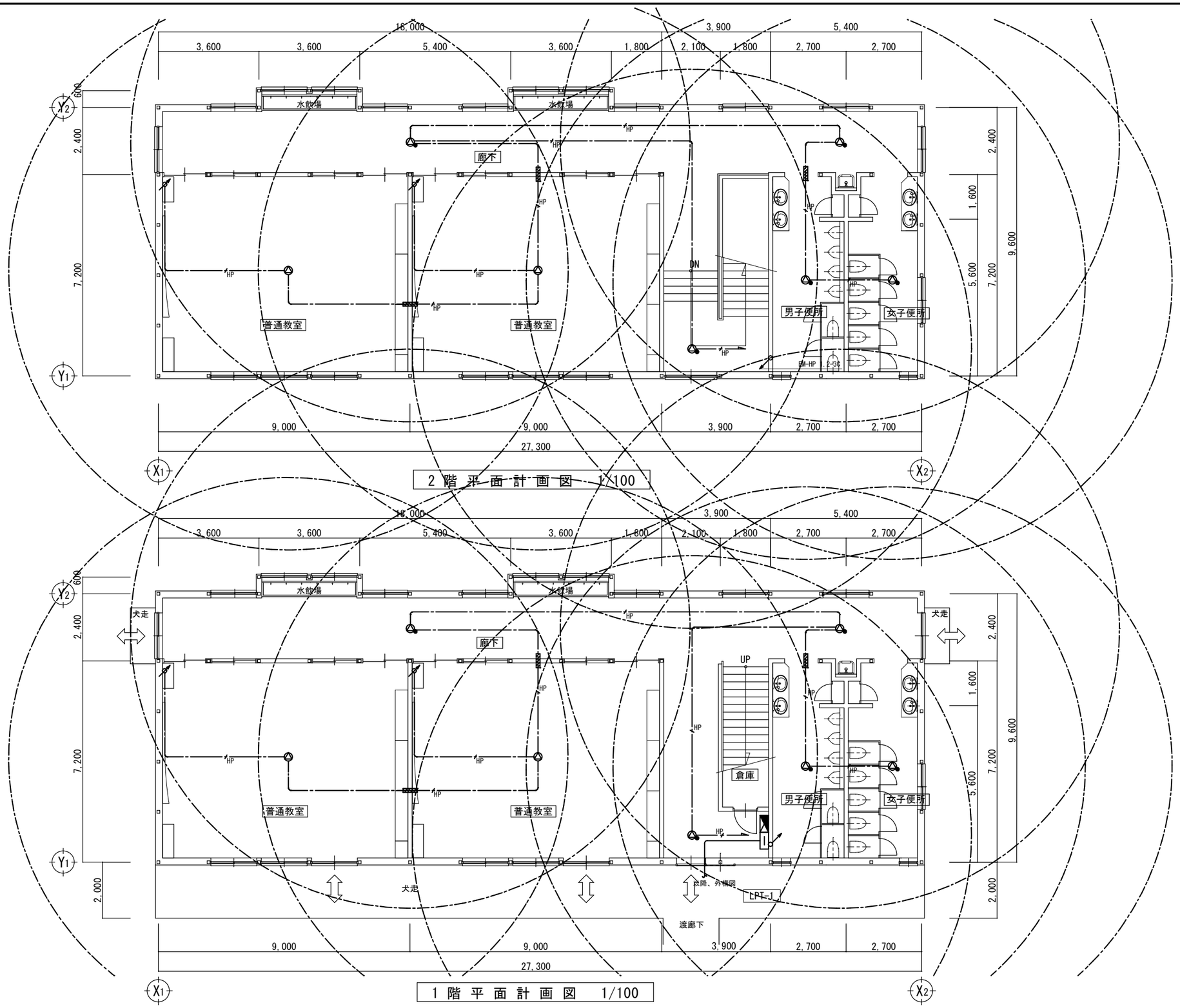
2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

凡例
電灯動力端子盤
電話用ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ　6極4芯
一般電話機（参考型番：ﾊﾟﾛﾙCX-3）
情報用ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ　Cat6A x2
ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ（ｷﾞｶﾞｽｸｰﾙ　将来対応）
直列ﾕﾆｯﾄ（中間）
直列ﾕﾆｯﾄ（端末）
電波時計　（参考型番：KX236X）
防火区画貫通処理
注記
(1)特記なき配管配線は下記による。
EBT　EM-EBT 0.4-2P
EBT　EM-EBT 0.4-2P x2
空配管（PF16）
UTP　EM-UTP Cat6A x2
5C　EM-S-5C-FB
7C　EM-S-7C-FB
天井ころがし配線
(2)二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ立下げ部分は
適合する電線管(PF)にて保護のこと。
(3)防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を
施すこと。

記事	課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1　TEL 0985 - 32 - 7561 (有)石川設計監理　一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 / 製図	工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号 E-09
								図面名称 電話・情報・テレビ共聴・電波時計設備　平面図	縮尺 1/100



凡例

	電灯動力端子盤
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶ 1W （参考型番：WS-TN830）
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶ 1W ATT付 （参考型番：WS-TN835）
	ｱｯﾃﾈｰﾀ
	防火区画貫通処理

注記

(1)特記なき配管配線は下記による。

HP EM-HP 1.2-3C

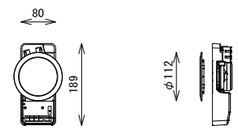
天井ころがし配線

(2)二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ立下げ部分は適合する電線管(PF)にて保護のこと。

(3)防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を施すこと。

図中 ◯ は非常放送有効範囲（水平距離10m）を示す。

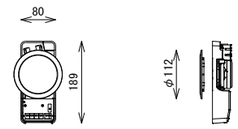
天井埋込ｽﾋﾟｰｶ



L級

定格入力	3W（3．3kΩ）、1W（10kΩ）
出力音圧レベル	92dB（1W／1m）
周波数特性	150Hz～20kHz（－20dB））
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー
仕上げ	本体：ABS樹脂　枠：ABS樹脂　黒色
	ネット：アルミパンチング　黒色

天井埋込ｽﾋﾟｰｶ ATT付



L級

定格入力	3W（3．3kΩ）、1W（10kΩ）
出力音圧レベル	92dB（1W／1m）
周波数特性	150Hz～20kHz（－20dB））
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー
仕上げ	本体：ABS樹脂　枠：ABS樹脂　黒色
	ネット：アルミパンチング　黒色
その他	音量調節4段切換

訂正	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
(有)石川設計監理
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

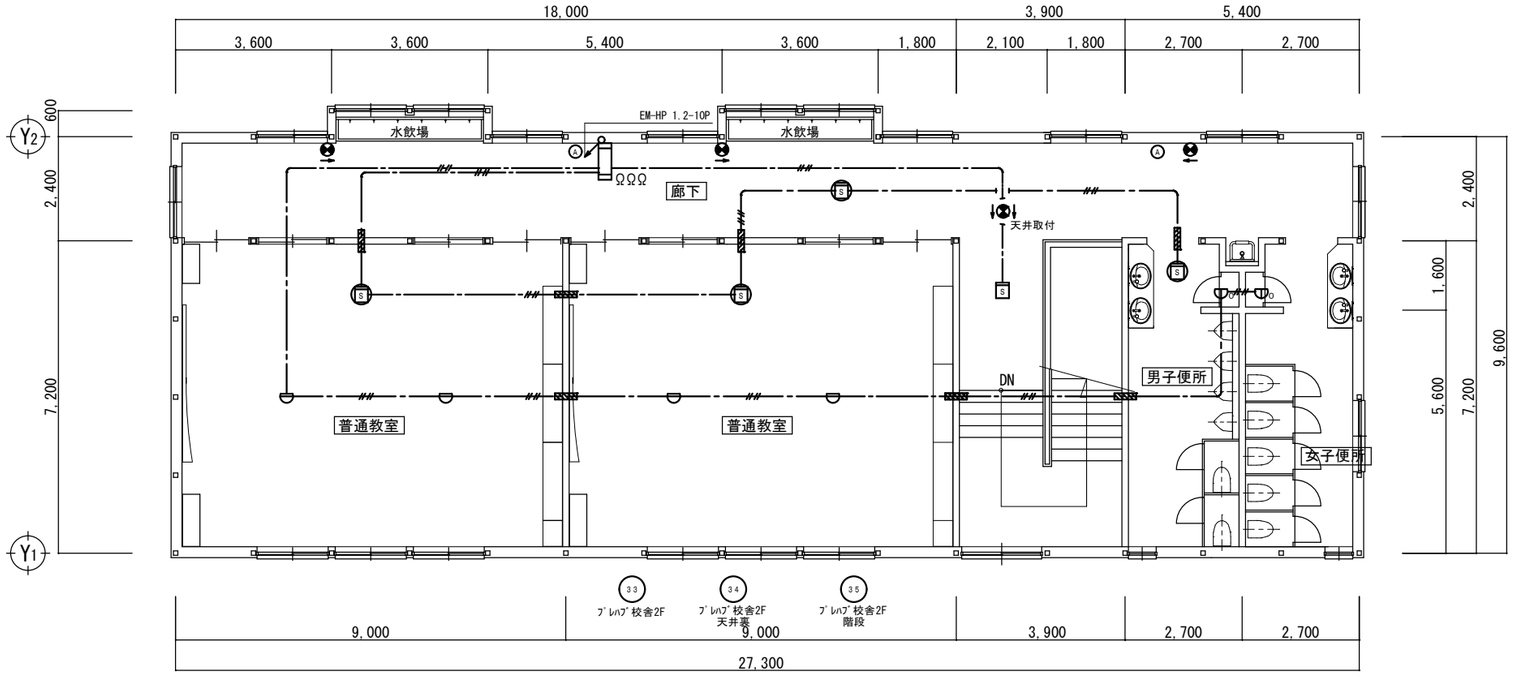
設計 年月日	設計	製図
2023・04		

工事名称：宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ

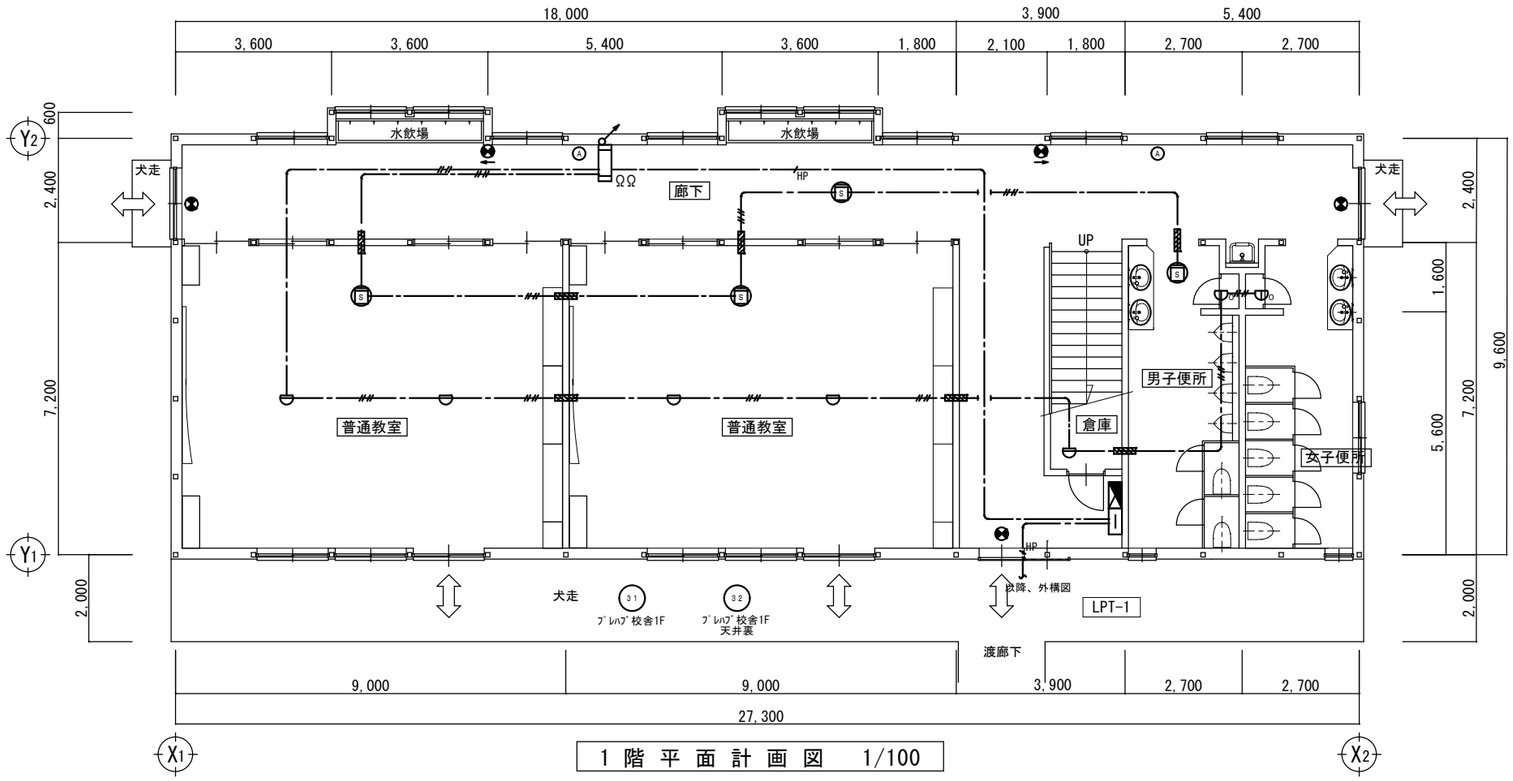
図面名称：非常放送設備　平面図

縮尺：1/100

図面番号：E-10



2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

凡例

	誘導標識　高輝度蓄光式
	機器収容箱　埋込型　発信機・表示灯・地区ベル内蔵
	光電式スポット型感知器　２種　露出型
	光電式スポット型感知器　２種　露出型　天井裏
	差動式スポット型感知器　２種　露出型
	定温式スポット型感知器　特種　露出型　防水型
	警戒区域番号
Ω	終端抵抗　CRE
	粉末ＡＢＣ消火器　１０型　設置台付

注記

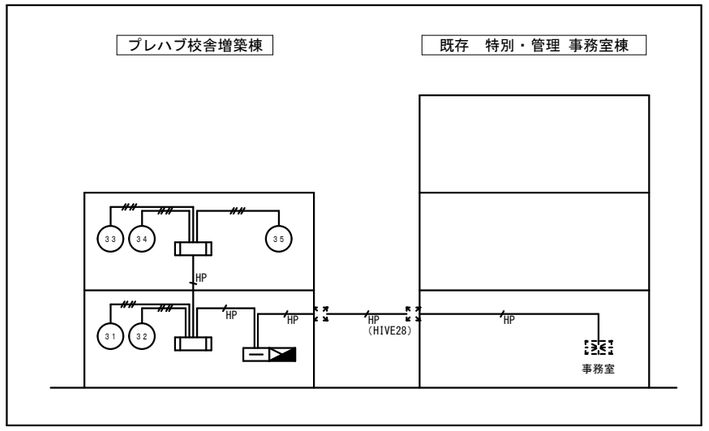
(1)特記なき配管配線は下記による。

- EM-AE 1.2-4C
- EM-HP 1.2-10P
- 天井ころがし配線

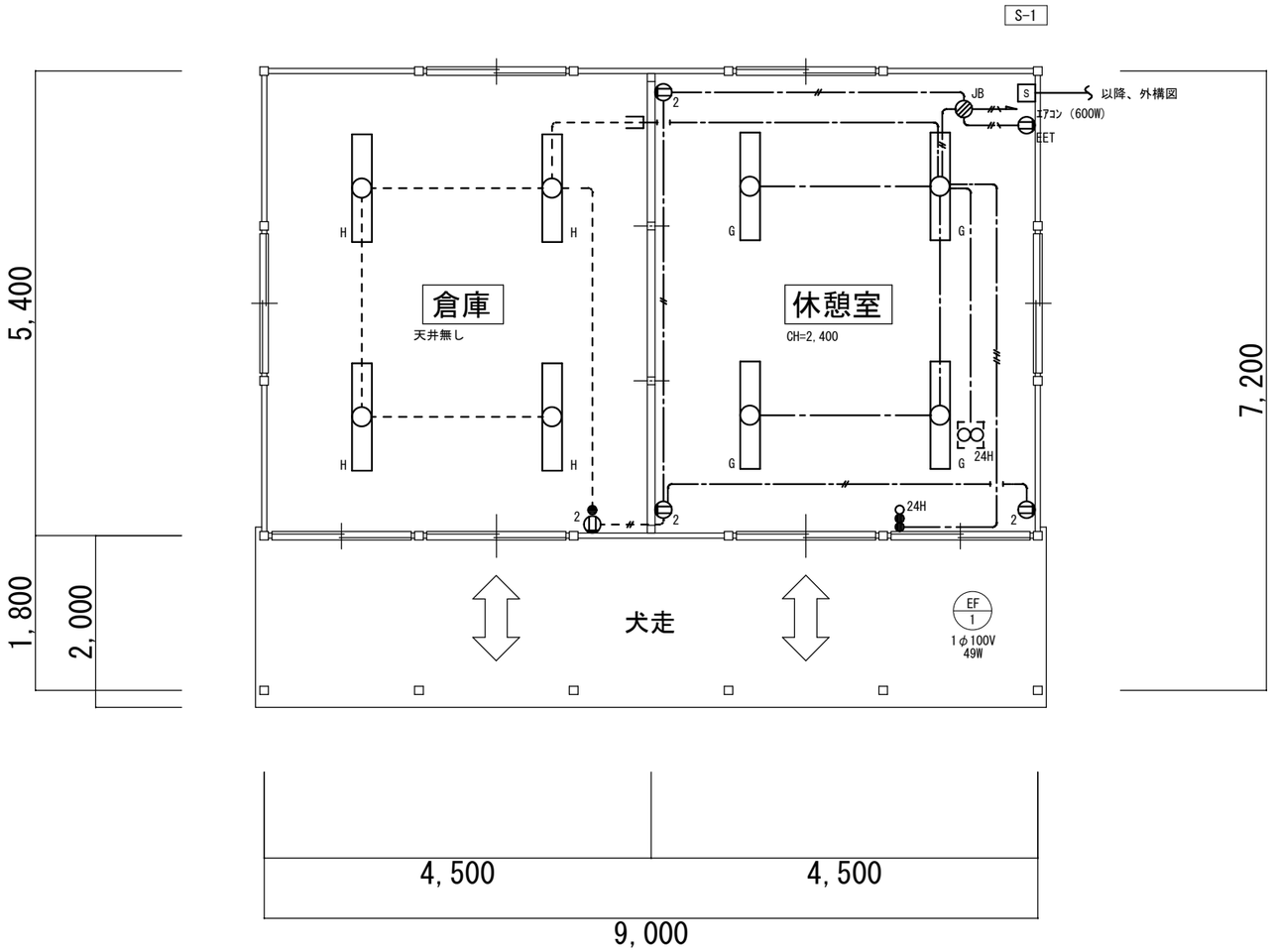
(2)二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ立下げ部分は適合する電線管(PF)にて保護のこと。

(3)防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を施すこと。

系 統 図



訂正		課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計		工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	図面番号 E-11
								製図		図面名称 自動火災報知・誘導標識設備　平面図	縮尺 1/100



休憩室	
G	4

倉庫	
H	4

凡例

- S 手元開閉器盤　屋内壁掛型鋼板製
- JB ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ

注記

(1)特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF 1.6-2C 又は EM-IE 1.6×2
- EM-EEF 2.0-2C 又は EM-IE 2.0×2
- EM-EEF 1.6-2C+2C 又は EM-IE 1.6×4
- EM-EEF 2.0-3C(1C:E) 又は EM-IE 2.0×3
- 天井ころがし配線
- 露出配管配線（第1種金属線ぴ）

(2)配線器具（ｽｲｯﾁ/ｺﾝｾﾝﾄ）は全て露出型とし、壁面立上げ及び倉庫室天井部分は適合する第1種金属線ぴ（ﾒﾀﾙﾓｰﾙ）にて保護すること。

平面計画図　1/50

訂正	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
TEL 0985 - 32 - 7561
(有)石川設計室
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	E-12
	製図	図面名称 用務員室棟　電灯コンセント設備　平面図	縮尺 1/50

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 名 称　宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ
2 工 事 場 所　宮崎市源藤町池ノ内702番地
3 建 物 概 要

	建物名称	構造	階数	延床面積（㎡）	消防法所令別表第1区分	備考
1	宮崎南小学校　プレハブ校舎	S造	地上2階			
2	宮崎南小学校　倉庫棟	S造	地上1階			
3						
4						

4 工 事 項 目

工事項目 ＼ 建物種別及び部位	工事種別						屋外
	屋内						
① 空気調和設備	○						○
2 衛生設備	○						
3 排煙設備							
4 自動制御設備							
5 電気設備							
⑥ 給水設備	○						○
⑦ 排水設備	○						○
8 給湯設備							
9 消火設備							
10 ガス設備							
11 厨房設備							
12 浄化槽設備							
13 撤去工事							

5 設 備 概 要
（本工事における工事種目ごとの概要を示すものであり仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

空気調和方式	ダクト方式（　中央　　各階ユニット） ＦＣＵ方式　　ＦＣＵ＋ダクト併用方式 ヒートポンプ方式　　ヒートポンプ方式＋全熱交換換気扇
主要熱源機器	吸収冷温水機　　○パッケージ 空気熱源ヒートポンプユニット
換気設備	機械換気（第○種）　　全熱交換換気扇
排煙設備	機械排煙（有　無）　　法規（建築基準法　消防法）
自動制御設備	電気式　電子式　デジタル式
給水設備	水道直結方式　高置タンク方式（上水　井水　中水） ポンプ直送方式（上水　井水　中水）　直結増圧方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水（分流　合流） ポンプ排水（有（　汚水　雨水　雑排水　汚水）　無） 汚水放流先　（公共下水道　し尿浄化槽） 雑排水放流先　（公共下水道　し尿浄化槽）
消火設備	屋内消火栓　屋外消火栓　スプリンクラー 連結送水　連結散水　泡消火 不活性ガス消火（　　）　フード等局所設備自動消火
ガス設備	都市ガス 液化石油ガス（簡易ガス事業　）

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共通仕様
（1）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」及びに国土交通省大臣官房官庁営繕部設備調査室の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」による。
（2）　電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（ ／ ）図、建築工事の工事特記仕様書は（ ／ ）図による。
2 特記仕様
（1）　表は、●印の付いたもの、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）　特記事項は、「△に○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）　数値寸法の単位は、特記した場合を除きミリメートルとする

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 工事実績情報の登録（工事カルテ）	※ 要　（提出先：（一財）日本建設情報総合センター）
	② 機材等	設備機材等は、設計図書に指定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない機材及びその製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質性能に関する試験データが整備されていること。 （2）生産設備及び品質の管理が適切に行われていること。 （3）安定的な供給が可能であること。 （4）法令等で定める許可、認可、認定、免許又は これらに準じるものを所得していること。 （5）製造又は加工の実績があり、その信頼性があること。 （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（一社）公共建築協会等）が発行する資料等の写しを監理職員に提出して承諾を受けるものとする。
	③ 施工中の安全確保及び環境保全	※ 「低騒音型建築設備設置機械の指定に関する規程」（国土交通省告示第４８７号）に基づき指定された建設機械を使用すること。 ※ 「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機械を使用すること。 （対象機種：バックホウ、ブルドーザー、トラクタショベル、発動発電機、油圧ユニット等） 但し、ディーゼルエンジン（エンジン出力7．5kW以上260kW以下）を搭載したものに限る。 電気保安技術者　液化石油ガス設備士　昇降機等検査員　消防設備士 本工事において、下記の○印は１級建築士、○印は１級建築士又は２級建築士を適用すること。
	4 技術者の適用	
	⑤ 技能士の適用	
	⑥ 型枠再利用	
	⑦ 型枠等への手続き	
	⑧ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用水、工事用電力（本工事分を含む）及び仮設等への諸手続、その他工事目的物引渡しまでに要する費用は、全て請負者の負担とする。
	9 仮囲い	設ける（高さ、材質、ゲート位置、延長等は図示）　設けない
	10 工事用仮設物	場所につくることが　できる　できない
	① 足場から根組	別別の仕様請負者が定者したものは、無償で使用できる。 本工事で設置とする。 改修工事標準仕様書第1編2．2．1による ほか下記による。
	12 残土処分	足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものと、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
	13 埋蔵し土埋土	構内指示の場所にたい積　　構外指示場所処理 構内指示の場所に敷き均し　　構外指示の場所に搬出 既切り土の中の良質土（管理図の保護材は　要　　不要 ） 山砂の類
	14 耐震措置	設備機器の固定等は、次に示す事項を満たす。すべて「建築設備耐震設計施工指針 2014年版 （ 独立行政法人 建築研究所 監修）」による。 ただし、設計用地震力（水平又は鉛直）は次の設計用水平震度又は設計用鉛直震度Kｈ（Kｖ）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設置場所	設置安全の分類							
	特定の設置				一般の設置			
	重要		一般		重要		一般	
	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽	機器	水槽
上層階、屋上及び塔屋	2．0 （2．0）	2．0	1．5 （2．0）		1．5 （2．0）	1．5	1．0 （1．5）	1．0
中間階	1．5 （1．5）	1．5	1．0 （1．5）	1．0	1．0 （1．5）	1．0	0．6 （1．0）	0．6
1階及び地下階	1．0 （1．0）	1．5	0．6 （1．0）	1．0	0．6 （1．0）	1．0	0．4 （0．6）	0．6

※ （ ）書きの数値は防振機器とする
※ 上層階の定義は次による

建物階数	上層階	建物階数	上層階
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階
7～9階建	上層2階	13階建以上	上層4階

※ 重要機器は次のものを指す。
給水設置　　排水設置　　換気機器　　空調機器　　熱源機器
防災設備　　監視制御設備　　危険物貯蔵設置
火を使用する設備　　非難経路と同置する設備

章	項目	特記事項
一般共通事項	15 案内板	機器の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 案内板の大きさは、約　　㎜とする。 下記の項目の測定表を提示する。 ○各種温度計　　水温度計　　○各種　　温度 室内気流　　じんあい　　騒音　　水質
	⑯ 総合調整	
	⑰ 容器等の表示	（1）　機器類の動力、容量等は、原則として表示された数値以上とする。 （2）　消費電力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	18 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
	19 配管	溶接部の非破壊検査　　要　　不要
	20 地中埋設標等	地中埋設標及び埋設表示テープは、下記による。 イ）給水管　地中埋設標（　要　　不要 ）　埋設表示テープ（　要　　不要 ） ロ）ガス管　地中埋設標（　要　　不要 ）　埋設表示テープ（　要　　不要 ） ハ）油　管　地中埋設標（　要　　不要 ）　埋設表示テープ（　要　　不要 ） 地中埋設標が要の場合、その範囲は図示による。 ニ）地中埋設標の鋼製部分は（　コンクリート基　　鋲製 ）とする。
	21 塗装工事	（1）　下記範囲内の躯体素配管、配管（亜鉛メッキされたもの）、吊りボルト（亜鉛メッキされたもの）は塗装なしとする。 機械室　　電気室 （2）　露出電線管の塗装は塗色イメイントと同塗りとする。 標準仕様書第2編3．2．1．4による ほか、下記による。
	㉒ 防食工事	標準仕様書第2編2．7．3による ほか、下記による。
	㉓ はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則として（ｱﾙﾐﾊﾞﾙﾎﾞｯｸｽ）による。
	㉔ 電線類	電線及びケーブルの規格は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成２８年版）による。
	㉕ 施工図等の事作書に係わる指図書	施工図等の事作書に係わる指図書に関る使用者は、発注者に時期するものとする。
	㉖ 吊り及び支持金物	（　埋内 ○屋外 ）の吊り金物支持金物はステンレス製鋼（SUS304）とする。
	㉗ 他工事との取合い	配管類は管高さ2段以上ダクトの天端部に設れ上の支持を行う。 施工範囲　別表一1による。 施工図　他工事との取合いなどが発計できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。
	28 実施工程表	機械工期　（令和　年　月　日）
	㉙ 試験	（1）　各種配管の試験は、新設配管にのみ適用する。 （2）　新設配管は、既設配管との接続部に試験を行う。 （3）　改修工事における給水給湯等の新料用配管は水質検査を行い、検査結果を監督員に提出する。 （4）　その他、各機材の試験については標準仕様書第1編1．4による。
	㉚ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成25年版）同解説」工事写真の撮り方（建築設備編）及び「監督員の指示による のこと。下記のとおり提出する。

区分	分類規格	枚数	備考
着工前	カラー　サービスサイズ	1部	
工事中	カラー　サービスサイズ	1部	
完成時	カラー　サービスサイズ	1部	全景は、原則として竣工工事完了後とする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉛ 完成図書	完成図 2つ折製本　　※1部　（　部） 修正CADデータ　※1部　（　部） 保全に関する資料 標準仕様書第1編1．7．3の資料を提出する。 建設副産物実態調査について　　組織により、監督員に提出する。 ※ 電子データにより、監督員に提出する。　　組織により、監督員に提出する。 廃棄建物廃棄物情報システムデータシートについて　　組織により、監督員に提出する。 ※ 電子データにより、監督員に提出する（廃棄建物廃棄の写真を。）。
	㉜ ステンレス鋼管施工上の注意	（1）　コンクリート壁面への埋め込み、スリーブ貫通部及びその他開口の結構部には、プラスチックテープを 1／2重ね1回巻きを施す。 （2）　保温のアルミ、ネット、巻き線、鋲等が直接接触しないように施工する。 （3）　地中埋設部は、標準仕様書第2編2．7．3による。 （4）　地中埋設から地上部分はユニット毎に差を設ける。
	㉝ コンクリート工事	（1）　レディーミクストコンクリート普通コンの適定 ※ JISマーク表示認証工場で、宮崎県生コンクリート品質管理協同組合の監査に合格した工場 上記工場で製造されたレディーミクストコンクリートを使用する場合には、「「品質管理監査合格証」の写しおよび「配合報告書」のみの提出とし、セメント、骨材、練り混ぜ水、混和剤の試験成績表及び配合計算書の提出を省略することができる。 上記以外の工事 （2）　粗見なコンクリート工事の試験 コンクリートの荷造が特に重要でない場合又は小規模工事（1工種の総使用量が５０ｍ3未満かつ１日の打設量が１０ｍ3未満の場合）で、監督員の承諾を受けた場合は、ＪＩＳマーク表示認証工場の品質証明書（監督員が指示するもの）の提出により、スランプ、空気量、単位容積質量、温度、塩化物量の試験及びコンクリート強度試験を省略することができる。

章	項目	特記事項
空気調和設備	① 温湿度調整目標	外気条件 室内（調整目標値） 一般系統 冬期　夏期 温度（DB）　湿度（RH）　温度（DB）　湿度（RH） 室　事　34．3 ℃　59．2 %　28 ℃　50 % 事　務　9．3 ℃　60．3%　19 ℃　40 % 温度、湿度等の試験数値は管理点の数値による。
	2 煙道	排気筒　　ステンレス鋼板製（SUS　　）　厚さ（4．5）m 伸縮継手、排圧口、ばいじん量測定口及びばい煙濃度測定取付部の位置は図示による。
	3 ダクト工法	低圧ダクト　　コーナーボルト工法（長辺の長さが1，500mm以下の部分） アングルフランジ工法 高圧１次は高圧２ダクト（適用範囲は図示による。）
	4 ダクトの分岐方法	給気用ダクト　　原則として割り込み分岐とする　　直付け方式とする 換気用ダクト　　原則として割り込み分岐とする　　直付け方式とする 取付部所は図示による。
	5 風量測定口	（1）　内貼りをすくチャンバーの表示寸法は外寸とする。
	6 チャンバー	（2）　空気調和機、温風暖房機に取付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口及び温度計取付座を設け、位置、大きさは図示による。 （3）　外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー類は、雨水の浸入、凍害等の無いように加工すること。 （1）防煙ダンパー　　復帰方式（※ 温風暖房式　　） （2）ピストンダンパー　　復帰方式（※ 温風暖房式　　）
	7 ダンパー	※ ダンパーが隠ぺい部分に設置される場合は、直近の点検口にダンパーの種類、数量等を表記すること。
	⑧ 配管材料	（1）　冷温水管 （2）　冷却水管 （3）　蒸気管　　（給気　　還気　　） （4）　高温水管 （5）　油管 （6）　ブライン管 （7）　膨張管、空気抜管、膨張タンクとリボイラーへの給水管 （8）　空調用排水還気管 ○（9）　冷媒管　冷媒用銅管管（国土交通省仕様） ○（10）ドレン管　硬質塩化ビ3管(VP) ＪＩＳの呼び圧力５Ｋとする。ただし、特記部分はＪＩＳの呼び圧力１０Ｋとする。 標準仕様書第2編3．3．1による。　なお、取付部は図示及び下記による。 熱源機器の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ボイラーの温水管（還り） 空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置の冷温水管（送り、還り） 熱交換器の温水管（送り、還り） 冷温水ヘッダー（往き）及び冷温水ヘッダーの各還り管 空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取入ダクト、レタンチャンバー
	9 弁類	
	10 温度計	標準仕様書第2編3．3．1による。　また、コックけきとする。　なお、取付部は図示による。 標準仕様書第2編3．3．1による。　また、制御盤には下記の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ弁と制御盤間の配管配線は装置者の標準仕様とする。 給油ポンプ制御　　温度警報　　温度警報　　電磁弁制御　　ポンプ緊急停止 温度ポンプ制御　　温度警報 配管トラップ　　ドラムトラップ　　メカニカルボトラップ　　弁トラップ
	11 圧力計	（1）　配管の保温材 （2）　ダクトの保温材 （3）　空調用排水管の保温材　　天井ロ（ｶ）項　　屋内露出ｓ1-（ｶ）項 （4）　冷媒管の保温材装　　屋内露出　カラー鋼板 ○ 屋外露出SUS鋼板 （5）　保温の保温 ファンコイルユニット用フィルター　各形番台数の1/2以上 自動散除去エアフィルター用フィルター各１枚 折込形エアフィルター、プレフィルター（アルミ枠付）各1/2
	12 瞬間流量計	
	13 油面制御装置	
	14 空調用排水トラップ	
	⑮ 保温	
	16 予備品	

章	項目	特記事項
換気設備	① ダクト工法	○低圧ダクト　　コーナーボルト工法（長辺の長さが1，500mm以下の部分） アングルフランジ工法 高圧１次は高圧２ダクト（適用範囲は図示による。）とする。　厨房用排気ダクト（板厚等は図示による。）
	2 ダクトの分岐方法	厨房用排気の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚い物を使用する 給気用ダクト　　原則として割り込み分岐とする　　直付け方式とする 換気用ダクト　　原則として割り込み分岐とする　　直付け方式とする 厨房用排気の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚い物を使用する 取付部所は図示による。
	3 風量測定口	厨房、浴室等（シャワー室、脱衣室を含む）系統の排気ダクトは標準図(施工45)のN-4+N3-4+S3-4とする。
	4 ダクトのシール	水密型
	5 チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
	6 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	7 排気フード	排気フードの材質、天井色等、組合材等は、標準仕様書第3編2．2．7．2によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板（研磨済） フード開口は、上記フードと同材質とする フードの内部周囲のとっては、美観型コック、フラグズはステンレス製コックを取り付ける
	8 ダクトの保温	有（　　）○一般
	⑨ その他	24時間換気（　　）
排煙設備	1 ダクト	亜鉛鋼板　　鋼板（板厚1．5㎜以上）
	2 排煙口の形式	天井取付　（　スリットフェース形　パネル式 ） 壁取付　（　スリットフェース形　パネル式 ） ダクト取付　（　ダンパー付 ）
	3 排煙口開放装置	※ 手動開放装置　自動開放装置　遠隔操作開放装置（　電気式 ）
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
自動制御設備	1 中央監視制御	有（　本工事　　）　　無
	2 電線管	E管
	3 構成	図示による
衛生器具設備	1 和風大便器取付大カバー	設ける（ビット内は除く）　　設けない
	② 洗面器	洗面器、手洗い器は之水栓付とする。
	③ 自動水栓	電源遮断（ ~~ＡＣ100Ｖ　　乾電池~~ ）　自己発電　）　手動スイッチ（　図示による　）　無 ）
	4 食器洗	取付型式　（　大便器　　小便器 ）　材質（　　）
	⑤ 小便器自動洗浄装置	小便器一体型　　~~小便器分離型~~
	6 温水洗浄便座	（1）　加熱方式　（　貯湯方式　　瞬間方式 ）
	7 多機能便所用便器	洗浄弁（　タッチスイッチ　　センサー式 ）
	8 その他	図示による
給水設備	① 配管材料	（1）　給水引込管（敷地部分） （2）　一般配管　　一般配管用ステンレス鋼管（SSS） （3）　屋内地中配管 （4）　屋外地中配管　　新衛管性塩化ビニル管（HI） （5）　厨房、浴室等のシンダー内配管 （6）　継手　（管材がステンレス鋼管の場合）
	2 水栓	台所流し用の水栓は洗浄式とする。 水栓柱を使用する場合、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし、屋内は固定コマ式とする。
	3 量水器	親メーター　（　宮与品　　貸取り ）　子メーター（　宮与品　　貸取り ）
	④ 弁類	JISまたはＪＶ　水道直結部分（　10Ｋ　　）　その他の部分（　5Ｋ　　）
	⑤ 量水器桝、弁桝	ステンレス鋼管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 量水器桝　水道事業者指定品　　標準図 ） 弁桝　（　水道事業者指定品　　標準図 ）
	6 水栓柱	本体　（ 合成樹脂製　　人造石研磨仕上げ　　アルミニウム合金製　　ステンレス製 ）
	⑦ 管の埋設深さ	管の上端より到達として、一般敷地は　（　30cm　　cm ） 構内道路は　（　60cm　　cm ）　以上とする。
	8 建物導入部配管	標準図（施工45-0）　による　　埋設フレキ
	⑨ 引込桝付金等	要　（　本工事　　別途工事 ）　不要
	⑩ 保温	配管の保温材　　屋内隠蔽 ｅ-（ﾛ）項 屋外露出 ｅ1-（ﾛ）項
給湯設備	1 配管材料	一般配管用ステンレス鋼管（SU） 継手　（管材がステンレス鋼管の場合）
	2 弁類	JISまたはＪＶ　（　5Ｋ　　10Ｋ（図示部分））
	3 温湯器の排水	排温水排水管ドーバーフローは、ステンレス鋼管にて直等の流しに関係排水する。
	4 保温	配管の保温材　　屋内露出 ｅ1-（ﾛ）項
消火設備	1 配管材料	（1）　屋内消火栓　一般　　地中 （2）　連結送水管　一般　　地中 （3）
	2 建物導入部配管	標準図（施工45）の　　による　　埋設フレキ
排煙機械設備	1 機器の寸法	参考寸法とする。
	2 機器の固定	機器の固定については、標準仕様書第5編1．6．1(b)、2．2．6による。
	3 その他	※ 市電器は標準仕様書第5編1．6．1(l)の安全装置を備えること。
ガス設備	1 ガス	都市ガス　（　13Ａ　　）
	2 配管材料	液化石油ガス （1）　屋内　一般　　ＳＧＰ（Ｂ）　　屋内地中 （2）　屋外　屋外地中　　屋外露出　ＳＧＰ（Ｂ）
	3 充填容器	別途工事（　50kg　　kg ）ｘ　　本　　別途工事（　バルク貯槽　　kg）
	4 集合装置	標準図（施工72）による。　本組　　被災区域
	5 配管図之等	標準図（施工73）による。　（ｲ）　（ﾛ）　（ﾊ ）による
	6 メーター	ガスメーター　　宮与品　　貸取り ）
	7 遮断装置	要　（　本工事　　別途工事 ）　不要
	8 絶縁継手	建物導入部　地中埋設管からの立上がり部　図示による
	9 建物導入部配管	標準図（施工45）の　　による　　埋設フレキ　　ポリエチレン管
浄化槽設備	1 形式	現場施工型　　ユニット型
	2 処理能力	処理対象人員　人　　処理水量　　m3/日　　流入ＢＯＤ　　mg/L
	3 処理方法	小規模合併処理（　　方式） 合併処理　（　　方式）
	4 処理性能	放流ＢＯＤ　　mg/L以下、除去率　　％以上
	5 消毒剤	1ヶ月相当分を納入する。
	6 主要構造物	コンクリート製　　ガラス繊維強化プラスチック製　　ジンクロペンタジエン樹脂製
	7 流入管底	設計ＧＬ－約　　m
	8 流出方式	自然流下（設計ＧＬ－約　　m）　　ポンプアップ方式
	9 マンホール面	国土交通省型　　メーカー標準品
	10 排気管及び排気かさ	蓋の強度は、安全荷重　（　　）ｋＮとする。 蓋は（　ボルトロック式　　鍵　　回転ロック式）とする。 笠（　メーカー標準品　　図示による ）　　ＳＵＳ
	11 フローシート	金属製パネル　（厚さ4㎜以上、文字は笠り込み）　を浄化槽付近に付ける。
	12 荷重強度	L浄化槽設置の荷重強度は、下記の条件を満足するものとする。 積載荷重　（　　）kN
	13 放流水質確認	※ 浄化槽法第7条に基づく使用開始から月後の放流水質検査は指定管理者の責務において実施するとし、引き渡し時に説明を行う。
	14 騒音値	45dB（プロワー類）
	15 地下水位	GL－約　　m、浮上防止（　要　　不要）

章	項目	特記事項
撤去工事	1 撤去内容	保温材は、ダクト類、配管類から分離する。なお支持金物、吊り金物は本工事にて撤去する。 冷媒は、回収後の無害化処理までを本工事とする。 その他の撤去内容は、図示による。 引き渡しを受けるもの（　　） 引き渡し を受けるものは外は、構外搬出適切処理とする。 再資源化を図るもの　（ コンクリート　　アスファルト　　） （　　） 特別管理産業廃棄物　（　　） ※ 資源の有効な利用促進に関する法律（建設リサイクル法） 対象建設工事　　対象建設工事の種類
	2 発生材の処分方法	
	3 アスベスト含有保温材等の除去工事	本工事により発生する建設廃棄物のうち、宮崎市内の焼却設及び最終処分場に搬入する建設廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る処分業務とされて適正に処理すること。 ※ 公共建築設備工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版　(9.1.1)（9.1.2）（9.1.4）による。 アスベスト含有分析 行う（下記による）　　行わない

対象建設工事	対象建設工事の種類	規模の基準
	建築物の解体	床面積の合計　80㎡ 以上
	建築物の新築増築	床面積の合計　500㎡ 以上
	建築物の修繕模様替（リフォーム等）	請負代金の額　1億円 以上
	建築物以外のものの解体新築等（土木工事等）	請負代金の額　500万円 以上

材料名	試験方法	1材料当たりの試料数
〃	ＪＩＳ A1481	※ 3
〃	※ 1細面分析	（　　）
（　　）		

別表一1　施工者と工事区分表　　●印は工事範囲とする。

工事内容			本工事	他工事	
			機械設備工事	電気設備工事	建築工事
機器の基礎	電気関係	配電盤制御盤の基礎	屋内	●	
			屋外	●	
			屋上		
		自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）			
		テレビアンテナ基礎（　〃　）			
		避雷針の基礎（　〃　）			
	機械関係	屋内設備　（要台、アンカーボルトを除く）	●		
		屋上設備（　〃　）			
		屋外設備（　〃　）			
	要台、アンカーボルト		●		
	特記した基礎（機械関係及び電気関係以外）				
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通スリーブ	補強を要しないもの	●	●	
	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通部防水	補強を要しないもの			
	根雪荷不地、壁	補強を要するもの			
	天井ボード部の切込	補強を要しないもの（アルバボードは除く）			
	吸込口や電気、	補強を要するもの			
	端子盤等の配管	補強を要しないもの			
	新規材貫通型枠の切込				
	上記開口部の補強				
	上記開口部の養生し		●	●	
	スリーブの位置の　（配管の穴埋を含む）		●	●	
	ＯＡフロア用配線器具				
各種口	梁、壁、天井				●
外部配管の立ち引	ダクト、チャンバーの機結用フランジを含む				
貫通型のワード					
梯気窓の取付枠			●		
流し台	排水トラップ共		●		
防油提	オイルサービスタンクの防油堤	自家発用			
	タンク基礎	空調用			
床下のマンホール蓋					
屋外排水管	雨水		●		
	汚水、雑排水		●		
雨水立管（たてどい）					●
手すり	多機能使用手すり				
	上記以外の手すり				
化粧鏡			●		
はめ込み支面器用カウンター（前板有）			●		
ガスボンベ転倒防止用の鎖					
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御盤と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ				
	防火扉シリーズ				
	電解槽				
	長寿命化硬質（パネルエ法）の配管及び埋込ボックス				
	配管だけを施工した				
	機器などへの接続　（1次側）				
	機器付属の制御盤以降の之次側の配線配管　（接地系）				
	機器付属の制御盤への電源供給の之1配管配線				
	自動制御盤と動力盤との電源供給の之1配管配線				
	自動制御盤と動力盤との操作回路の之1配管配線				
	天井吊り形ＦＣＵ、　個別パッケージ、　全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの之1配管　（接地系）				
	天井吊り形ＦＣＵ、　個別パッケージ、　全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチとの之1配線				
	天井吊り形ＦＣＵ、　個別パッケージ、　全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチ				
	天井吊り形ＦＣＵ、　個別パッケージ、　全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチのボックス				
	個別パッケージの室内機、　室外機の之1配線　（接地系）				
	埋設配管から盗難制御盤を経て防犯ダンパに至る配管配線				
	小便器用意水盗置の制御盤以降の２次側の配管配線				
ガス漏れ検知器					
電気錠	電気錠及び運動金具				
	ＴＥＮＫＩ－及び制御盤				
ユニットバス、ユニットバス内洗面、					
ユニットバスの換気扇					
ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続					
洗濯機パン					
システム天井	ボード　下バー				
	照明ライン設備プレート				
	空調ライン設備プレート				

区分	施工箇所	保温の種別	備考
冷媒管	屋内（天井内）	断熱材被覆銅管	
	屋内（露出）	断熱材被覆銅管	
	屋外	断熱材被覆銅管	外装材：樹脂製保護化粧テープ
断熱材被覆銅管の断熱厚さは次管10㎜以上、ガス管20㎜以上とする。			
ドレン配管	屋内（天井内）	e-（ﾛ）項	
	屋内（露出）	s1-（ﾛ）項	

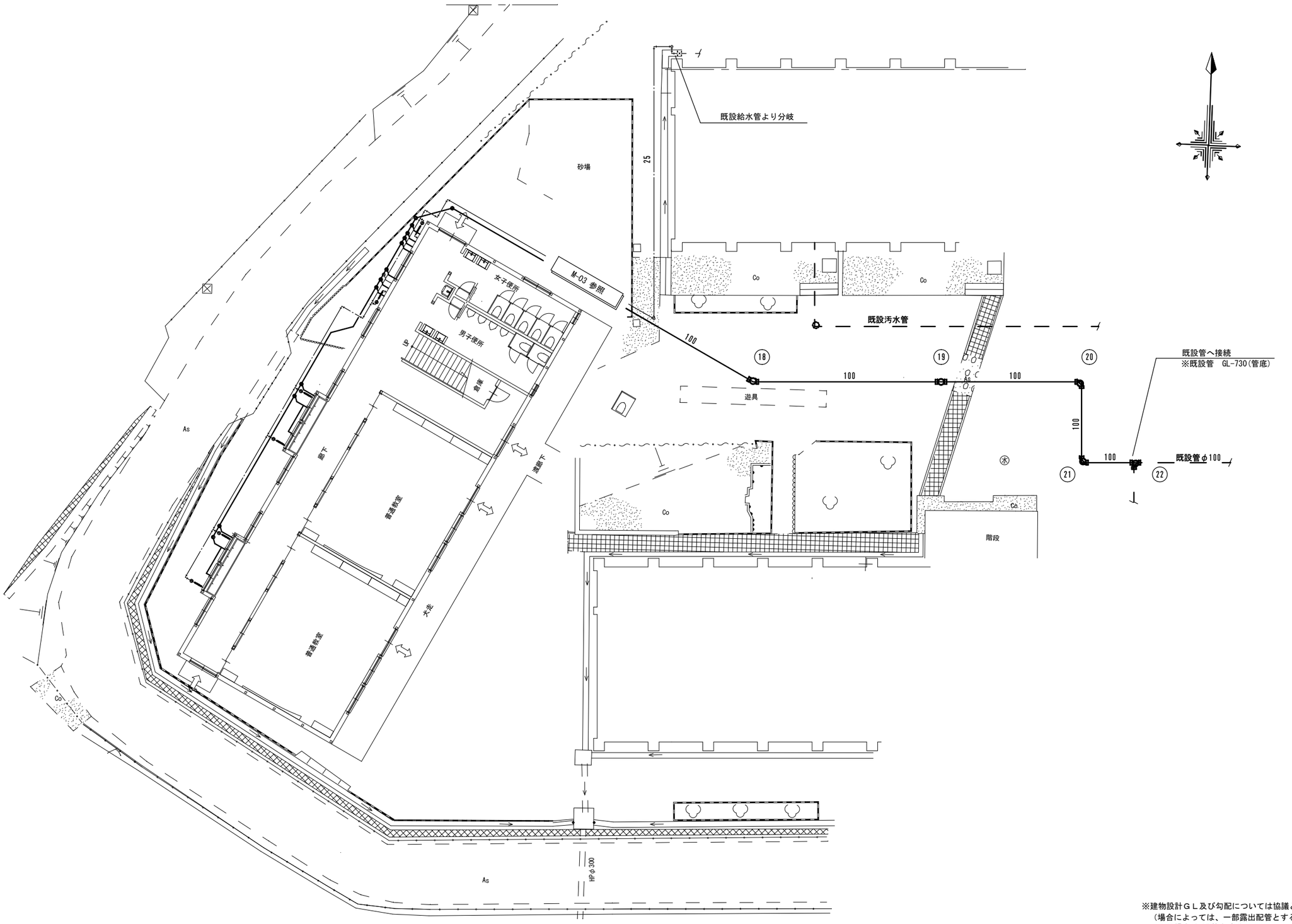
その他　① 保温の種類

課長	補佐	係長	係員

記事

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-01
	製図	図面名称　機械設備特記仕様書　縮尺	



※建物設計ＧＬ及び勾配については協議とする。
（場合によっては、一部露出配管とする勾配確保の為）
その場合は VP管とする。

記事				課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1 〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計 製図		工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ 図面名称 給排水衛生設備 配置図	縮尺 1/200	図面番号 M-02

衛生器具リスト

器具名称	型番				電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 W	1階 男子トイレ1	1階 女子トイレ1	1階 廊下	1階	2階 男子トイレ2	2階 女子トイレ2	2階 廊下	2階	屋外 1階外部	屋外	台数
腰掛便器	CS597BMS,SH596BAYR,TC291	BC-P20HU,DT-PA250HUTK,CF-39AK	TOTO	LIXIL				2	5			2	5					14
二連紙巻器	YH701	CF-63HST	TOTO	LIXIL				2	5			2	5					14
小便器	UFS900WR	U-A51MP	TOTO	LIXIL				4				4						8
手洗器	L525CMRU,TLE28SS1W	L-2594ANC-MB,AM-300C	TOTO	LIXIL				2	2			2	2					8
同上カウンター	ML60,L=2,000	MB-601NT, L=2,000	TOTO	LIXIL				1	1			1	1					4
化粧鏡	YM4560F	KF-4560A	TOTO	LIXIL				2	2			2	2					8
掃除用流し	SK22A,T23AEQ20C	S-202A,LF-7E-19-U	TOTO	LIXIL						1				1				2
流し台	ｽﾃﾝﾚｽ製,置き型タイプ,幅：3,400mm,奥行：550mm,高さ：800mm		建築工事							2				2				4
壁付水栓	T131AUN13C	LF-16SPF-13-U	TOTO	LIXIL						12				12				24
水栓柱	樹脂製,T200SNR13C	樹脂製, LF-7R-13-U	TOTO	LIXIL												1		1

汚水桝リスト

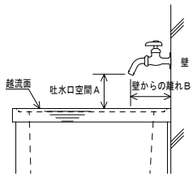
桝番号	名称	仕様・型番（参考）	基準ＧＬレベル（参考）（mm）	基準ＧＬ－管底深さ（参考）（mm）	蓋種別	備考	桝番号	名称	仕様・型番（参考）	基準ＧＬレベル（参考）（mm）	基準ＧＬ－管底深さ（参考）（mm）	蓋種別	備考
⑪	プラスチック桝	45L−100−150	＋300	−310	塩ビ蓋		⑭	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−560	塩ビ蓋	
⑫	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−320	塩ビ蓋		⑮	プラスチック桝	45L−100−150	＋300	−570	塩ビ蓋	
⑬	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−400	塩ビ蓋		⑯	プラスチック桝	45L−100−150	＋300	−590	塩ビ蓋	
⑭	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−410	塩ビ蓋		⑰	プラスチック桝	ST −100−150	＋300	−690	塩ビ蓋	
⑮	プラスチック桝	45L−100−150	＋300	−440	塩ビ蓋		⑱	プラスチック桝	22L−100−150	±0	−490	塩ビ蓋	
⑯	プラスチック桝	45L−100−150	＋300	−460	塩ビ蓋		⑲	プラスチック桝	ST −100−150	±0	−590	塩ビ蓋	
⑰	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−490	塩ビ蓋		⑳	プラスチック桝	90L−100−150	±0	−660	塩ビ蓋	
⑱	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−500	塩ビ蓋		㉑	プラスチック桝	90L−100−150	±0	−700	塩ビ蓋	
⑲	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−510	塩ビ蓋		㉒	プラスチック桝	90Y−100−150	±0	−730	塩ビ蓋	既設管接続
⑩	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−520	塩ビ蓋								
⑪	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−530	塩ビ蓋								
⑫	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−540	塩ビ蓋								
⑬	プラスチック桝	45Y−100−150	＋300	−550	塩ビ蓋								

※　桝リストは参考とし、現場着手時に必ず高さ確認は協議を行うこと。

※ＧＬ≒既設建物

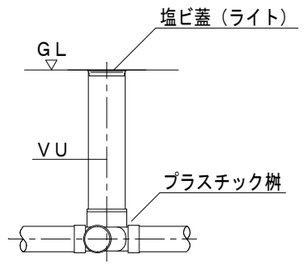
雨水桝リスト

桝番号	名称	仕様・型番（参考）	付近レベル（参考）（mm）	付近ＧＬ－管底深さ（参考）（mm）	蓋種別	備考
◇1	プラスチック桝	90L−100−150	＋300	−550	塩ビ格子蓋	
◇2	コンクリート桝	□450	＋300	−650	溶融亜鉛ﾒｯｷ ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	人荷重
◇3	プラスチック桝	90L−100−150	＋300	−550	塩ビ格子蓋	
◇4	コンクリート桝	□450	＋300	−600	溶融亜鉛ﾒｯｷ ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	人荷重
◇5	プラスチック桝	90L−100−150	＋300	−550	塩ビ格子蓋	



呼び径の区分	近接壁から吐水口の中心までの水平距離 B	越流面から吐水口の中心までの垂直距離 A
１３以下	２５mm以上	２５mm以上
１３を超え２０以下	４０mm以上	４０mm以上
２０を超え２５以下	５０mm以上	５０mm以上

吐水口空間要領図 No,Scale



プラスチック桝施工要領図 No,Scale

管種使用区分表

名称	記号	管種	JIS記号(他)	記号	使用区分
給水管	——－——	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	ＨＩＶＰ	屋外埋設・屋内埋設
		配管用ステンレス鋼鋼管	JIS G 3459	SUS	屋内埋設・屋内一般
		内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	ＳＧＰ－ＶＢ	屋内一般・屋外露出
排水管	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	JIS K 6741	ＶＰ	屋内一般・土間埋設
		硬質ポリ塩化ビニル管（薄肉管）	JIS K 6741	ＶＵ	屋外埋設
	雑排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	ＳＧＰ(白)	厨房耐熱部
		耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6777	ＨＴＶＰ	厨房耐熱部
通気管	－——	硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	JIS K 6741	ＶＰ	屋内一般
		耐火二層管	JIS K 6741	ＴＰ	屋内一般(防火区画貫通部より１mの範囲)
給湯管	——I—— ——II——	一般配管用ステンレス鋼鋼管	JIS G 3448	ＳＵＳ	屋内一般・機械室
ガス管	——G——	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	JIS G 3452(原管)	ＳＧＰ-ＶＩ	屋外埋設部
		配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	ＳＧＰ(白)	屋内一般・土間

※　114条区画貫通部の排水・通気管はＶＰとし、防火区画壁貫通部は大臣認定番号"PS060WL-0958"使用の上、隙間をモルタル充填すること。
※　給水・給湯・ガス管は鋼管とし、隙間はモルタル充填すること。
※　その他特殊配管については図示するものとする。
　　尚、施工は継手メーカーによる技術講習を受けた者が行う事。

保温・防露仕様区分表

施工箇所	給水	排水	通気	ガス	給湯	防露・塗装・防食仕様
地中埋設	A	A	A	A	-	A　裸管のまま
土間埋設	A	A	A	A	-	B　ポリスチレンフォーム保温材＋アルミガラスクロス(標準仕様書に準ずる)
屋外露出	C	A	F	F	-	C　ポリスチレンフォーム保温材＋ガルバリウム鋼板(標準仕様書に準ずる)
天井内隠蔽	B	D	A	A	D	D　グラスウール保温材＋アルミガラスクロス(標準仕様書に準ずる)
ＰＳ内	B	D	A	A	D	E　グラスウール保温材＋ガルバリウム鋼板(標準仕様書に準ずる)
空隙壁中	B	D	A	A	D	F　調合ペイント２回塗り
機械室	A	A	-	A	D	G　保温チューブ巻き

※　屋外配管の支持金物は、ステンレス製とする。
※　保温チューブは、配管との間に空気層が出来ないように施工すること。

硬質塩化ビニル管等の防火区画等の貫通

給水管等の用途	覆いの有無	材質	肉厚	給水管等の外径 給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の構造区分 防火構造	３０分耐火構造	１時間耐火構造	２時間耐火構造
給水管		難燃材料又は硬質塩化ビニル	５．５mm以上	９０mm	９０mm	９０mm	９０mm
			６．６mm以上	１１５mm	１１５mm	１１５mm	９０mm
配電管		難燃材料又は硬質塩化ビニル	５．５mm以上	９０mm	９０mm	９０mm	９０mm
排水管及び排水管に附属する通気管	覆いのない場合	難燃材料又は硬質塩化ビニル	４．１mm以上	６１mm	６１mm	６１mm	６１mm
			５．５mm以上	９０mm	９０mm	９０mm	６１mm
			６．６mm以上	１１５mm	１１５mm	９０mm	６１mm
	厚さ０．５mm以上の鉄板で覆われている場合	難燃材料又は硬質塩化ビニル	５．５mm以上	９０mm	９０mm	９０mm	９０mm
			６．６mm以上	１１５mm	１１５mm	１１５mm	９０mm
			７．０mm以上	１４１mm	１４１mm	１１５mm	９０mm

１　この表において、３０分耐火構造、１時間耐火構造及び２時間耐火構造とは、通常の火災時の加熱にそれぞれ３０分、１時間及び２時間耐える性能を有する構造をいう。

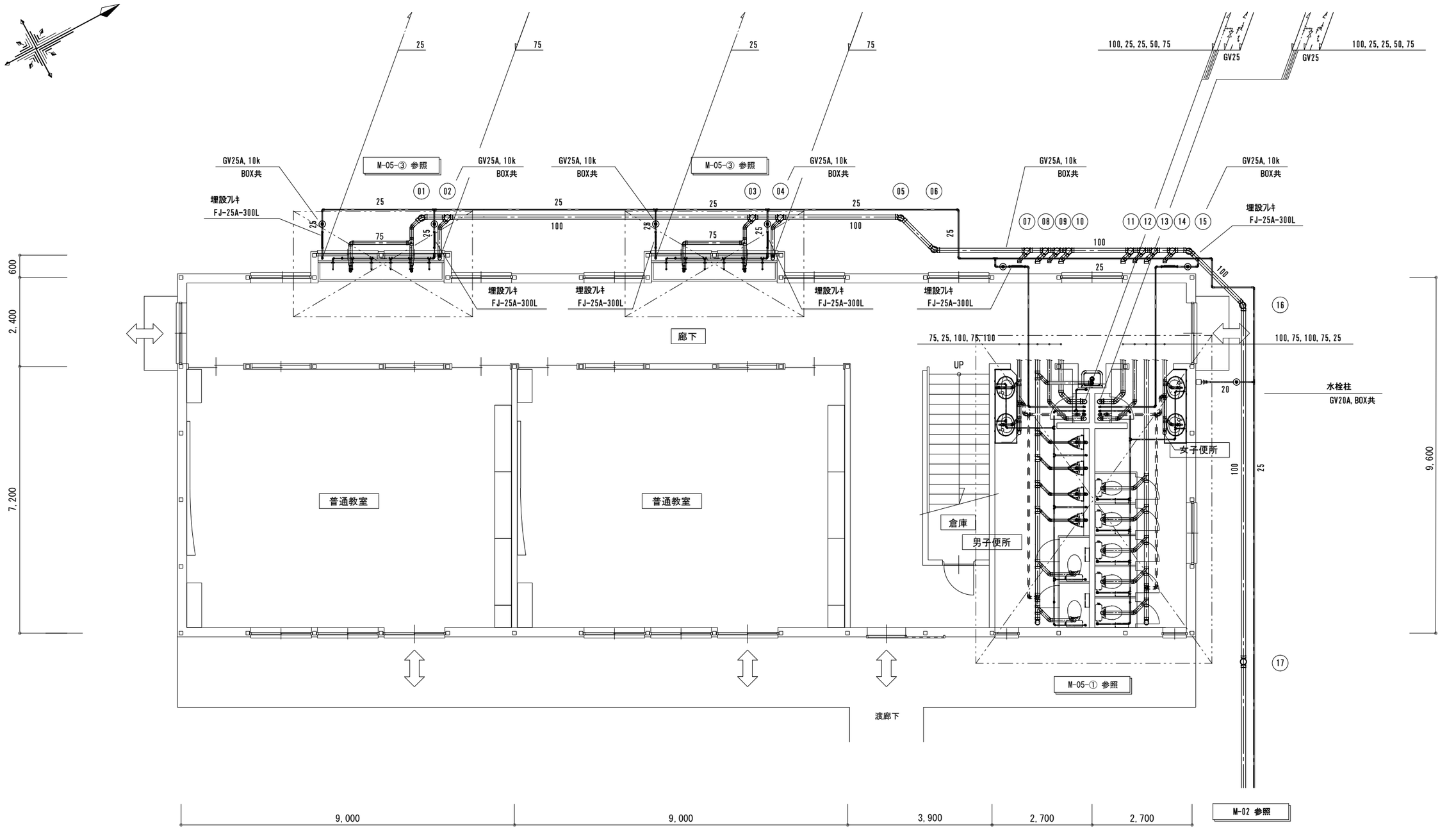
２　給水管等が貫通する令第１１２条第１０項ただし書の場合における同項ただし書のひさし、床、そで壁その他これらに類するものは、３０分耐火構造とみなす。

３　内部に電線等を挿入していない予備配管にあっては、当該管の先端を密閉してあること。

記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計室　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-03
	製図	図面名称：器具表・桝ﾘｽﾄ・凡例	縮尺：No Scale

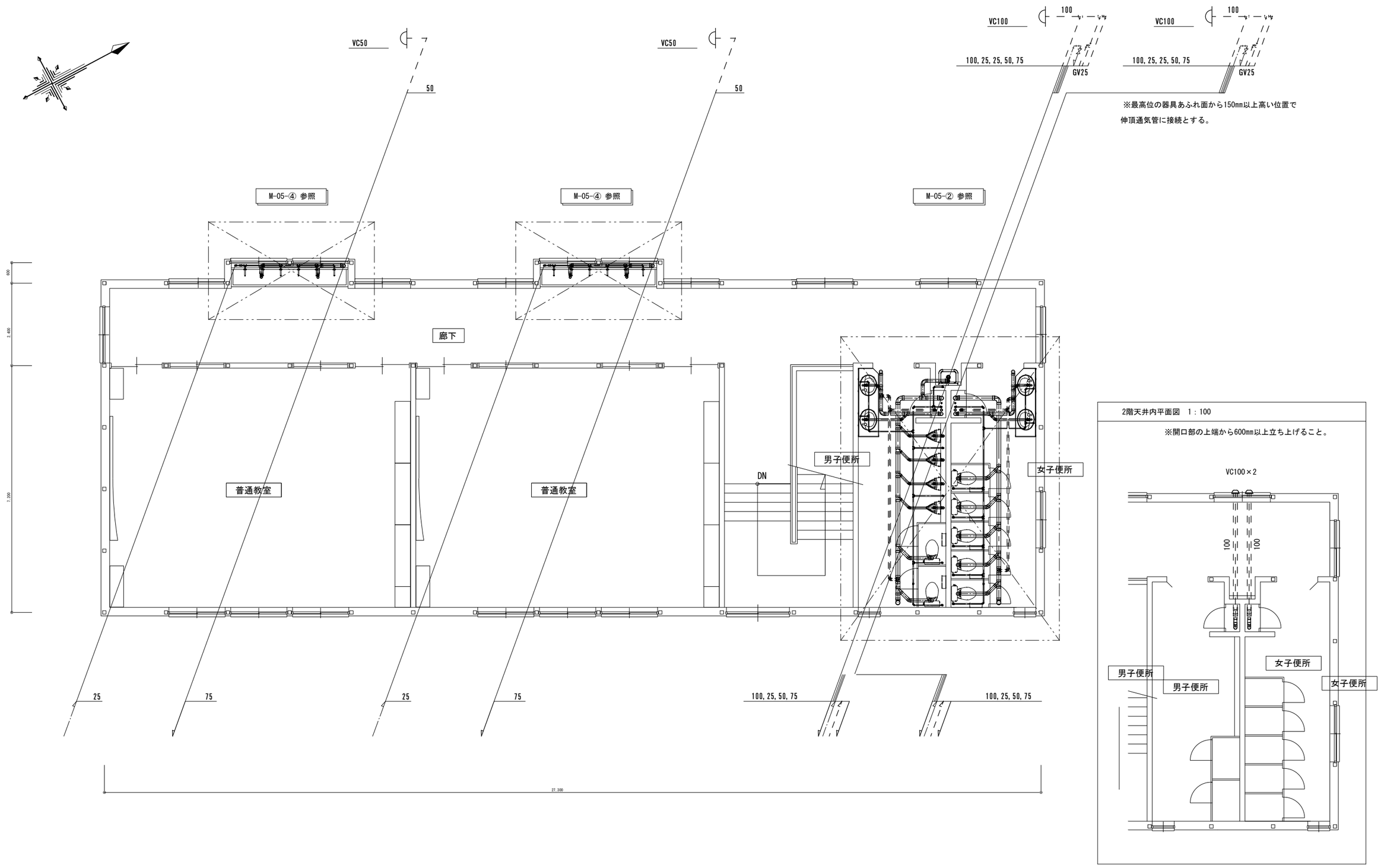


※建物設計ＧＬ及び勾配については協議とする。
（場合によっては、一部露出配管とする勾配確保の為）
その場合は VP管とする。

記事				課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-04
	製図	図面名称 衛生設備 1階平面図	縮尺 1/75

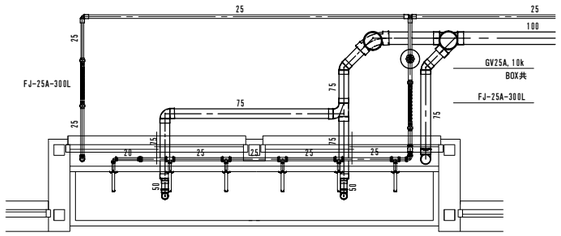


記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
(有)石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

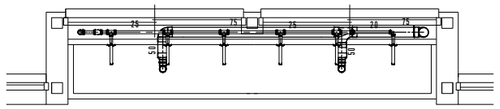
設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-05
	製図	図面名称 衛生設備 2階平面図	縮尺 1/75

平面詳細図-③

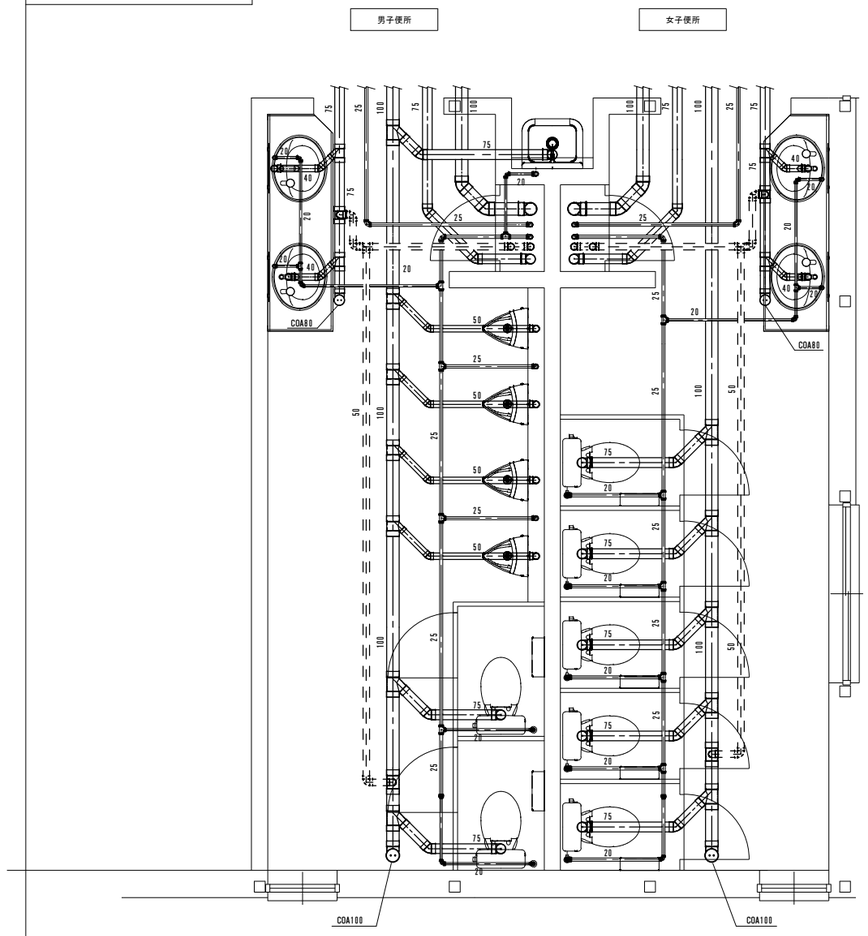


M-03 参照

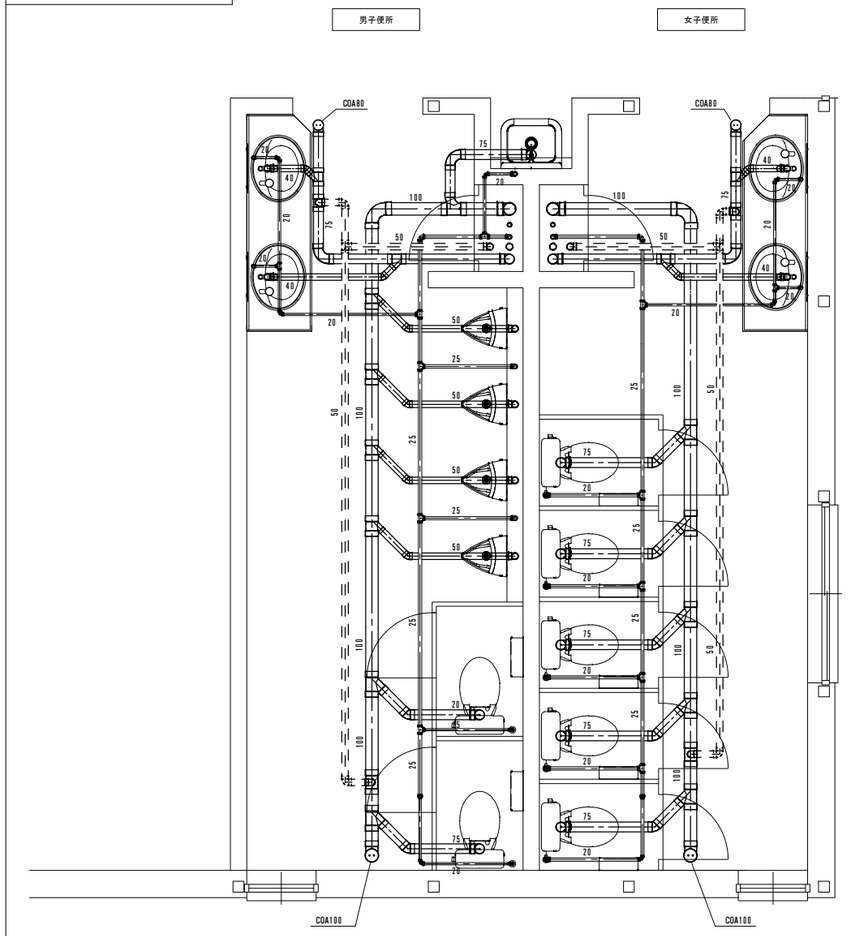
平面詳細図-④



平面詳細図-①



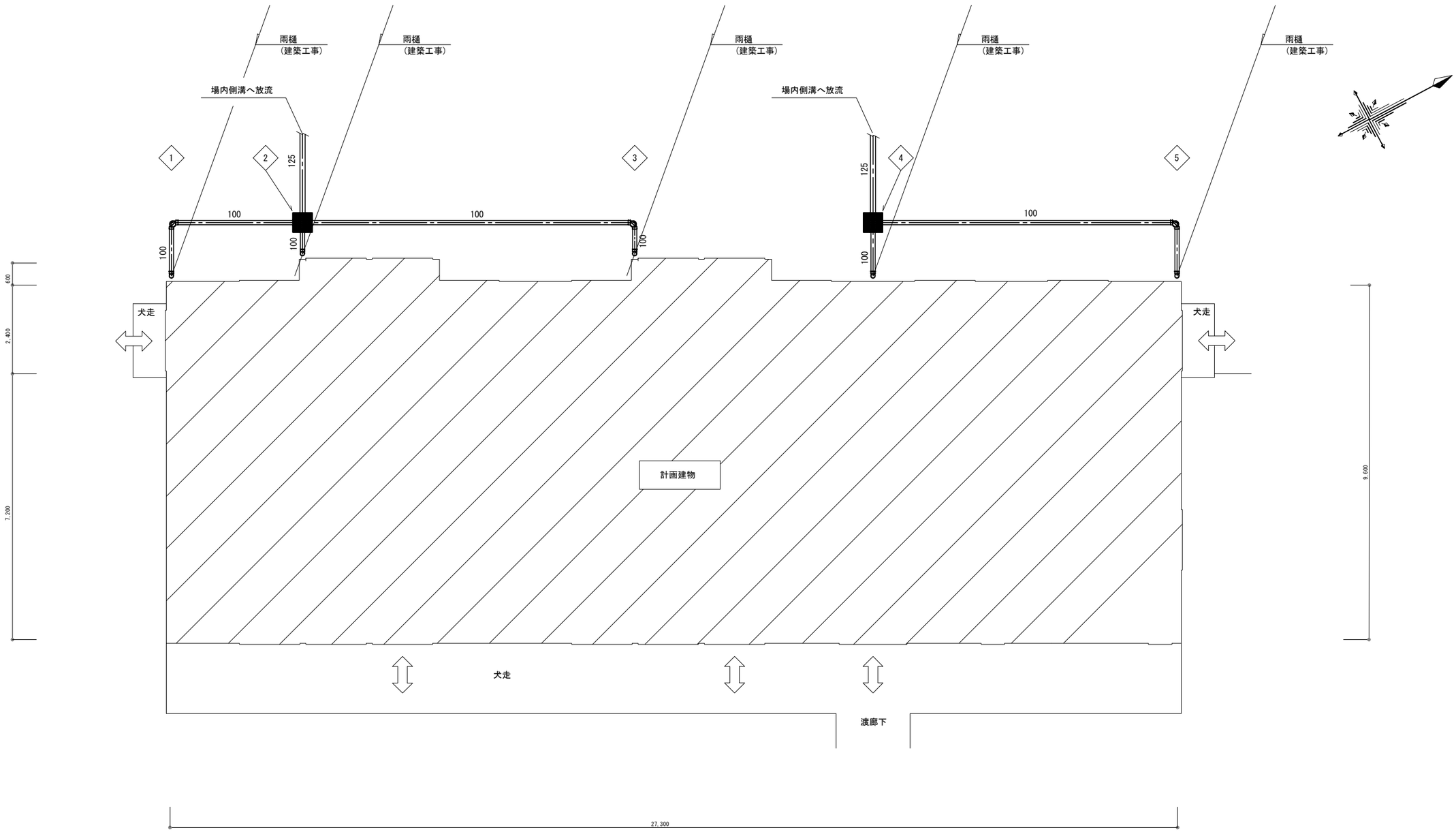
平面詳細図-②



記事				課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理 TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-06
	製図	図面名称 給排水衛生設備 便所廻詳細図	縮尺 1/40



記事				課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 [有]石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計		工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ		図面番号 M-07
										製図		図面名称 給排水衛生設備 雨水設備図	縮尺 1/80	

24時間対応換気計算

件名	宮崎南小学校　増築工事																		
系統	部屋名	必要換気量					選定機種			ダクト損失抵抗							選定機種能力	換気回数	判定
		面積	天井高	気積	換気回数	換気量	参考型番	風量	径	断面積	亜鉛引（丸）		90L		屋外ﾌｰﾄﾞ	合計			
		(㎡)	(m)	(m3)	(回/h)	(m3/h)		(m3/h)	(m)	(m2)	(m)	(Ｐａ)	(個)	(Ｐａ)	(Pa)	(Pa)	m3/h×Pa	(回/H)	
1階	普通教室	64.80	2.7	174.96	0.3	52.488	VD-20ZVC6	340	0.15	0.0177	3	8.578	3	11.323	27.79	47.69	340m3/h×80Pa	1.94　>0.3	OK
	普通教室	64.80	2.7	174.96	0.3	52.488	VD-20ZVC6	340	0.15	0.0177	3	8.578	3	11.323	27.79	47.69	340m3/h×80Pa	1.94　>0.3	OK
2階	普通教室	64.80	2.7	174.96	0.3	52.488	VD-20ZVC6	340	0.15	0.0177	3	8.578	3	11.323	27.79	47.69	340m3/h×80Pa	1.94　>0.3	OK
	普通教室	64.80	2.7	174.96	0.3	52.488	VD-20ZVC6	340	0.15	0.0177	3	8.578	3	11.323	27.79	47.69	340m3/h×80Pa	1.94　>0.3	OK
倉庫棟	休憩室	49.96	2.4	119.26	0.3	35.777	VD-20ZB13	250	0.15	0.0177	3	4.638	3	6.122	15.03	25.79	250m3/h×100Pa	2.10　>0.3	OK

※選定機種は参考型番とし、同等品以上のものを選定すること

ダクトの圧力損失計算式

円形直管部　△P＝λ・l/d×γ・V2/2 (kg/㎡=9.8Pa)

流路断面変化部　△P＝ξ×γ・V2/2 (kg/㎡=9.8Pa)

λ：管摩擦係数　g：重力加速度 (9.8m/s2)

l：ダクト長さ (m)　v：流速 (m/s)

d：ダクト径 (m)　ξ：局部損失係数

γ：空気密度 (1.2kg/m3)

ξ：局部損失係数		
形状	条件	ξ
９０L	r/D=0.5	0.71
９０L	r/D=1.0	0.22

屋外フード（排気）						
種類	ｻｲｽﾞ	開口面積	風量	風速	損失係数	損失圧力
	(m)	(m2)	(m3/h)	(m/s)		(Pa)
	0.15	0.0177	340	5.35	1.62	27.79
	0.15	0.0177	250	3.93	1.62	15.03

空　調　機　器　表

記　号	名　称　・　仕　様	電　源	消費電力	台　数	備　　考
PAC-1	ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3相200V	冷：3.50kW	4	SSRC160BYD(参考型番)
	天井埋込ｶｾｯﾄ形　4方向吹出　ﾂｲﾝﾀｲﾌﾟ		暖：3.80kW		1･2F 普通教室
	冷房能力：　14.0(6.3～16.0)kW				
	暖房能力：　16.0(7.3～20.0)kW				
	付属品：　標準ﾊﾟﾈﾙ・ﾘﾓｺﾝ･分岐管・防護網･転倒防止金具				
RAC-1	ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	1相100V	冷：580W	1	S223ATES-W(参考型番)
	壁掛型		暖：470W		(倉庫棟) 休憩室
	暖房能力：　2.2(0.6～2.8)kW				
	冷房能力：　2.2(0.7～3.9)kW				
	※※室内機は耐震振れ止め工法により施工する				
	※※室外機は転倒防止対策を行う				
	※ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による				
	※ﾙｰﾑｴｱｺﾝの能力及び消費電力は、JIS C 9612に規定された定格条件による				

換　気　機　器　表

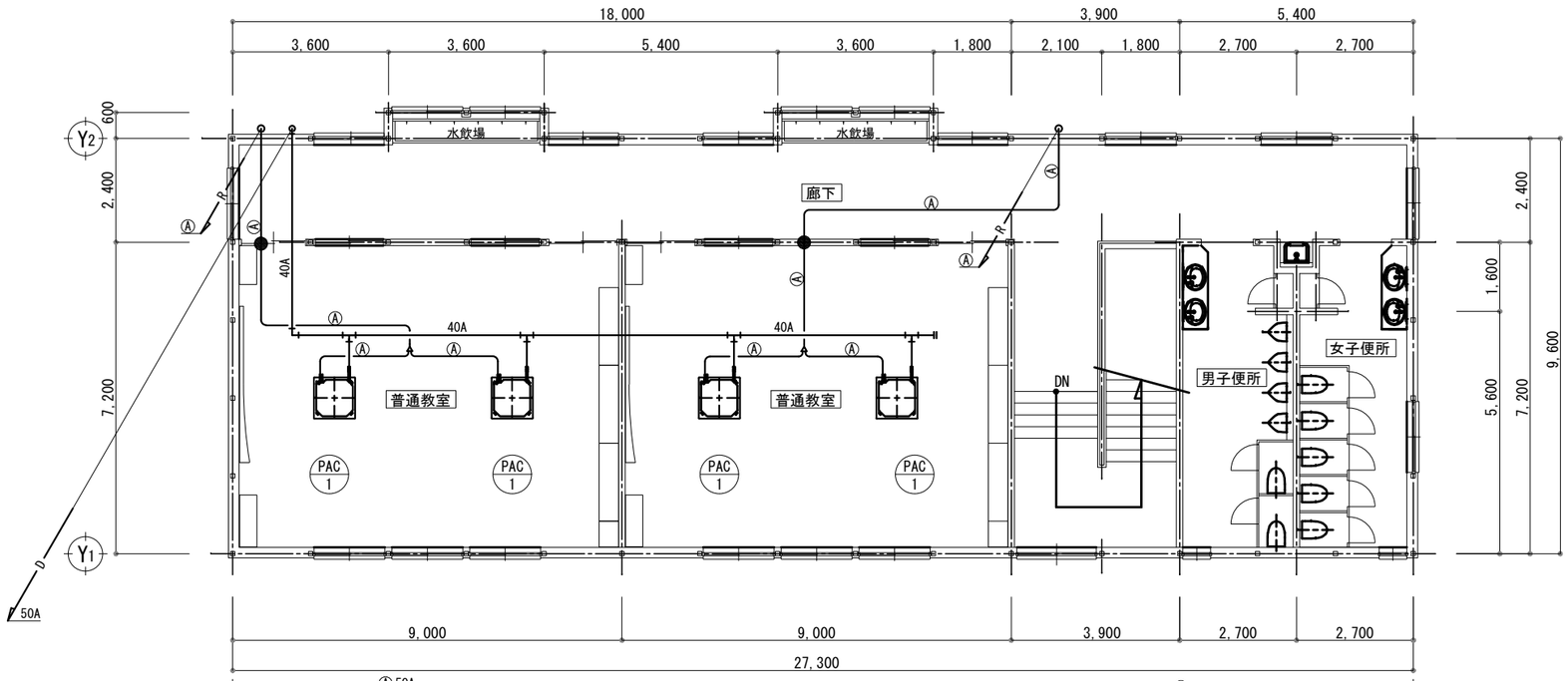
記　号	名　称　・　仕　様	電　源	消費電力	台　数	備　　考
EF-1	天井埋込換気扇	1相100V	36W	8	VD-20ZVC6(参考型番)
	風量　340m3/h×80Pa				1･2F 普通教室
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ150×6				
	SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網･FD付)　φ150×2				
	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ (P-20SWV2)				
EF-2	天井埋込換気扇	1相100V	49W	9	VD-20ZB13(参考型番)
	風量　250m3/h×100Pa				1･2F 男子ﾄｲﾚ
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ150×7				1･2F 女子ﾄｲﾚ
	SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網･FD付)　φ150×2				(倉庫棟) 倉庫
EF-3	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	1相100V	4.7W	5	V-08PPD8(参考型番)
	風量　100m3/h×10Pa				小屋裏換気
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ100				
	温度ｽｲｯﾁ(FS-5TRA3)x1				
	温度ｾﾝｻｰ(FS-6TSK3)x1				
OA-1	自然給気口			4	P-23GLF6(参考型番)
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ200×3				1･2F 廊下
	SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網･FD付)　φ200×1				
OA-2	自然給気口			9	P-18GLF6(参考型番)
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ150×4				1･2F 普通教室
	SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網･FD付)　φ150×5				(倉庫棟) 倉庫
OA-3	小屋裏給気			6	2F 普通教室
	付属品：　SUS製深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)　φ100				2F 廊下
					2F 男子ﾄｲﾚ
	※換気扇の能力及び消費電力は、JIS C 9603に規定された定格条件による				

記事	課　長	補　佐	係　長	係　員

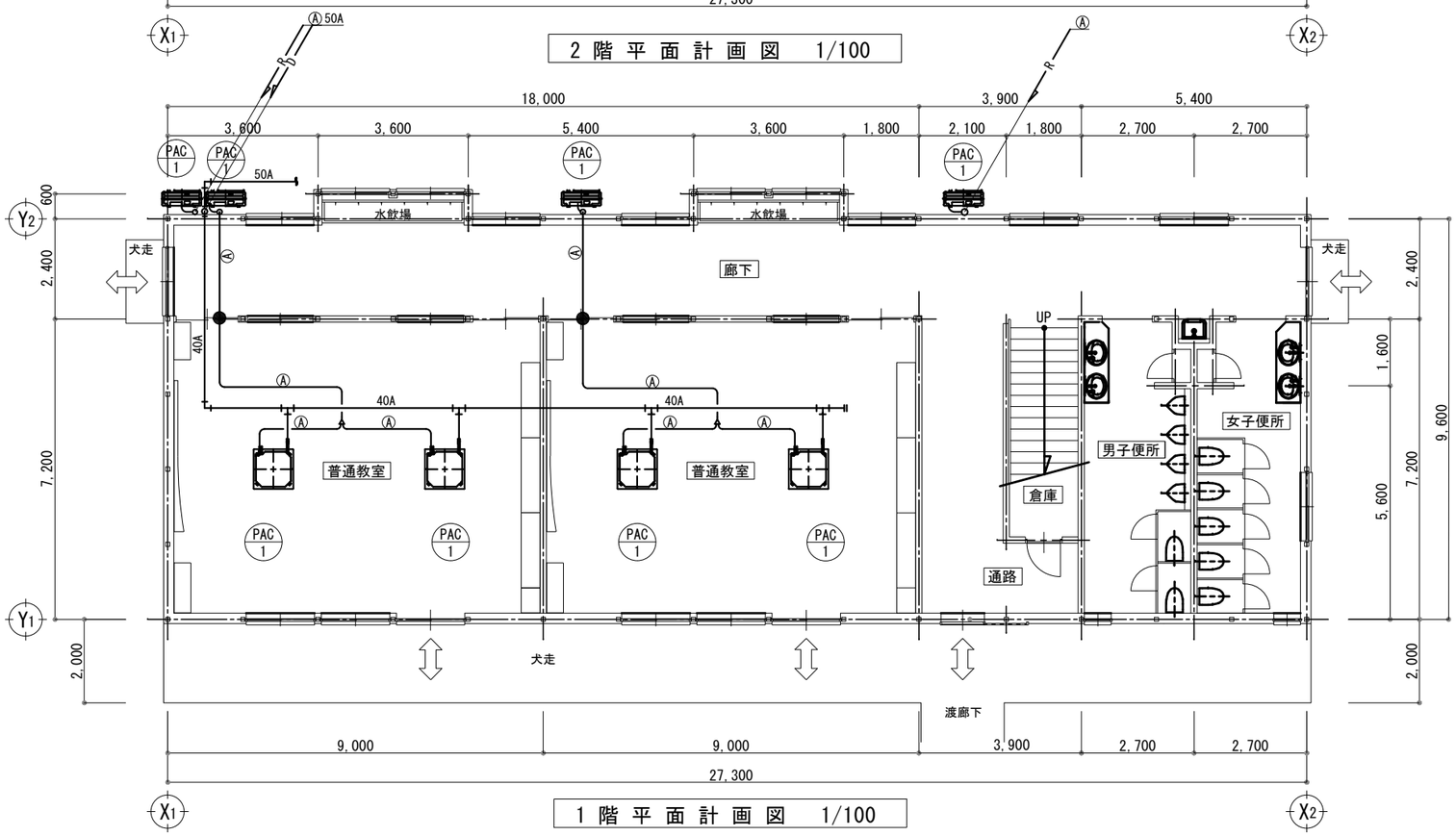
一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
(有)石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設　計	製　図
2023・04		

工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	空調換気設備　機器表	NS	M-08



2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

冷媒管サイズ表		
記号	ガス管(Φ)	液管(Φ)
Ⓐ	15.9	9.5

※室内機は耐震振れ止め工法により施工する

※室外機は転倒防止対策を行う

※◉は区画貫通処理を示す

1階床面積；266.40 ㎡

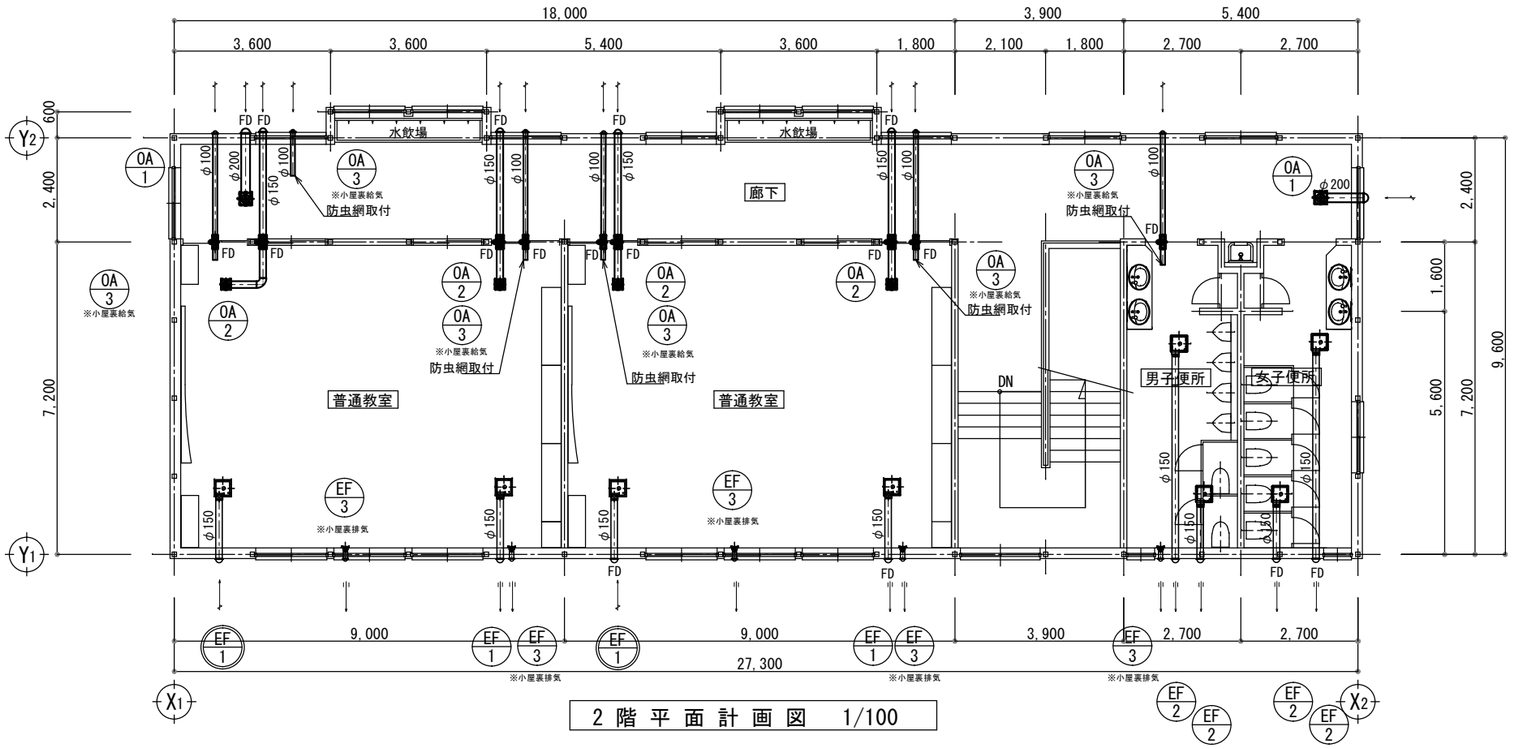
2階床面積；266.40 ㎡

延床面積；532.80 ㎡

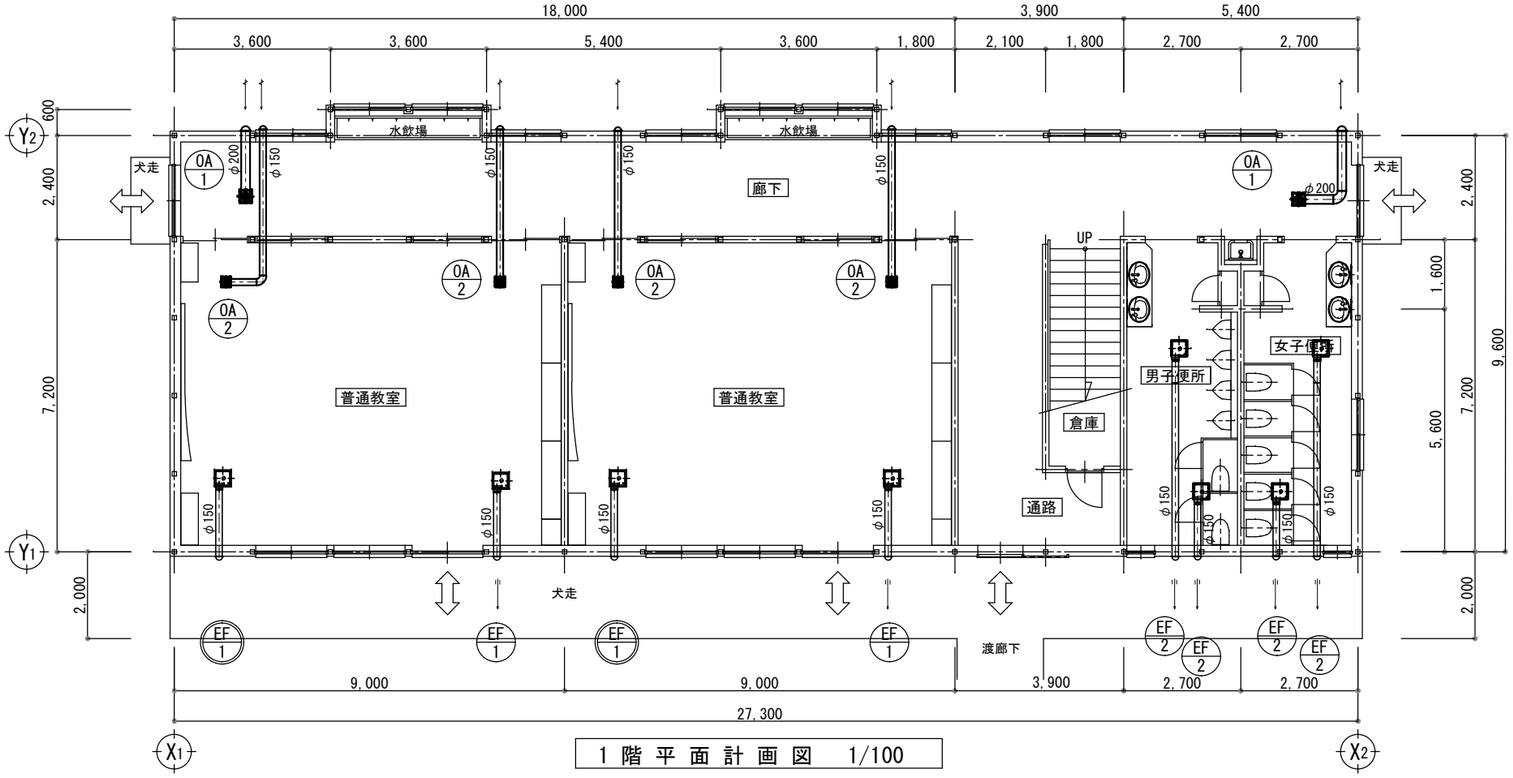
記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計 年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-09
	製図	図面名称 空調設備　平面図 / 縮尺 1/100	



2 階 平 面 計 画 図　1/100



1 階 平 面 計 画 図　1/100

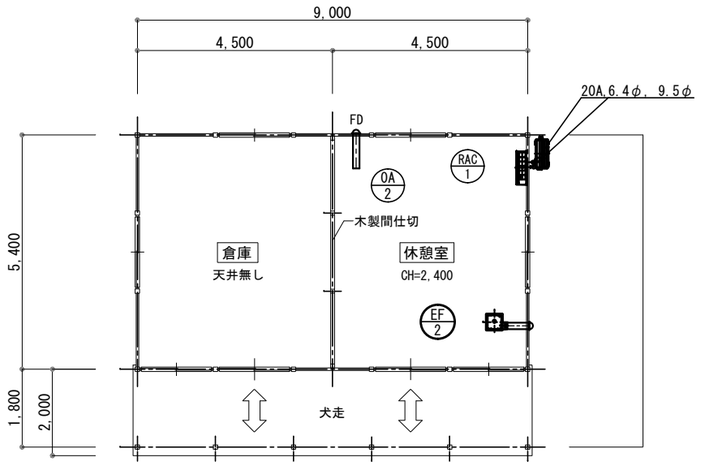
左記二重記号は24H常時換気運転を示す

1階床面積；266.40 ㎡
2階床面積；266.40 ㎡
延床面積；532.80 ㎡

記事	課長	補佐	係長	係員

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号　〒880-0873　宮崎市堀川町16-1
〔有〕石川設計監理　TEL 0985 - 32 - 7561
一級建築士登録 第132485号 石川美幸

設計年月日	設計	工事名称	図面番号
2023・04		宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎借上げ	M-10
	製図	図面名称：換気設備　平面図	縮尺 1/100



平 面 計 画 図　1/100

記事			課長	補佐	係長	係員	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D-4138 号 〒880-0873 宮崎市堀川町16-1 TEL 0985 - 32 - 7561 (有)石川設計監理 一級建築士登録 第132485号 石川美幸	設計 年月日 2023・04	設計		工事名称 宮崎市立宮崎南小学校プレハブ校舎増築工事	図面番号 M-11
									製図		図面名称 用務員室　空調・換気平面図	縮尺 1/100